

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
196	<p>第十堰問題に対する新提案。第十堰改築について賛成派、反対派の二派に分かれて、対立の度合いは次第に激しくなり、徳島市では住民投票実施にまで発展してきました。県は150年に一回の大洪水に備えて、県民の命と財産を守る為に可動堰の建設は早急に決定するべきだと主張しています。反対派は現堰をかさ上げするだけで、自然破壊、環境変化をもたらす可動堰に反対しています。しかし冷静になって両者の主張を聞いた時どうしても納得できないものがあります。私はそれは何かと考えてみました。可動堰を必要とする建設省の議論には過去に大洪水が度々あったことは歴史の事実からしめしてくれますが、昭和30年代後半から後、雨量に変化が無いのに何故大洪水が発生していないかを説明していません。私は徳島市の住民ですが、終戦後長年にわたって大雨後の吉野川の水量を見てきましたが、吉野川橋より下流で堤防の上近くまで水いっぱいになったのは一回しか見ていません。特に昭和30年代後半からは充分観察していませんが、堤防の下の道路や畑が冠水したことはあっても堤防の半分まで水がきた事を見たこともなく聞いた事ありません。この変化はなぜか素人ながら考えてみました。それは上流に早明浦ダム、池田ダム、柳瀬ダム等大小様々なダムが建設されて、流れを調節できるようになったからと考えられます。この現状を見ると本当にこれらのダムが調節不能になり、下流に大水害をもたらす大雨が想定できるのでしょうか。それより自然の流れに逆らう可動堰をもたらす自然のしっぺ返しがどんな形で現れるか想定できない方が流域住民にとって恐怖を感じます。また可動堰建設反対派は可動堰が建設されることにより自然環境が破壊されることを主張して、現堰を修理し堤防をかさ上げる事により、大水害が回避できる議論を展開しています。この主張も流域住民にとっては非常に不安を感じさせるものです。もし堤防が破壊したとき水害を蒙る恐れのある住民をどうするか配慮がありません。そこで私は提案したいのです。現堰はそのままで破壊された時は、現堰に対する自然のしっぺ返しと受け止めて修理する事です。破堤による水害について、農地にたいしては過去の阿波の農民は水害を天与のものとして受け止めて肥よくな土壌を利用して阿波藍を創出しました。我々も先人に負けないで水害を徳島の農業にどう生かすかを考えるべきです。科学肥料や農薬を出来るだけ使用しないで洪水による冠水をいかに徳島の農業に利用して他県に無い独自の作物を考えるべきでは無いでしょうか。このことは容易なことではないでしょうか、もしこのことが出来れば徳島の農業は阿波藍の時代以上に活性化すると、思います。また被害を受ける住居や施設については、可動堰に1000億以上の資金が必要といわれていますが、この資金を利用して防水対策を実施すれば良いと思います。具体的に申し上げますと、現在でも流域に残っている古い屋敷を見ると、敷地を土盛りして家屋を建築しています。これは先人が度々蒙る水害のたびによく観察して水害を蒙らない高さを割り出して土盛りしたものと考えられます。現状で破壊の恐れのある地域から新築する建物に補助金を出して敷地に盛り土することを法的に義務づけることです。このことにより新たな建築需要が起これ徳島の経済が活性化すると考えられます。このことは決して容易なことでは無いと思いますが、二派に分かれて激しく議論すれば、どちらが勝つにしてもシコリは後々まで残り、良い影響はなく悪い影響だけが残ります。それよりも巨大な自然の力に逆らうことを考えずに、その力を上手に利用する立場から第十堰の問題を考えるべきではないでしょうか。両派の方々に大変雑把な私案ですが、提案させていただきます。この一文は徳島新聞の読者の手紙より抜稿しましたが、長文の為短くしてくれといわれました。多忙のため短小することが出来ず没になりました。</p>
671	<p>吉野川ってどうにかしないといけないのでしょうか。もちろん河口付近の河川敷などは人も集まりゴミも捨てられるのでクリーン大作戦のような活動は素晴らしいと思うし、これからも続けるべきだと思います。川そのものや川の水、周辺の環境を守るための活動はすごく大切だと思いますが、川をいじるのは止めて欲しいです。新町川の水際公園はすごく綺麗だし、また新町橋周辺の水も綺麗になりましたが、川本来の姿ではないですよね。吉野川はそういうふうにして欲しくないです。今のままの吉野川でありつづけてほしいです。そのためには冒頭に書いたようなソフト面での活動が大切になってくると、思います。開発する為の活動ではなく守る為の活動を進めるようお願いします。</p>
679	<p>何が大切かを良く見極めて吉野川を守っていききたい。</p>
749	<p>①吉野川の分水の時の建設省の説明に下流域の水量保全の状況が説明と随分違っているように思う。もっと水が流れる川にして自然を取り戻さなければと思う。②森林の保全をもっと真剣に検討すべきで利用はそれからでもいい。③下水道を早急に整備すべきである。④環境、治水を重点に利水はその後に考えるべきである。</p>
753	<p>吉野川の美しい自然はこのままで永久に続いてほしい。河口堰などは反対です。産業廃棄物などゴミを発見した時すぐ通報できる窓口を作ってください。(散歩中にタイヤ、廃車の車輪、家電など捨ててあるのが目に付きまして。)</p>
755	<p>アンケートが出てきているのが遅すぎる。もっと早くからすれば良かったのでは。</p>
757	<p>先進国の河川の管理状況資料を入手して本県の将来像と照合して理想像を作る。良い環境作りには水質の保全が重要だと思います。汚排水の流入を禁止とする態勢が必要です。各種工事に反対する者が多い理由の一つに工費が他国と比べて極端に高価であることを認識されつつあります。明石大橋と同類のものが香港ではイギリスプロジェクトを採用し10分の1で空港橋が出来ているなど例があるので国際入札等配慮すべきだと思います。</p>
759	<p>私自信あまり偉そうな事は言えませんが、県民一人一人が我々の「吉野川」という気持ちを持つことが必要だと思います。</p>
760	<p>①ダム建設は河川の自然環境を悪化させた元凶のようである。②上流地域の自然林育成に力をいれるべきである。③中下流域のビニールなどのかかっている柳だけは何か措置すべきである。堤防の補強工事に要する予算よりはるかに少ない予算で柳は抜去処理できると思われる。合意形成に努力して欲しい。④河川パトロールを厳正に対応してほしい。⑤堤内の雑草繁茂地に心無い人々がゴミなどを不法投棄している。堤内環境を良くし雑草を年に1から2回刈ればゴミ不法投棄が減少するのではないかと。</p>
765	<p>地震、台風、集中豪雨等が発生する現在早急に検討の場を持って、改修をお願いしたい。安全で安心な生活が出来るようお願いします。</p>
768	<p>一昨年の12月に県外から徳島市に移ってきて一年あまりですが、はじめて吉野川を見たときの感動は忘れません。この一年余りの間に家族で様々なところで楽しませてもらいました。この雄大な川の流れは徳島県の大きな財産ですので、いつまでもこの自然が壊される事が無く多くの人に感動を与え続けて欲しいと願うばかりです。ただ、私は転勤族で全国各地を色々と回りましたが、徳島県は最もマナーの悪い県の一つである事も確かです。中流から下流は決して「美しい」とは思えません。住民の一人一人がもっと美化意識を持つことが望まれます。下水対策や洗剤の問題など行政側の取り組みも甘いレベルです。昨年2月に職場に提案してアドブプログラムに参加させていただきましたが、もっと参加団体が増えることを期待しています。</p>
769	<p>ダム建設とかで漁業組合に対し、多額の補償が出る聞きしました。本業の漁師でもないのに。日曜、祝日しか趣味でしかない釣り人にも組合加入者とかで税金が出されるのはおかしいと思う。構造改革が叫ばれる今、本当の川漁師以外はお金を出さなくて良い。川は一部の人のものでないと思う。万人のもの、自然のもの、神のものという考え方がほしいものです。特に徳島県の人々は四国のほかの人々に比べ恵みを多く受けているのだから。</p>
771	<p>河川敷の利用も色々しているみたいでとても良いと思います。ダムは反対です。たいした意見がなくてごめんなさい。</p>
772	<p>歴史ある吉野川を私利私欲のために使わないようお願いします。</p>
774	<p>徳島工事事務所から度々通知をもらいますが、参加、出席が出来ないのか、気が重いというか、悪い気がします。</p>
777	<p>環境を守りつつ治水や利水に整備をするべきである。人間の生活が多少不便であっても自然を残さなければならぬ。</p>

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
784	吉野川は昔は本当に綺麗な川だったと聞く。早明浦ははじめ3つも4つもダムが出来てそれは汚くなった。しかし我々の今の暮らしは水や電力なくては成り立たないところまで来ている。あれは欲しいがこれは嫌というのでは大変矛盾しているが、しかし、死んでしまった川を未来の子供たちに残す訳にはいかないし、出来るだけ綺麗な川に戻して川の魚を食べたり、釣ったり、遊んだりできる川にしてやりたい。それには是非上流の森をよみがえらせて欲しい。ものすごい時と費用とかかかると思うが。
787	自然を考えながら治水、利水を最大限に利用出来るように。一箇所に大型の物を造るより、上流より何箇所かに分けて第十の場所にも利水上に必要ですが、上流でも小型の物を作り一箇所の被害を最小に。
789	私は溪流釣りが趣味で子供の頃から川や谷で楽しませていただいた。今も気持ちをすっきりさせる目的も含めて源流には入ります。今は昔にくらべ人の住んでいる谷川以下の水は汚れているので、昔を偲び奥へ入るわけです。それでも人工の護岸が多く考えさせられる事が多い。この山奥を人の力で守る方法以外にないものだろうか。税金を使用するだろうが、それだけの価値があるか。もうすでに壊れてかえってひどい結果になっているところが多い。山の木も植林が多くて自然林が少ない。従って四季の変化も無い。出来れば自然は自然にまかすのが理想でないか。問題は国土交通省だけでなく全庁的にとらえるべきでないでしょうか。
797	生活の近代化が進み、川の汚染の度合いが進む速度が速いので、行政面で浄化の方法及び使用する洗剤等の規制などの指導をすること。
799	河川整備計画に環境を加味することは当然であるが、環境への価値観は誠に多様であり声を大にした積極的な意見表示のみが通るようでは困る。専門的知識に基づいた治水、利水、環境の三点がバランスする事が大切だと思っている。
803	徳島を支えてきた吉野川が今後も美しく憩いの場であり続けて欲しいです。
840	徳島は古くから麦、米の生産が少なく、九州方面より入荷しておったので田畑(特に水田は川原まで侵入して耕作しており河川の氾濫にも耐えて農民はつくっていた)は少なく耕地面積が狭かったが、納入米は強制的に収めていった歴史があります。堤防を築く時、川幅は縮小され洪水は絶えなかった。水はせまめられた川には無理が生じるのは当然である。現代は日本全体で米、麦は足りないが輸入とか色々の契約によりあまっており減反政策(非常に不真面目な農業政策)をとっております。この機会に河川の拡充政策をとり防災(水害)の一助とする事も国土保全のうで思いきった方法が考えられるのではないかと思います。森林(特に針葉樹林)は保水性の無い樹木を戦後の問題(木材事情)として造林計画によって進めてきた農水省の林業政策の誤りであり、新しい樹木を決めていく保水力、治水上の植林に切り替える必要を感じております。森林資源は日本のような山岳地帯では経済的に不可能に近いと思います。世界の林業を見ても分かります。森林の構造改革と共に水質源の開発が大切となります。小さいダム湖より豊富な水を貯めるダムが今後は大切な日本の水危機を救う道だと思います。それには植林政策と同時に進める農水省、国土交通省の一体化による政策転換が無くては解決は難しいと思います。
841	吉野川の洪水の恐ろしさは忘れられている。これは上流に出来た早明浦ダム、池田ダムのおかげである。ダムが出来たまでの吉野川はどうであったか。私は吉野川の堤防の近くに住んでいてこの恐ろしさを充分知っている。河床が砂利の堆積が高かったせいもあるが、洪水になると自分の住んでいる地面より高いところを南、北の堤防間を濁流が急速な勢いで材木とともに流れ、井戸は泉のように溢れ出て、畑や庭先からは吉野川からの浸透水でぶくぶくと温泉が出ているように泡を立てて湧き出ている。いつ破堤するか分からない状態になる。こういうことは一年に何回もある。現在は砂利の採取で河床も低下し、ダムによって洪水も調節でき安心して暮らせるようになっている。ありがたいことである。洪水調節を果たしているそのダムが現在では敵視されている。コンクリートの塊と名づけられどこへ行っても嫌われ者になっているのは時代の流れとはいえ嘆かわしい限りである。第十堰もわかりである。長いこと検討し、ようやく建設に着手できるようになるうとしていたところ振り出しに戻った事は誠に残念でありこの仕事をしてきた関係者に対してなんと申し上げて良いか言葉もありません。吉野川は暴れ川である。いつどんなことでも暴れるか分からないこの川をしっかりと管理し、恵み多い川にしていく為の努力を今後ともお願いしたい。
844	公共工事の維持からダム、堰が造られようとしている事が反対。全国に誇れる自然を残して欲しい。
845	最近河川へ古タイヤや家電製品など建設廃材不法投棄する者、釣り人が空き缶などを投棄するなど後を立ちません。何か良い方法はないものだろうか。
848	知識が無いので良く分かりません。しかし命の源である水を提供してくれる母なる吉野川がいつまでも美しく大きな川であって欲しいと思います。そのために微力ながらボランティアなどには参加したいと思います。
849	デフレ、失業など将来を見つめて第十堰早急に解決していただきたいと希望します。
850	子どもを連れて、孫を連れて家族そろって日開谷川原を下り、吉野川河原まで散歩し、川原の石や砂、化石、各種植物、魚類、野鳥(水鳥)などと親しめたらどんなに良いかと夢見ます。石防堰はあまり感じしません。自然な形で吉野川、又支流の川が親しみやすい状態で整備されることを望んでいます。自然な形で吉野川、又支流の川が親しみやすい状態で整備されるための事業であればボランティアで積極的に参加したいと思います。
851	私は羽ノ浦町に住んでいます。生まれは相生町の川口ダムのすぐ下流です。私は昭和18年生まれなのですが、私たちの小さい頃といえばまだダムのない本当に綺麗な川でした。一年を通じて川に接した子供の遊びをしました。夏になれば綺麗な鮎とりに大人も子供も互いに協力しながら共に豊に心から打ち解けた日々でした。大きくなったら今の大人に負けないよう鮎が沢山捕れるよう頑張ろうと思ったものです。それがダムを造った事で一変しました。川は前の清流とは打って変わって一年中ヘドロの水です。川岸に腰をかければズボンに泥がいっぱいつきます。川の中を水中眼鏡のぞいても1メートル先が見えず小さい頃水中を覗けば10m先も見え鮎が宝石をまいたが如くキラキラと無数に見えたのが今は鮎もいるのでしょうか。全然見えない状況です。それにより流域住民の心もすさんだように思えます。いまさらどうしようもないとは思いますが、出来る範囲内の対策はしていかなければいけないと思います。吉野川も同様です。
852	今後どんどん前に向かって参加していきます。
853	第十堰の問題から少し月日が流れ、また現在吉野川も静に流れていますが、四国的高速道路は遅れながら少しずつ進んでいるように思います。しかし日本三大河川の一つ四国三郎吉野川は、長い年月をかけ堤防の上は車がどんどん走り河床、護岸の傷は第十堰同様にたいぶ弱り痛んでいるように思われます。私は一市民ではございますが、淡路神戸の同等の地震が徳島びざん中心に発生したと考えますと、吉野川が氾濫、橋は全て壊され、徳島県が沈んでいくように思います。急いで急がず。一刻も早く吉野川の修復、危険な場所、修復可能な所から住民の参加同意の上進めていって欲しいです。
854	自然を大切にしたい。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
921	国の施策は国民の生命財産の保全と関わる事業の策定化だ。しかし地方分権型の行政の重要性が強調されてきた。その背景に地方の実状に即した地方行政の推進だ。しかし住民の参画の欠如があった。第十堰の課題は審議会の答申で決定された。しかし、●●●●●●●●●●●●●●などで全員の合意形成は図れなかった。そこに住民自治を発見する。しかし詳しいデータによる客観的なものでなからう。データは国土交通省がもっているはずだ。合理的客観的なデータ、つまり科学性に基づいた情報なのだ。しかし懐疑的な視点で安易なデータを作成している一部の科学者のデータだろう。たとえば流水の問題それは詳細なデータとは言えないようだ。つまり部分的なデータらしい。国土交通省の調査はデータとの対比が不可欠だ。そこにすり合わせが重要だ。しかし、それは特殊な専門的知識から不可欠なのだ。素人は除外すべきだ。学者の論議を傾注すべきだろう。私は国土交通省の主体性の発揮を希求する。何といっても国政なのだ。また徳島市の代替案や●●●●らの積極的な検討の場をつくることを希求する。まさに県民的課題なのだ。
930	ダム、可動堰は不要。長い目で考えれば川は浸食、運搬、堆積の役目を担っており地形という物は変化していくのが当たり前だから。人は自然の中で生かされている。
931	自然を楽しめる子供を中心としたイベントを企画バックアップ広報して、大人(親)に吉野川の環境に興味をもってもらい、一人でも多くの人に検討の場に出てもらうように努力してください。
935	①目的は住民の安全の死守。②自然保護③利便性④情報が多くの人に伝達(平等)。吉野川を考える時①から③の順に考えるべきで④はそのための手段でしかない。しかし大切なことである。
936	私は大阪生まれで幼少時は、神崎川(その支流の尼崎で)昭和9年の関西台風水害に遭遇して生家を流れられ痛目にあいました。学校は天六(天神橋筋6丁目)で毛●関門、長柄橋で5年間通学、就職は淀川沿岸の海老江というところでした。従って川とはずっと興味を持って育ってまいりました。戦時中に徳島県へ来て吉野川の豊かな流れにまず驚きました。戦後は旅行会社の団体担当になり日本の代表的な利根川(坂東太郎)筑紫次郎などの名流を見るのがとても楽しく思いました。然しわが県の穴吹川の美しさは高知の四万十川に負けないと自負しています。川の流れと人の身は切っても切れぬものと思っています。
939	一度吉野川の源流に行ってみたくと思います。そんなツアーはあるのでしょうか。「吉野川に沿って歩く」という企画があれば良いな。徳島県が他県に自慢できる吉野川です。吉野川が汚れたら私たちの心まで汚れてしまいそうです。みんなでのこの美しさを守っていきましょう。
941	田宮ゴルフ場側(こんにやく橋東側)の岸が昨年の台風で砂場がなくなり、えぐられていて危険です。こんにやく橋も通れませんが(今工事している見たい)台風のシーズンが終われば早急に元のようにしてほしいです。
943	昭和21年の南海地震の時現在の新町橋に来る、三ッ合橋下にて沖ノ洲の方から県庁前を通ってきた津波と吉野川の田宮水門より入ってきた津波が鉢合わせ木材が引きちぎれてきて半月ほどは木材の持ち主が分けていました。こんな場合水門は閉じるのか開くかどちらかが良いのでしょうか。昭和36年ごろの室戸台風が朝7時より道路冠水が始まり11時20分頃まで増水が続き床上40センチまで浸水しました。後々の話ですが、水門を閉じるのが遅くなり水圧で水門が閉まらなかったことのことですが、物があっても上手に作るのは人間であると思えました。
944	正直なところ母なる川は汚れました。夏下流で水遊びに行くとき服がどろどろになることがあります。それはそこに暮らす住民が一番分かっている事です。無駄な工事はいらない。行政は案をそのまま実行する経済力がありますが、それはおかしいです。(それは国民のお金です)検討の場よりも流域住民の意見を尊重すべきです。このオアシスが10年後、20年後残っているかどうかは行政の考え方一つです。一度壊された自然、故郷は二度と戻ってこない。護岸工事、ダムなど考えていただきたい。学識経験者の方々、意見を参考に。という形で参加していただきたい。川と住民のための行政を。利益を追求した行政はなくすものばかりです。
949	川に限らず山も森も海も空も大地も、自然を大切にすることも壊すのも私たち一人一人の心がけ次第で大きく左右されるものだと思います。なんでも便利な事に慣れ、生活するうえで便利だからと自然を破壊してしまい気づいたときはあとの祭りにならないようにしたい。だからといって自然のままというわけにもいかないときもあると思う。自然と便利さの共生が出来れば最高なのですが。広い川を河原で風に吹かれながら眺めると、悩んでいた事がちっぽけに思えてきます。私は県外の出身でこの4月から福岡で就職が決まり、徳島を離れます。私の大好きな人達とも大好きな場所とも離れてしまいます。残りの徳島での生活の中で吉野川のすてきな場所、姿を沢山見つけたいと思います。ありがとうございます。
950	住民の意見が良く反映された美しい川づくりを。
951	私たちが吉野川懇談会が最終答申書を提出したのが昨年の3月24日です。満一か年の歳月が経過しようとしています。新計画策定化に少しでもお役に立てばと願っている一人です。3月24日午後6時より建設センターで同窓会を開き、今後の方策を模索すると共に親睦の輪を広げたいと願っています。大変失礼しました私たちのことばかり書いてすみません。永遠に偉大なる大河吉野川をどうすべきか、全県民が考えねばならないでしょう。そのためには常に関心を持って川の移り変わり水の色周囲の変化地球の温暖化による海水の増加、地盤沈下などあらゆる川に関することが現実にあります。自然の移り変わりによる対策など角度をかえて見れば数多く出てきます。これをどう取組むかが今後の課題でしょう。
953	よりよい吉野川をつくるにあたってこれからは、大きな構想とそれを実現する為の明確な目標を掲げて頑張ってください。
959	貴事務所の吉野川に関する講座や催し物など意欲的で広範囲な取り組みに賛同すると同時に敬意を表したいと思えます。又何時も催し物の案内などいただき、感謝しています。ただ距離が遠く参加できにくいのが残念です。出来ることなら高知市近辺の鏡川や仁淀川での同じような取り組みがあれば知らせてほしいものです。今、川を汚す最大の原因は家庭排水。下水道施設への取り組みなど、家庭排水への対策は日本中が遅れている。急ぐ必要があると思う。我が家は昨年合併浄化槽に変えたが、補助率が低く家庭の負担がまだまだ大きい。川は源流から下流域まで一体となって一人一人が真剣に取り組むべき。国民の課題であると思う。
962	自然が一番。
965	吉野川フェスティバルにも2、3回出席させてもらいました。徳島で生まれそして育った私にとっては他どの川よりも大切な川です。何時までも美しい川であって欲しいと思う。
966	住民参加についてできるだけ、若者が発言できる検討の場を与えて欲しい。
972	①河川敷のスポーツ広場に木を植えてください。夏場のスポーツに木陰がないので大変暑いです。その木が大きくなればまた思い出の木、思い出の場所になると思います。②観光コースとする。駅から吉野川大橋南詰から六条大橋から北岸から吉野川大橋北詰から駅。季節は春、土手に咲く草花の緑、菜の花の黄色遠くは阿讃山脈の緑、雄大なパノラマ、バスの観光コース絶品。③土手を交通手段として使用する。北岸の吉野町から土手を下りて一般道になっている。これを池田町までずっと土手を利用して自動車として利用する。観光にも利用できる。
973	昔から子供心に、吉野川は世界が違う。大海に近いものを懐かしんでいた。魚釣り、シジミとり、ゴルフそれぞれ皆が楽しめる。又あの雄大な眺め。偉大なる大河であることは心の底にある。朝日の輝き、夕陽が沈んでもゆったり流れる川面から受けるもの。それは人間の精神を養ってくれる。「人間、徒に多事、この境孰れか忘れべけんや」である。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
974	私は昭和9年生まれ68歳です。三好郡三好町(前屋間町)で18歳まで育った。家から吉野川までは歩いて10分もかからない。南に四国三郎、腕山が扇状に広がり吉野川のせせらぎの音が心地よく聞こえてきたのを今でも思い出す。橋といえば洲津から佃間にかかったものと、土讃線の鉄橋くらいだった。山間部の狭い町、村が北と南に分断されたような格好だった。台風時など豪雨時は増水と唯一の渡し舟も止まり、生活にも事欠いたように思う。また豪雨が発生すると平地の低い田畑は一面に水浸しになったり本当に子供心で心配した。こんな時川の流れるは速く、大きな木材が筋になって流れていたのを良く目撃しました。驚くことに牛や馬の死体が雑木と一緒に浮いていたのもこの時期でした。山間部で切り出す木材は大きな筏にして川下へと運ばれていた。そんな時期である。土讃線、鉄橋下部より川幅は広がり又狭くなり、早い瀬となって大きな岩にあたって右曲がりしている。この辺りの岩は見事で春には、猫柳や岩つつじが一面に咲いていた。岩苔も青々と茂り5月の節句には母親に作ってもらった弁当を持って、この岩場上がり、友達と一緒に花見を楽しんだ思いは深い。しかしこの大岩も少年心で理由は分からないが発破(ダイナマイト)をかけて跡形もなく破壊してしまった。木材の流しを良くしたい為に起した行動だったのだろうか。今でもその原因を知る事が出来ない。大自然をねぞぎ奪ってしまったのも吉野川を語る長い歴史の中でこれだけではなからうか。又この場所の南側(辻駅の北)には大きなバラスの山が出来て北側から見るととてもすばらしい自然の造りだす造形美に見られた。このバラスも松尾川発電工事のコンクリート材にとられてその影を消してしまった。今では想像も出来ないことばかりである。この自然を後世に残すのは私たちの務めかも知れない。自然を壊した部分を図で示してみました。一度この現場に行ってみるのも吉野川を語る資料になるかもしれない。
975	旧吉野川についてお聞きします。今旧吉野川の下流(松茂町)で改修工事が進められています。しかしその計画が公開されていません。国土交通省に聞いても説明していただけません。せめて5か年ぐらいの工事の概要は地元住民に説明しても良いのでは。工事する場所が途切れ途切れであり、危険場所が優先されていないように思う。
978	できるだけ自然の姿を残して欲しい。
979	又リバーキーパーズのイベントがあったら、一度参加してみたいと思います。
980	通勤途中第十堰を通ります。自然で美しい水の流れ、飛び交う鳥たちなどよく目にします。いつまでもこの美しい風景が失われずにいてほしいと願います。
983	土手をよく散歩するが、いつもゴミの投棄を悲しく思っている。同じ場所へいつも大型のゴミが捨ててあるのを見て、私もという気があるかもしれない。一度違反の場合は罰金をとるか、もう少し厳しい法律を作ると良い。看板、立て札はやはり必要。人々は立て札がある場合は少しは遠慮すると思う。中央橋付近の支流が汚れた感じがするのでどうにかして欲しい。釣りの場合、ブラックバスなどを釣ってそのまま川へ逃がした釣りを楽しむだけであってはならないと思う。県外の人達も大きい川とか綺麗な川とか誉められるが、果たしてそれがそのままであろうかと疑問に思う。吉野川の仕事に関係していらっしゃる方々のご苦勞はよく分かるが、やはり町民全体が郷里のためと思って何事にも当たるようにして欲しい。現在であれば、ゴミは捨てても捨ててもあとを絶たないのが現実である。
985	より良い吉野川のために応援します。自然を大切に、文化的な生活、歩み寄りが大切である。
987	徳島新聞、四国放送の報道が偏っているのではないか。ゴミをこれだけ捨てている県民であるのに自然を守れと官側にたっている人の顔が見たい。言っているだけで自分はゴミ拾いなどやっただけではないのでは。
989	リバーキーパーズのイベント案内ありがとうございます。行きたくても、遠いとなかなか行けなくて残念に思っています。近くのものでもこれからも参加したいと思っています。
996	どこにも負けない清流吉野川、徳島県の自慢でもあります。豊かな水量、田畑を潤し、工業用水としても万全であります。我々人間がこの豊かな水量を何時までも保てるよう努力する必要があります。環境破壊につながるような工事、家庭から、工場からの排水にも注意せねばなりません。命の水です。県民皆が意識を持って水を守りましょう。
997	以下、●●●●●中●●●●●組の生徒たちの意見です。○釣り(鮎・ハゼ・ブラックバス・ハエなど)をした○潮干狩り(シジミ・アサリなど)をした○バーベキューやキャンプをした○飲み水として利用できるきれいでゆたかな川であり続けて欲しい○徳島は断水が無いし、水道水をそのまま飲むことができる○ゴミが目立つ・ゴミを捨てない・釣り糸が捨ててあった○南海地震や大洪水で家が流されると困る○工事をすると鮎やほかの魚が少なくなる○カニやさまざまな生物が生きていけるように自然を残してほしい○第十堰には小さな魚が通る魚道がある○ダムや堰は自然を壊すことになるのではない○清掃作業を定期的に行う○徳島の宝である○川底の見える川にしたい○ジェットスキーは禁止してほしい○ウインドサーフィンやカヌーなどのウォータースポーツができる○吉野川は有名である○支流の穴吹川で泳いだ○古い堰は壊して、新しくしたほうが良い○鮎があまりとれなくなった○植林をし、森林の保全をするべき
998	「明日の吉野川と市民参加のあり方を考える懇談会」第十堰の問題の良好な解決に向けて、2001.3.24最終提言は今後も生かされますよう活用を切に望みます。
1001	一部の人の私利私欲、心情によって日本の財産である吉野川を汚さないで欲しい。
1006	第十堰を半分はずし、水をきれいにしてほしい。「流れる水はくさらない」。竜王団地の下水を川に入れないように。「日本一の良い水」に吉野川がなるといいな。どうぞよろしく願います。
1008	吉野川の上流と下流では川の流れるなどが大きく相違している。上流(特に山城町)についても留意した会を立ち上げて欲しい。
1038	木頭村のダム中止、第十堰の建設未着工は残念です。準備会の日も早い集会を希望いたします。1月23日の投票は青年層の反対が多かった。高知の集中豪雨の経験もない人が反対?残念です。私は上板出張所在籍中(14時間机の上で握り飯2個、コップ一杯の水)の経験をした。鳴門で集中豪雨をしたら反対の徳島人は助けてくれるでしょうか。対話の時にはよく反省し対応をお願いしたいです。私は上板町出張所在籍中汚職事件があって警察の立ち入りを経験した(トイレもあけっぱなし、警察2名ほど)残念でした。砂利組合への対応の為事務所の出入りの時、守衛の門の閉開の経験をしたとても残念でした。この2件の事件で建設省への地元の人のイメージが反対となった。悪い原因になったようです。現在の吉野川講座本当に受講してよい勉強と経験をしています。日夜努力をしている皆様心から感謝します。頑張ってください。今後もよろしく願います。私は40年間建設省に在籍しました。鹿野川ダム5年、高知11年、徳島24年です。徳島では池田、貞光、松茂など勤務し会計検査で鉛筆一本数えた事、ソフトボール大会に参加したのは良い思い出が沢山あります。小さい少年の時代、河原で柳で刀をつくり、クワ虫を採取にまた竹の子とり又台風の豪雨で牛の泳ぐ流出の時、河川敷で蛇のような1メートルくらいのウナギ、フナとり、流木取りをした経験をとても懐かしく思います。
1043	私は三木町で農業も経営しながら土地改良の仕事も行っていて環境と水、生活と水について強く関心を持ち三木町でも改良化が進んでいて、河川の水質が悪くなっていて土地改良区としては水量の確保が大きい使命ですが、水量については吉野川の恩恵を受け安定してきていますが将来的には水不足の心配は出てきています。四国に住む多くの住民が環境と水の大切さをもっと勉強して大切な財産を有効に利用する検討の場等が活動して効果が上がる事願っています。今の社会は権利を主張する割には、義務が果たせていないように感じていて、私の土地改良区では水質を確保する為に色々なサンプルを配布して啓発運動を行い実効をあげています。今後の吉野川といえど絶対安心と言えないので私たちも参加して吉野川を守る運動の機会を頂いた事に敬意を表して意見を終わります。
1045	住民の生命財産を守り、且つ自然も大切にしてください。
1048	自然が残っているのが良い。泳いだり、エビ、シジミ取りしたりと、いろいろな思い出がある。この自然を永久に残す事が大事であると思う。サイクリングが好きなので、夢かもしれないけど河口～源流近くまでの自転車(ウォーキング、ジョギング含む)の専用道路が出来たらいいな?

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1051	川にゴミが不法投棄されているのを良く見かける。官がいくら努力しても住民のモラルが高まらないと川はいつまでたっても汚いままである。この県民性を直す策を考えて欲しい。
1052	吉野川を育てる心を持つ人が一人でも増えるような行動が必要。①マスメディアによるPR、口コミによるPR。②行政施策、学校教育、ボランティア活動など(アドプト等)。
1059	もっと沢山のイベントを計画して欲しい。吉野川と遊び学習する機会が増えれば、子供も喜ぶと思うのだが。
1060	去るアステイ徳島で工業展があり見学した。そこでちょと意地悪をした。私「弘法大師は満のう池を直し、88箇所をつくり大変やな、どう思う」、若い人「……にこ」、私「弘法大師が満のう池直したという伝説信じるん」、30歳過ぎの男性「それはね・・・」水を得た魚の如く説明を受けた。これ国土交通省の職員でした。ごめんね。でも楽しかったよ。
1062	①下水道の早期実現、生活排水が吉野川を汚している。②吉野川池田ダムの水量調整により、水量が少なくなり魚も食べる餌もなく、それを食べるサギ鳥も池に飼っている鯉を食べるような生態系も変わってきています。③吉野川の下流ばかりで会合せず、上流で現地調査をして意見の中に取上げて欲しいと思う。④三加茂町の川では魚の影が一匹も見えない。⑤吉野川講座に出席しようと思っても午後6時からである為、なかなか行けないのが残念。
1065	もっと澄んだ川であって欲しい。
1068	私たちが日常的に触れ合う事の出来る自然環境が次第に遠く現在、吉野川は無限に近い包容力を持っている。この貴重な共通の財産を適切に積極的に管理運営してゆくべき。
1070	地球上の生き物全ては水無しではならない。汚染されない水を守ることが地球を守ることだろうと思う。そのためにも贅沢は禁物。もう少し質素に生活をせねば今は豊すぎる。その為に地球を汚している。昔までとはいわないが、少し前にバックしてつづきみて生活していこうと思う。
1073	無駄な税金は使わない。第十堰はそのままだがよい。
1074	河川の保護や環境の美化については、国土交通省の権限の下にあるように思いますが、川に浮かぶゴミの清掃や周辺(土手、河川敷等)は県、市町村に権限委譲して、手続きの簡素化と迅速性が必要と思います。吉野川だけの問題ではありません。アドプト活動をする人はボランティアですが、川を汚さないような公衆道徳の教育、普及ももっと大事だと思う。
1080	第十堰の可動堰化問題の時には多くの人が吉野川に感心を持っていました。でも今もう忘れてしまっている人が多いと思います。でも水によって生かされている私たちはもっと日常的に森林、田、川のことを考える必要があると思います。水を大切に使うこと、水を汚さないように合成洗剤を使わない事、市民レベルで出来ることしなければいけないことが沢山あります。そんな市民の思いや行動と行政がうまくかみ合っているだけでも美しい吉野川をつくっていききたいと思います。公共事業にみんなの目が厳しい時代だからこそ、情報の公開と説明責任にご留意いただけるよう要請します。
1082	市場町伊月には延喜式内神社の事代主神社があります。明治の昔には吉野川で一番大きな善入寺島にあったようです。このことはあまり知られてないことです。この善入寺島を取り囲む川島、山川、鴨島、市場町八幡村(昔)などに平安の頃から又それ以前から神社があり古代の歴史がある場所です。世界の文明は大きな川の側で起こっています。吉野川はその文明の起こりに大きな関係があることと思っています。その善入寺島は昔は粟島と呼ばれ古代から粟がよく育ったといわれていました。又この辺りは忌部氏の里ともいわれ忌部氏から齋部からイツキベに通じませんか。なぜ四国の霊所で吉野川を渡った場所は市場町の善入寺島(大野島潜水橋を渡って)を渡って川島町へ抜けたか。なぜ土成町の秋月は(明治は伊月村)細川氏が城を作ったか。なぜ大野寺(四国で一番古い方)が善入寺島近くにあるのかこの歴史をほりおこして欲しいです。その場面には私は一緒に見たい昔を。
1083	各地域にあるボランティア団体も各地に出来てきて担当が増えてきたと思いますが、そのボランティア団体とも年に一回程度は国土交通省、●●●●の方々も出席して話し合う場もつくり、もっともっと吉野川づくりにご指導を得て活動がやりやすい環境にして欲しいと思います。
1088	吉野川という川の美しさに毎日の通勤で気づいて新聞などで見かけたリバーキーパーズに入会させていただいてます。一度しか参加できていませんが、子供達と話し合うことが出来ました。参加したときなど説明などにも知らないことばかりで昔の台風予防についての対策には驚きました。この様な会があったからこそ知ったり、見て感じる事が出来たと思っています。又まだ私の周りにはこの様なイベントや会を知りません。もっといっぱい近くの方々とも吉野川の勉強など話し合えることが出来ればと思ったりしました。あまり参加できていないのにたびたびの案内ありがとうございます。参加は仕事上なかなか出来ませんがいつもしつかりよまさせていただきます。目にとまったものはしっかりと覚えてありますし、これからはもっと参加したいです。いつも皆様ご苦勞様です。
1089	吉野川をどのように整備していくのが良く分かるように流域住民に内容のよくなる書物等を作成して配布して欲しい。もっと吉野川をきれいにしてほしい。
1090	徳島へ行くのは巡拝やイベントです。吉野川は絵画のような風景や美味しい食べ物が収穫されて食べられる事です。高速道路を利用する時と192号線を利用する時があります。阿波踊りはここ数年毎年見物にいらいます。他県優先の無料駐車場や臨時駐車場からのシャトルバスの運行など大変親切だと思います。徳島県民だけがよければ良いのではなく、他県の人にも楽しく喜んでもらえる気持ちも伝わってきます。イベントでは吉野川フェスティバルで土石流体験もしました。土成町花フェスタでは美しいランの花を見てきました。知らない所がまだ沢山あるので何度も行ってみたい県です。この吉野川を世界中の人々に知ってもらって大勢が訪れるようにしてほしいです。色々な取り組みもしているようですからきっと素晴らしい吉野川づくりが成功すると思います。吉野川ファンの一人として応援しています。
1091	四国三郎と呼ばれる吉野川であり、将来世界遺産に登録されるような環境整備を行い、日本、世界にほこることの出来る川づくりを行ってほしい。今一度昔に帰ることを考えて欲しい。
1092	川の近くの人は何時も釣りが出来る川がほしいです。
1094	世界の遺産、日本の三大河川にふさわしい、日本の遺産として誇れるような吉野川に100年先を見据えた将来像をイメージして何代もかけて仕上げて行って欲しい。私たち県民住民も積極的な協力をおしみません。行政の皆さん方の積極果敢な努力を期待しています。
1097	日常生活の中で、水づくり、川づくりについては生活排水の配慮、節水、アドプト参加など我々が出来ることが出来ることはできるだけしているつもりです(納税も含む)。お役所。公務員の不祥事のニュースを聞くたびに不公平感を感じ、悲しくなります。どうか我々の税金を無駄にせず有意義に使っていただきたく思います。
1100	提案、アンケート10の頁でAさん、Bさんの意見に大賛成です。森林の保全、特に落葉樹が良いとか、落葉が水を含み保水力を高め落葉の栄養が水に溶け込み川の生物も海の生物にも豊かな栄養となり、人も川も海から恵を受けて健康な生活が過ごせるのではないのでしょうか。洪水や濁水の緩和にもつながります。またBさんの意見の通り、護岸は自然に配慮した川づくりをしてほしいと思います。お尋ね・・・7頁の写真の中で洪水のほどどこでいつ頃のことですか。これは吉野川の水でしょうか。もう何年も吉野川の流域で洪水のニュースを聞いてません。
1123	自分の家は穴吹川のすぐそばです。上流を美しく保ち吉野川も美しく保つことができればと思う。
1124	水の怖さまた美しさ清き流れて釣りの楽しさ、子供の頃の思い出、いかだ渡し、橋のない頃渡し舟で行き来した頃大水で家が流れていくのから木、橋が流れていくのは淋しく見えていたのを思い出す。
1128	現状よく取り組みしていると思います。今後の活動も楽しみです。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1132	私は高知県大豊町の出身ですが、吉野川の瀬音は子守唄でした。父が生前早明浦ダムに連れて行ってくれた日の事を昨日の事のように思い出します。次は家族で一番源流に行ってみたくと思っています。昔より山の木が少ないと思うので、ダムや堤防をつくるより植林したり山を守る事が川を守る事につながると思う。私は老人ですが、この美しい吉野川を子供や孫に伝える事は大切と思う。役所の方々も頑張ってください。毎年吉野川フェスティバルには自衛隊父兄会で世話になっています。
1133	皆が納得するような吉野川づくりをしたいと思っています。
1134	第十堰はやはり建設して欲しいです。大洪水になったときの不安はすごくあるし、大洪水になったらどうなる等パンフレットとテレビで見たからです。多くの人にそれを見てもらったりしたら理解してもらえそうです。多くの人に見てもらうには、ただ皆で川について話し合う会を開いても多くの人に集まってもらえないのでイベントの時などにプログラムに盛り込むなどして参加者にプレゼントとかあれば沢山集まります。
1137	第十堰の住民投票は堰というものが理解できないまま他人に勧められてとか権力者の言うとおりに投票しておけば間違いないだろうとかで分からないまま投票した人があるとか耳にしましたが、とても残念な事だと思います。もう少し地域(徳島市)の方々と説明会を開いて話し合い理解をしていただく必要があったのではないのでしょうか。現在鳴門市でも問題は全く違いますがゴミ問題が深刻化しています。日夜市長さんをはじめ、行政の方々も説明会を開いて話し合い大変な努力をされていますが、人間というものは自分のことだけしか考えていない人が多いようでいまだに解決が出来ません。第十堰の問題も同じように徳島市の方は鮎喰川を挟んでいるので直接吉野川の恩恵があるいは被害を被っていないと誤解されているのではないのでしょうか。住民投票が徳島市だけで行われた事も私たちには理解できませんが、早期に解決出来ることを願っています。今は平和な吉野川も昔は台風ともなれば荒れ狂う吉野川として恐ろしいほどの濁流で堤防の決壊、洪水、床下床上浸水など大変な目にあいました(藍住町の体験話)。洪水の恐ろしさは昭和45年以後高知から徳島へ転勤後、台風により高知市の鏡川沿いの官舎が軒下まで浸水し寮も床上浸水で大変だったと後で伺いました。今は立派なダムが出来て堤防も整備され、そんな心配もなくなり、昔の話をしても若い人達には信じられないかもしれません。今後は事実として考えていただきたいと思っています。何年か以前に行われた早明浦ダムの植樹に参加させていただきダムの立派さに驚きました。5、6年以前には愛媛県の鹿野川ダムを見学し相当古くはなりましたが、当時を偲んで懐かしかつ住んでいる人は時代が変わって見知らぬ人ばかりで少々淋しく思いました。機会があれば大渡ダムにも行ってみたいと思います。官舎のあった佐川町までは行きましたが大変な発展に驚きました。吉野川講座を聴講し、大変良い勉強をさせていただいています。女性が少ないのは夜という時間的なこともあると思いますが、「男女参画」の言葉の如く女性も積極的に色々勉強しなければいけない時代になったように思います。
1139	今後の河川整備については学識経験者、公聴会の開催、地域住民の意見とか地方公共団体の長などの意見を参考にして決定したいと思っています。
1142	母の実家が小歩危近くにあり、小さな時から上流、下流(自宅は鳴門市のため)と吉野川を色々な所から見してきました。徳島道の吉野川ハイウェイオアシスで吉野川下りもしました。とにかくこんなに自然にあふれ、上流、中流、下流と色々な表情のある川もなかなかないと思います。保全や防災も大切かと思いますが、どうか今までの自然あふれる吉野川を保ちながら工事などは行ってください。人工的ではなく、素朴な自然の中の川が吉野川の良いところだと思います。
1143	今までのいきさつや利権など自分のことだけを考えるのではなく、本当に大切なものこうあって欲しいと考える理想の形を思い描いてからそれを実行するにはどうしたら良いかという考えから出発して欲しい。帰納法的な発想では何も良いものは生まれやしない。
1156	堰をつくるのは反対です。川の水は常に流れることによって清く、美しく生きていけると感じています。
1158	池田ダムが出来、香川県に吉野川の水の分水が始まったころ、私は池田高校の3階から遠足の児童が見学に来ているのを良く見かけました。少しの間だけ見学してすぐ帰ります。そのときその子供達が吉野川を勉強できる施設があって本当の吉野川を知る事ができるなら分水された水のありがたさが理解できるだろうといつも残念に思っていました。平成5年頃「吉野川ハイウェイオアシス」の構想の中に当時の町長さんが私の吉野川に関する論文を取り入れて、吉野川に関する総合博物館をメインにすると発表され、新聞にも公表された事があります。総合博物館には吉野川に住む魚を中心にした水族館や遊水地帯の苦しみ、物産など総合的なものでした。その後町長さんが交代して新町長になってからは現在のようになりました。私自身は大変残念に思っています。その後現在の「貞光ゆうゆう館」の付近にも話をしてみました。が、無理なようでした。四万十川の「お魚館」は子供達の学習の場に変化していると聞いています。吉野川にも川に関する総合博物館が出来、子供達の勉強の場が出来ることが私の夢です。
1170	吉野川の河川管理に努めていらっしゃいます関係者の皆さんご苦労でございます。香川県民は吉野川の水を毎日毎日水道水や農業用水、更には工業用水に送っていただき大変な恩恵を受けて喜んでいるところがあります。いろいろとアンケート調査をお答えをさせていただきましたが、吉野川は水や自然があり四国の財産であると思っています。将来に向かって残してあげる財産の一つとして関係者が充分な検討や協議を行って進めていただきたいと思っています。
1177	小さい時には吉野川で時々泳いだり、海老をとったりしました。私が小学校の頃吉野川が泳泳禁止となりました。吉野川の流れが速くなり危険だからです。吉野川でジェットスキーやヨットなどを見るにつけ「吉野川で泳げたら良いな」と思います。新町川も石を張って浅いところをつくって小さい子供達が遊べるところがあります。吉野川にも安全で水遊びが出来ることがあればいいなと思います。個人的な意見で失礼しました。
1179	河川敷、占用地にサッカー、ラグビー、テニス、野球、ゴルフ場などのスポーツ施設を沢山つくる。維持管理は使用する人がボランティアです。
1180	吉野川フェスティバルいつも楽しみにしています。竹林を伐採した際にでた竹で竹炭を作っているということですが、子供も連れて伐採に参加させてもらえたらうれしいです。アドプト運動にも参加したいのですが、親子で参加できないのですか。リバーキーパーズも子供が連れていけるようなイベントを多くして欲しいです。
1184	池田ダムが出来て以降、徐々に三好郡周辺も河原の汚れがひどく、現在ほとんど水辺まで歩いて行くのにいやになって来るようです。河川(吉野川)保護のための施策をとって欲しいし、金を投入して吉野川の除草を毎年1回初夏に実施してください。
1188	未来の人達に誇れる吉野川を残したい。
1192	ダムの影響で40年前にはものすごくきれいな水が多く流れていたと思うが、ダムの後小さい粘土状の土が流れ1メートル先も水中に見えないようだ。大雨の後も清流に戻るまでの日数が長くなっている。また川底には土がたまり水垢がつきにくくなっている。
1231	追伸担当の方大変ですね。でもとてもやりがいのある仕事だと思います。50年後の吉野川が今より一段と美しく生活と密着したものでありますよう。子や孫に自慢できる川であるように頑張ってください。応援しています。
1242	ジローもタローも一票である。票が多ても良い悪いも判断もせずに一票を入れた人がいたら問題です。でも今それがまかり通るわけです。民主主義の一番の恥部といえます。選挙も知縁などでなく良く理解し選ぶことが50年を過ぎた頃には出来てきたかと思いきやまだまだ上には(外務省には何も言わん)弱いところが日本古来の図式が残っている。吉野川をよくしようという想いのみにしてほしい。踏み台にして名誉、金儲けなど不用にしてください。安心して生活が出来ることが望ましい。
1245	吉野川の自然を大切に残しましょう。河原の清掃して欲しいです。吉野川の問題今一番なのは川岸のゴミではないでしょうか。県民モラルの向上を計るのが大事なのでは。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1246	地球、宇宙にある全ての物は因果関係にあるものと多くの方々が言われています。個人を尊重する事は大切ですが、より協調共生することが重要であるかと思われます。新居浜に住む私も何回も吉野川には行きました好きな場所のひとつです。今では全てに感謝し、何事も前向きに考えるようにしています。次世代のこども達のために、大人として恥ずかしくない人間、ほんものの人間になりたいです。まだまだ未熟者ではございますが、ご指導、ご鞭撻くださいますようよろしくお願い申し上げます。
1248	吉野川は土型的に四県の皆様が水の大切さを充分に受けることが出来る大河ですので自然と環境と住民が恵を受けるよう考えましょう。
1263	自然保護や環境意識だけでは人々の気持ちは動かない場合が多いと思うので、やはり吉野川には利便性も伴わずべきだと思う。現在の運動場、散歩コース、片側一車線の道路だけでは不十分であると思う。例えば散歩コースには植花、キャンプ施設の設置、橋を建設するにも景観を際立たせるデザインのものにするなどで工夫が必要だと思う。
1264	吉野川は四国の自然のごく一部である。流域住民の家庭からの排水も集まっている。四国の中の吉野川であるので、広い視野で考えてもらいたい。犬、猫、鳥の意見も聞いたらなおいい。(動植物の立場になって考える)。人間だけの吉野川ではない。共存が必要。そのために私たちが何が出来ますか。教えてください。頑張ってください。
1275	徳島工事事務所さんがんばってください。
1276	自然保護だとかアウトドアだとかいって何でも許されると思っている人が最近多いと思います。自然大好きで休みの日には自然の中で過ごしていますが、なんていう人ほど実際は自然を壊しているとは思っています。大変な時代になってしまったと思います。第十堰反対なんていうのは一種の宗教のように思えてなりません。皆が踊らされています。危ないです。私は難しいことは分かりませんが、日本の土木工学というものは世界でも一、二位を争う優秀さではないのでしょうか(技術面でも勿論ですが)。そんな優秀な人達、それも専門家が何人も何年も研究して出した結論はましてや古くて危ないから国が直してあげましょうと言って下さっているのに、何故反対するのか、私には理解できません。色々と皆様大変だとは思いますが、もう少し強くびしゃりと言ってやっても良いのではないのでしょうか。頑張ってください。
1278	治山、治水、先ず山を治められなければ川は治まらないといわれています。私はまさにそのとおりだと思います。私は那賀川の上流で生まれ育ち、25歳の時に出市しましたが、その頃的那賀川の水の流れは現在の(大きな話をすれば)、大方倍は流れていたのではないかと思うほど、水量が減ったと思う。(半分になったと思う)。私の生まれた支流ではその頃大人でも川渡りが出来ないくらいの水量があったが、今では半長ぐつでどこでも通れるくらいしか流れていない。大きな雨が降ればすぐに大水となり、2日もすれば平水になり10日もすればあの水は何であったのかというようになる。(昭和20年代では川幅いっぱい流れていた)、これは那賀川に限らず県下のいや全国の川がこれに悩まされているのではないかと思う。これは源流部の自然ほどチップ材に切られその後は杉、桧を密植し、屋も真つ暗い林相となり下草が一本も生えないような山が殆どである。早い機会に林を整え下草のたくさん生い茂るような林になれば杉、桧林でも充分天然林に近い、林としての役割を果たしてくれるはず。昭和20年代に切られた杉、林は先ず仕事に入る時は下草を(雑木、や草)取り除けないと作業が出来ないくらいであった。緑のダムを早くつくりましょう。
1279	自然林から人工林。ダムの建設。護岸工事(特に三面張り)。橋など私たち人間の都合で川を変え、水を変え海を変えてきました。それが将来の為に殆どがマイナス要因になりつつあります。河川整備にたずさわる専門の方々には出来るだけ自然を残し、自分達の仕事の都合ばかり考えず、子孫のために大いなる川吉野川を残すことを夢見てください。 unnecessaryなもの・・・吉野川河口のイベント(特に花火、島には大迷惑)。沖洲の埋め立て(小動物のためにも川の流れにも)。可動堰(自然の流れに逆らう為)。ダム(つくればつくるほど川は死に近づきます)。
1281	頑張ってください。
1293	吉野川水系は、徳島県流域住民の財産ではないと考えます。水不足の香川はそれなりの負担をして徳島県はそれを目的税としてのみ使用することを希望します。また上流地域の森林は杉、檜の針葉樹林が主に植林されているが木材産業の不況で放置され森林の保水力が著しく低下している状況なのでこれらを落葉樹に変える施策を関係省庁にお願いする環境税もしくは酸素税の立法化をはかり、その財源を森林の保全に使用することを望む。
1294	上流には気持ちよく癒されることがあり、下流には下流の良さがあるのでこのままの吉野川を残してもらいたいです。
1296	植樹をするとき当地にない種類を植えないこと、林相が変わる恐れがある。嶺北特に吉野川に近いところにある木の種類を植える事が大切な事だと思います。
1304	とにかく人工的でなく、自然なイメージにしてもらいたい。特に気になるのが橋であり、様々の色や形があるが吉野川にマッチしていると思うのは名田橋や美馬中央橋のようなコンクリート橋の景観は美しいと思う。鋼橋のような色と形はよくない。自然の中に直線は似合わない。
1305	吉野川開発は当初は治水中心の技術論で討議されていた印象です。しかし利水、吉野川をいかすための総合計画(自然環境保全を含めて)を中心に検討すべきであり、豊かな自然を活かすことが大切です。
1307	行政がもっと積極的に住民との対話の場をつくってほしい。
1308	人に善悪、物に大小、流れに早い遅い、リズムがあること変化を好みとする人類である。危ないことは避けること、防ぐこと、起さない事で防止できるか。自然の変化は先ず思った通りには行かなくても向けることそう仕向ける事はできるはず。上流で川下り、ポートセーリング川下り、中流川下りのんびりゆらゆら川辺で遊んで、下流では魚、貝、鳥と遊ぶ場であってほしい。ウスガイ、シジミ、カラスガイ、バカガイ、ケタエビ、サノボリ、ゴリ、タロハゼ、子供の頃とった生物がいらないものですね
1314	吉野川づくりの意義と方向。
1319	線路が吉野川に沿っているのでイベント車を走らせるなど官民隔てなくやってほしい。
1320	気象条件の変化は急速に進んでいる。将来どんな大洪水が発生するかの予測が出来ない。百年に一度、いや五十年に一度の災害を想定し、対策を講じなければ安心した生活が出来ない。子孫のため女性的な吉野川をつくってほしい。
1323	川の問題については、いつも学識経験者一部の住民が中心で実施されています(全体的には呼び込んでいるが全体的に参加されない)場を設けてさあ参加しなさいという意向でなく。小単位でもこちらから出向いていく必要もあるのでは。今小学校、中学校で川について説明できればと思います。また自治会(婦人会などの集まりでも説明できればと思います)。
1324	池田町シマの川原をもう少し何とかならないものかと。徳島市あたりの川原は車も乗り入れたり市民の運動場や遊び場になっているのを見ました。今は川原に土砂が大分あるので運動場ぐらい出来ると思うのですが、それや書院谷樋門の水路をまっすぐに川に通じるように整備してもらいたいと思います。前々はたまにブルがかいてまっすぐにしたこともあったのですが、あれでは一回大水が出たら、又もとのもくあみですので出来ればもう少し予算をかかげてもしっかりしたもの。
1326	八十八箇所巡りの人が立ち寄る場所があれば良いと思います。
1330	自然保護大変良いことだと思います。しかし人間の平和な暮らし、安心できる毎日を送ってこそその自然第一は人間の生き生きとした平和な幸せ。その次が自然保護。今の人は国では自然、自然。本当に自然界の怖さを知っているのでしょうか。
1331	準備会などの会員数は15名程度をお願いします。吉野川懇談会はメンバーが多すぎ失敗した。
1337	吉野川流域の意見を取り入れ河川管理者がリーダーシップを取って欲しい。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1339	綺麗な水を利用する産業を考える。汚染の原因になるような産業は誘致しない。農業などはその基本であるが経済的に効果のあるもの(産業)についても徳島県の発展のために充分考える。今後は公共事業による日本列島改造論的な産業構造から脱却し、県独自のプロジェクトを持たなければならない。水、農業などいかしつづつそれを利用する産業の育成を独自に考えるべきだ。
1342	次世代に今までのような美しい水、豊かな水をたたえた吉野川を残してあげれる事を願っています。そのためのボランティアなら喜んで参加します。
1344	日本有数の大河である吉野川をどのように共栄してゆかかは流域全体で考えてゆくことが必要である。吉野川は自然の豊かな川であるが、逆に自然災害による被害も大きな川である。豊かな自然を復活させながら一方で災害に対する基金を設立し、全てが公平に恵みを得られるようにする必要がある。
1351	第十堰をいかにして、整備しそのときに温泉、公園など憩いの場をつくってください。
1354	①私もアドプト吉野川に参加しております。今吉野川河川を各種利用し、グラウンド、ゲート場など設置され利用していますが、運動場については町が管理しているとききましたが、子供達が利用しやすいグラウンドにしてほしい。理由は管理が不十分で雑草などが多く利用しにくい。出来れば定期的に清掃などを行い、整備をしいつでも子供たちが気持ちよく利用出来るようになること。②年に一回から二回大規模な清掃など作業しているが、すぐ雑草が大きくなります。清掃作業機械を町などで管理し貸し出しをしてもらえれば、数多く奉仕作業が出来ます。③利用者には十分ぐらい、清掃整備作業をさせてはどうか。
1360	昔に比べ水が少なくなった。早明浦、新宮ダムが出来て、昔のような大洪水はないと思う。吉野川の水で四国四県で恵を請けているが水害は徳島県だけが受けている。
1361	普段何気なく使っている「水」の重要性を周知徹底させることが一番大切だと書かさせていただいています。これはやはり、一部の人が理解し、いくらその重要性を述べても社会全体を動かす力にはなりません。現在環境問題などもそうですが、やはり企業の取り組みも必要となってきます。企業は利益を追求していきます。先日水源税を設けるという話を新聞などで見ました。こういった取り組みもまた「税をとる」というだけでなく、水資源の保全に務めたら「免税する」という自動車の排ガス量規制免税適応車のような方向性も有効な手段だと思います。企業が考え、それを行政が認めることで偏った考えが減り、新しい発想が生まれてくると思います。国民全体に周知徹底させるために企業の取り組みからやっていくのも一つの手段だと思います。
1365	川、海は生物発生の源であるゆえに出来るだけ自然の形に戻さなければならない。ただ見た目が美しいとか利便性のみを考えたのでは環境破壊になる恐れがある。山は人工的な植林は出来るだけ避けて自然に任せたいほうが良い。
1368	私は徳島市内の中心地にすんでおりますが、近くに眉山、新町川、徳島城公園と山あり川あり緑ありと自然に恵まれております。吉野川橋を渡るたび、雄大な川や豊富な水量で素晴らしい景観です。この豊富な水、ただ流すだけではもったいない、水のない国に申し訳ないような気がします。香川県の友人がしみじみいいました。徳島の川には水が流れているとこのような水を環境を損なわぬよう少しでも有効に利用したいと思います。町中に住んでいる人の意見と聞いてください。河川の整備について重要な物から順に。①治水は防災第一、対策は科学の力を信じ、可動堰タイプ、オーストラリア、ウィーンのドナウ川は3000年に一度の洪水を想定し対策。②利水は水の有効利用。③環境は川の上、下流で失われた環境を取り戻す対策は充分に行う。と思いますが、河川管理者側、学識経験者、流域住民代表者で早急に準備会を開き、討論し決定対策を実施してもらいたいと思います。
1370	自分の意見には責任を持つ事。単に反対のための反対では駄目だ。
1383	自然を大切に水を大切に活用できる施策の充実をはかって欲しい。
1390	本文企画に当たり徳島県長期計画内分。①リゾート整備の推進の元企画とす。①国全体の構想に準じ一部徳島のテーマとし遂行にいたる。①徳島県魅力つくりとしリゾートつまり楽園、心の安らぎをテーマとし、海外、国内に提示とす①国を元とし国民を国のもとに連ぐ執行業務とし国土交通省四国地方整備局徳島工事事務所となす。※一つの国家形成執行業務とす。追記、水辺に海外国内において歴史の船浮かべる事で歴史の探訪となる。
1394	四国四県の多種多様な恵みが受けられる吉野川であるように。(大きく見れば地球、宇宙規模で)
1395	このような形で皆の意見を聞くのはとても良いことだと思います。私の住んでいる引田町では吉野川のように何時も絶え間なく流れている川はありません。雨が降れば流れ出す天井川となっています。川とはそういうものだと小さい頃から思っておりましたが、常に流れがある川、吉野川はうらやましく思います。当町は香川用水の東端で農業用水としてとても助かっております。川そのものは地理的に離れており、買い物などで徳島市内へ出かけたときに吉野川を眺める程度です。徳島の方は河川の氾濫などで昔から苦労されたと聞いています。近くでないだけに質問項目でもピンとこない箇所もありましたが、ご了承ください。
1397	40年前の吉野川が良い。
1400	生活の便利追及と環境保護の両立は基本的には無理な話である。危機管理に備え、はやく可動堰でも堤防補強でも良いから実施して欲しい。
1402	①災害の防止。東海豪雨の様な洪水災害は絶対に発生させてはいけな。自然景観に配慮し、堤防の補強など整備して欲しい。森林の保全や植林などに力を入れることも大切。②交通網の整備。下流域では毎朝夕の交通渋滞でこまっています。自然環境には充分配慮し、橋をかけて交通体系の整備をして欲しい。③スポーツや憩いの場。豊富な水量や広い河川敷を利用し、市民、県民が親しみ全国から参加、観光の出来るよう整備してはどうか。例、水上バイクレース、ウィンドサーフィン、カヌーレース、キャンプ場、サイクリングロード、吉野川マラソン、水泳マラソン、凧揚げ、花火大会など。※春夏秋冬いろんな参加型イベントが出来れば自然が共生し、活性化も図れるのではないかと。自然豊かな吉野川を後世に残すと共に災害の防止や生活環境(特に交通網)が改善されるようよろしくお願いします。
1405	地域住民の吉野川への思いを反映していただきたいと思います。特定の地域の意見や偏見は厳に慎むべきものと考えます。元禄の大水など氾濫の歴史に学ぶことは大切と信じます。
1408	日本人遙かな旅(NHK)平成13年12月23日から27日。①マンモスハンターシベリアからの旅たち、50分。②巨大噴火に消えた黒潮の民、50分。③海が育てた森の王国、50分。④イネ、意見知られざる一万年の旅、50分。⑤そして日本人が生まれた、50分。さすがにNHKの知識によって見事に説明されていると思われる。私たち日本人は常に最善の手段で社会を作り上げてきました。過去を了解して現状を知りはじめて未来に考えが及びます。このテープが教えている時代吉野川流域の状況を推定出来る人達に見ていただきたいと思います。
1411	各層をえらんで代表意見として取上げて欲しい。各自の作文、手紙などの場を●えて県の一時的な統集でなく、官民一体の場であってほしい。
1432	全国に誇れる吉野川にしたいです。①災害に強い川②自然がいっぱい、蛍自生の川③水量豊富な川として後世に自信をもって伝えていきたいです。
1434	海を考えるには川、川を考えるには山、必ず基を考えてください。
1439	第十堰の問題については、一般の我々には論点が良く分かりませんが、自然保護団体の運動から何か問題点があるのと思う。事前に公聴会などを開いて住民の意見を聞けなかったのか。国土交通省は住民と吉野川のかかわりについて事前に実態調査をしたのだろうか。国会での国土交通省大臣の「つくってあげましようと言っているのに、住民が嫌だというのがあれば止まればいい」の発言に官僚主義的な姿勢を感じ失望しました。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1441	被害にあわないと痛みは分からない。堤防をつくり、ダムを造ることにより大幅にその機会が遠のくのであれば経済的に許せる範囲でつくってほしい。将来豊かになり被害を受けてもすぐ復旧できる力量が備わった時にはコンクリートの護岸を取り除き自然を多くした方が良くと思う。また利水などもダムを取り除き、淡水化プラントを造れば良いと思いますが、今はその時でないように思う。安全豊かな生活がまだまだの状態で自然を少し譲る方が適当と思う。
1442	アンケートの意図とずれてしまいますが、不況、多額の国債、外務省に見られる政官の問題で、吉野川も大切ですが、他にも多く問題があるように思います。予算も少なくなるのでしよから効率よく使って欲しいです。
1444	吉野川は利害双方とも県民に与えた影響が歴史的にも大きいものがあり、海の浄化にも関係し、全体的な考え方が優先しないと抜本的な対策となり難い。北島町(県全体でも)ではダムと橋と共用を考慮して推進することが単独事業とするより多くの希望が考えられる。実現性が高く以降の利用も考慮すべきであると思う。
1445	私は定年後河川敷にて家庭菜園を行っています。毎日畑に行くのが楽しみに日々を送っていますが、畑に行く都合上毎日川を渡っております。川も畑も見た目にはきれいに整理されていますが、昔の自然の美しい吉野川は失われていました。利水、治水、防災だけで川は管理すべきではないと思います。あまりにも必要以上に人の手が増えられている感じがする。水は死んでいきます。川の中を一度見てください。人間に多少不便でも川は自然をできるだけ保つべきです。兔追いし、小フナつりし・・・川があれば良いのに。もし昔の吉野川を見たいなら海部川に行ってみてください。昔吉野川にいた魚全ております。
1447	どこも良く似たものだが、決定してから公表せずその前の段階で意見をj得て検討してほしい。
1453	河川流域住民の特に川から1km以内の住民は何時も吉野川と接して直接恵みを受けています。この方々の意見を充分に取り上げていただきたい。河川整備の前にゴミ問題を解決してからにしてください。車中からの投げ捨てが多く、マナーの悪い県民である。
1454	国土交通省に限らず、公務員に勉強工夫が足りない。予算の使用方法も計画的にすることだ。このアンケートが年度末で思いつきの仕事でない事を願う。予算が余れば返納する勇気があつてほしい。人事異動の時期になったら人事は適材適所に。このアンケートを書いても竹は木でもない、草でもない、何なのだろうか、今私は大好きな吉野川のことを考えなければならぬのに。何を書こうとしているのだ迷う、迷う。もうよそう、自分の百姓仕事で草の一本でも抜きに行こう。
1456	住む土地で川の環境も違ってくる。それによって色々な考え方や、意見も違うと思うのでこういった問題は非常に難しいと思います。又私は直接よに関わってないというか、災害もないので客観的にしか答える事が出来ません。
1461	一級河川だし、国がかむので補償を。多数の力でよりよい川であるようにしてください。
1463	取り急ぎでまとまりません。しかし吉野川を思う気持ちは人一倍あると思います。これから意見交換等に参加できればうれしいです。
1464	国土交通省に不信感があります。「広く意見を聞く、アンケートをとり市民の意見を参考にする」という事でさえ決定事項に対し、仕組まれた段取りと申してしまいます。国民に信頼される政治が確立されることを望む。そのときこそ積極的に参加します。自然に手を入れることは取り返しがつかない結果を招く恐れがあります。慎重に取組んでもらいたいと思います。
1467	吉野川は汚れすぎている。川をゴミ捨て場の様に思っているのではあろうか。川を綺麗にするには、川だけでなく綺麗な町づくりや山づくりなど徳島県全体を底上げしていく方法しかないと思う。本州方面から来る人はまず吉野川を渡り、徳島市内に入ってくる。阿波踊りにしろ、市内観光するにも吉野川は人に見られます。一般の人は玄關の門構えとして植木を植えたり照明をつけたりきれいにするものです。徳島県人として吉野川周辺土手などに植樹したり散歩道を設けたり街灯をつけたりして人に見られても恥ずかしくないようにしたいと思います。人の目に付きやすいという面で徳島県にとって吉野川というのは眉山は別としてシンボリックな存在ではないですか。徳島県のイメージが吉野川の印象によって決まるということもおかしいと思います。全国的に見ても県庁所在地周辺に吉野川のような大きな川がある所は少ないと思います。あまり特徴のない徳島に、この四国三郎、吉野川は利用価値があると思います。夏場に吉野川横断水泳大会を開くとか、水上バイクレース大会とか人を集める要素は充分にあると思います。だからその周辺整備をし(環境系構造物を使って)吉野川のイメージアップをしなければ吉野川の名が知られれば、ゴミを捨てたり汚す人も減るのではないですか。那賀川の環境整備も考えてください。
1469	5、6年前の文化祭に瀬戸内晴美さんが、公民館で講演がありました時は吉野川の水を香川県へあんなに安く売ったのですかと聞いた時はびっくりしました。もう少し高く売れば良いのにと言った。水は相手にとって必要品だから期限を切つて出来るだけ高く売ればよかつたのと思う。国亡くして山河ありというけれど、今は時菜えて山河亡ぶ吉野川の水は汚れていてそして山は松は枯れて昔の面影はない。三好郡の山には草木が茂って山羊でも飼えば収入がある。そして川は鮎、フナなど放流すれば人も集まり町も潤う。吉野川の水と河原の石ころ青、白などの石は貴重なもの。そして周辺の空気は美味しい。夏は特に吉野川とこの山がある限り人間は生きてゆける。
1473	現在吉野川の河口付近は河川敷と川の間に手入れのしていない部分が多いと思います。又河川敷にいても背の高い雑草があつて、水面を見ることができません。もっと綺麗にして散歩できるスペースをつくってほしい。
1477	第十堰のブロックを取りのけ自然石に替える堤防の盛り土。兩岸に道路。私は昭和39年度より大型ダンプに乗り阿波町瀬詰大橋下流、吉野川河口の間パラス、砂を運送して行きました。そしてまた鮎を取り、漁もいもしています。そのためそのときの吉野川を覚えています。ものすごく変わりました。今は水が汚く外国の魚が多く、石がなくゴミ土が多く柳の木が多く生えています。
1479	吉野川周辺でゴミがあります。私もゴミ拾いを伊沢谷川で行っています。年二回地域の人々の参加を求めて、●●●●●のもとで行っています。地域の人に呼びかけ、自治会と婦人会、子供会に参加してもらっています。ゴミを捨てるのは地域の人が6から7割ぐらい捨てていると思われます。4年目になりました。ゴミの拾う量は大変減りました。捨てるのはゴミ拾いに参加していない人、あるいは参加していない地域の人です。川のアドプトも大事ですが、地域の人に呼びかけてゴミのない美しい吉野川をつくってください。そして利水、治水も大切です。私たちは水を使って生活をしています。そのためには自然の美しさを残すことばかり考えてはいけません。100年200年先を見据えた科学技術の最先端技術を使って治水、利水設備もあつて良いと思います。自然と人工との美しさも必要だと思います。
1481	県民が今以上に吉野川はじめ県内の川からの恵み、ありがたさを自覚し、川を守る取り組みや川に花を添えるイベントに協力していく姿勢が大切だと思う。
1482	釣り、カヌー、ラフティングなどアウトドアが楽しめる施設、設備、システムがほしい。
1483	もし堤防の構造上、許されるならば或いは少し腹付盛土をしてでも上流から下流までの70kmに及ぶ堤防に植樹(その地域に適合した)をしていただきたいです。河川敷に上下流にわたり、200mおきくらいに飛び飛びに池をつくってください。
1486	吉野川のみならず、支流の川の管理も問題がいっぱいあります。生活に密着した計画であつてほしい。
1488	環境にあつた、可動堰を早くつくってほしい。
1492	日々の保全、保護、管理する態勢も大切です。
1498	綺麗な川にしていきたい。釣り連盟の会員として吉野川を守ってきたいです。



みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1642	●●●●さまへ。アンケート用紙は私の周囲のものには殆どいきわたっていました。必ず出してくれるようにお願いしてあります(少し難しいと言っていました)。吉野川の河川整備基本方針の策定は大変でしょうが、頑張ってください。急いで仕事を仕損じると言います。バランス感覚を研ぎ澄ませて進まれるようお願いいたします。私の個人的な意見ではあと10年位後にできればいいなと思いますが。
1643	良く意見を集約して慎重に対応していかなくては取り返しがつかない場合が起こる可能性がある。
1644	夏に家族でピクニックにいけるといいです。でも安全面が心配。授業の一貫としてでも、子供たちが川で遊べるといいです。でもやっぱり安全面がネックになるかも。私は子供たちが川遊びの面白さを知って欲しいです。そのために川についてのプロや保護者、学校が一体となったイベントはどうでしょう。危険だから行っちゃ駄目ではなく、大人たちがしっかり守る形で子供たちにのびのび遊ばせて上げて欲しいと思います。川は危険というイメージは持たせたくないです。川ですごく良いところ。楽しい思い出があるところ。家族の思い出がある吉野川が大好きです。
1645	住民意見を反映させるのはいいが、あらゆる案を提示してスタートすべきである。そこでそれぞれの案のメリット、デメリットを総合的に検討し、決定を行うシステムづくりが必要となる。最初から一市の住民のみによる住民投票の結果を持ち出し、否定するような事は許されないと思う。
1650	河川側の理由により、利水が出来なくなっているような箇所については、国土交通省側もなんらかの対策を行うべきではないのか。たとえば、麻名用水とか。この農業事情の中で農民にお金を求めるのは難しいし、実際に用水の恩恵を受けているのは農民だけではない。
1651	「より良い吉野川づくりのために」のアンケートの最後で少し失望してしまいました。それは吉野川づくりが最終的には河川整備計画の決定のためであったという点です。もちろん吉野川はその流域の中心的存在ではありますが、その全てではありません。河川の上流には砂防地区がありその上流には森林(保安林)もあります。また吉野川は防災面だけでなく、利水面でも大きな役割と果たしています。以上の点から河川整備という観点から流域整備という観点に立案を考えなければいけないときが来ていると思います。新しい河川法は流域住民の民意を反映するという点では画期的なものでした。今すぐ流域管理全てで広げるのは法的に困難な事は理解できますが、今徳島県民の民意はそこまで高まってきているような気がします。省庁間の連携を図りそのようなことが議論検討できるような強く望むものです。
1661	個人的な利益の為でなく、吉野川に必要なもの、工事をやってほしい。国の工事、計画は吉野川の自然を壊していると思う。
1663	私が住んでいる近くに財田川上流があります。ここを活用して桜や町花、町木である梅を植えたり、ウォーキング、ジョギングコース、噴水、駐車場を早く整備して欲しい。蛍のシーズンになると見学に多数来ています。
1664	先祖が今の形で吉野川を残してくれたから今の私たちがいる。今の吉野川の形を変えてしまい、後世に素晴らしい吉野川が残せなくなったら問題だ。私たちが今吉野川から受けている幸せを後世の人々にも受けられるよう。今の状態を守ることが得策と考える。可動堰をもし完成させるとして必要とする費用の5から10パーセントでも150年に一回あるかないかといわれている大洪水によって浸水被害を受けるかもしれない住民の方に引越してもらおうが良い。費用も少なくともすむし、吉野川も変わらない。
1667	第十堰の管理補修にも目を今少しそそいで欲しい。よりよい吉野川づくりを考える事とともに美化のてだてを住民に呼びかけて欲しい。
1678	吉野川は徳島県を西から東へ横断している大切な川です。私達県民の誇りの一つとしてこの川を有効に利用すると共に自然残した観光資源として、残すべきであると思う。固定堰にしようが可動堰にしようが自然に配慮した物でなければならぬと思われる。他地区の可動堰の状況等を聞くと下流の水が死んでいると聞く。水が死ぬとたくさんの魚の繁殖地がなくなり、紀伊水道の漁業資源が大幅に減少すると考えられます。目先だけのことを考えずに長い目で判断すべきと思うので検討に検討をかさね何が県民のためになるのか慎重に検討下さるようお願いいたします。吉野川は大切な県民の宝であり、私達の生命線のように思っている県民の一人です。私は自民党支持ですが、この件に関しては慎重にならざるをえない。
1679	今ある自然をこれ以上減らさないような防災対策を考えて欲しい。
1684	意見は違うにせよ、吉野川を悪くしようと考えている人はいないと思う。手段が違うだけですので、いろいろな人の意見を取り込んでよりよい吉野川づくりをしてください。またアンケートはもっと多く配布すべきではないかと思う。
1685	私たちの地区はお陰で堤防で守られていますが、木ノ内野村地区は無堤です。近年の洪水は上流のダムのお陰で堤防の裾までしか水が来ませんが、木ノ内野村地区は竹林の中まで一部農地は浸水しても人家には被害はない様ですが、やはりすごい力だなと感じる。今くらいの洪水ならば大丈夫ですが、もう少し大きい水になれば被害がでるのではないかと思う。私が申すまでなく毎日巡回されてる皆様よく存知だと思います。洪水と年二回の吉野川美化作業で感じた事は拾うものは拾う、捨てる者は捨てるという有様です。拾う翌月行くとまた捨ててある状況です。何か良い工夫があれば発表してください。
1686	私は今の病んでしまった吉野川の原因は、①農薬の流れ込み②下水道の未整備③池田ダムと考えます。下水道を提案します。
1687	吉野川を横断する橋をもう少しつくってほしい。旧の橋は狭い。原付が危ない。
1690	結論は住民の多数決。
1692	こんな私でも自分の希望、要望は持っていますが、学識経験者の前で自分の意見は言えません。言いにくいですが友人や学校などの活動やちょっとした交流の中での意見交換は出来ます。もしもそんな場に参加できることがありましたら自分の意見は述べさせてもらいます。偏った住民発言や地方公共団体の長に立つ方の意見ばかりでは良くならないと思う。意味不明な点は多々あったと思いますが、今住みにくい時代、関わりの少ない時代にあらゆる方面より地域性社会性まで考えていただきたい。リバーキーパーズイベント情報を頂いていますが、なかなか参加できず子供と一緒に手軽に参加できるイベントにはとても興味を持っています。今後も楽しいイベント待っています。
1693	吉野川の重要さを再認識すると共に地域住民一致団結のもとこれを守っていくことが大切である。
1695	都会にあこがれる人(若者中心)多数いるものの、ある程度の年齢になれば(40歳過ぎごろ)やはり自然豊かな田舎が最高と思えるようになるのは不思議な気持ちです。「山あり川あり海あり」の徳島県最高と思います。ストレス多き現代社会、「癒し」には最高の土地柄ではないでしょうか。いずれ子供達も若者たちもこの良さが分かるはず。そのためには清流吉野川はじめ自然の恵は大切にしていきたいと感じるひとりです。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1696	今の吉野川は昔とくらべて河道形状、河床形状、流速がかなり変わってきていると思う。また砂洲や干潟も変化してきているでしょう。したがって学識経験者はそのことについてさらに研究を深め、環境に携わる者は保全を考え吉野川を糧としている人はその様子の移り変わりについて意見を述べる。今は行動に移すのではなく検討の時間でしょう。確かに時は止まってくれるわけではなく、絶えず進んでいます。もし何らかの被害が出ては遅いですが、人間が自然に対して勝つ事は無理なのです。みんなの意見をまとめてからでも遅くはないでしょうか。
1699	よく「自然と文化財」は人間が何も手をつけられないのが最上といわれる。しかし昔から川に限っては先人が治山治水、利水に多大の苦勞、努力を払ってきた歴史がある。水を如何治めるかは為政者の最大のテーマでもあった。さて吉野川は、戦前までは岩津の渡しから上流(三好、美馬)は堤防はなく平野部は洪水の時の遊水地帯、塩付ダムの役目を果たしてきた。私の住む三加茂町、中庄の方もよく床上浸水もあった。今は上流ダム、香川分水などで浸水の被害は少なくなってきたが、自然災害の恐ろしさを忘れてはならない。何時も吉野川の存在を知り、川と人の関係をより親密によりギブアンドテイクにするよう次のことを地域住民として提案したい。①これまでの川との関わりを学ぶ(歴史を学ぶ)。先人の苦勞、工夫を具体的に。②自然界における物質の循環。そのサイクルの一部としての人間の位置と役目について学ぶこと。③いま川は泣いている。吉野川のために地域住民は何がしてあげられるかを考えて実践にかかる。④ヘドロいっぱい川底、ニゴイだけの川・川の現実を認識し、住民の手で無償で立ち上がろうの頭をつくることである。
1703	専門分野を学習し現在のポジションにて活躍されている工事事務所の方々にリーダシップを持って整備計画を進めていただき、昨今守る会、学識経験者、住民意見等に時間を費やし整備の進捗度に影響を与えずにすぎない。自信を持った行動で整備を進めてもらいたい。周りの意見を聞きすぎると思う。
1704	第十堰の補修について、現在至る所大きく破損しているため、石井地区か下板地区に地下水の低下農工業用水への水不足が心配されているが、警戒水位を突破しなければ災害にならないとかで補修されてないと聞いております。至急対策をお願いします。
1705	吉野川を大切にしながら、資源の有効活用を図って生きた吉野川であってほしい。
1706	下流を綺麗にする事(安定させる)を考える。そのために上流を綺麗にすることを考える・・・ダム、自然力の利用(緑のダムなど)。中流を綺麗にする(安定)ことを考える。下流を綺麗にする事(安定)を考える。上流で分流失すぎないこと。水を流す事。水を綺麗にすること。
1707	吉野川は徳島県の大切な財産と思う。この川を未来の子供達に美しい自然のまま残していくのが我々大人の役割だと思う。いろんなイベントなどを通じて、吉野川の良さ怖さを皆に知ってもらいたい。親しんでもらう事が大切ではないだろうか。
1714	18歳まで吉野川を見て61歳まで空白期間そして3年前からまた吉野川の恵みを受けております。子供の頃は大雨で田畑の冠水をよく見た。また母親と一緒に渡り舟に乗りました。増水で渡れず引き返した事等思い起こします。昨今は堤防、護岸整備等で田畑の冠水等あまり見る事はありませんが、それでも3年間で大雨増水でそのすごさを何度か見ました。遊び場や、グラウンドゴルフ、ゲートボール、野球やサッカーなど沢山出来ておりますが、大雨が降るとしばらく使えない所も見かけます。そうした中川を上流、下流が一体一緒になっていつ起こるか分からない災害対策に目を見張る必要性を痛感いたします。一方社会的に汚れる河川対策に取り組まなければならないと思います。汚泥、生活排水、ゴミ投棄など上流から下流の人達一人一人が自分のために考えることだと思う次第です。幸い平成13年度吉野川河川愛護モニターの委嘱を受け状況を私なりに把握できました。平成14年度もう一年応募して更に状況把握に努めようと思っております。以上思いのままに書きました。
1715	最近水と触れ合う場所が少なくなったので子供達と共に水に触れ合える場所をつくってほしい。
1720	今一番の悩みの種は家電リサイクル法が出来、古い電気製品がゴミに出すのに3000円とか4000円とかお金がかかるようになり吉野川の河原に捨て、また橋の下に捨てる人が沢山います。このようなことではいくら建設省の道路パトロール車が走っても夜遅く捨てに来る人がいます。これを無くさない為にはきれいな吉野川とはいえないと思う。大変残念です。
1724	以前香川県が水不足の時に知事が徳島県に吉野川の水をもっと欲しいといってきたが、どうしてもとはいえなかったのは吉野川沿いの住民が昔災害によって苦勞したのを知っているので強くいえなかったのではそういうことが分かる人を検討の場に入れて欲しい。NHK前の助任川河岸緑地が年に何回か水びたしになって歩道まで5センチぐらいまで水が来るのをどうにかならないか。
1725	吉野川フェスティバルに毎年出来るだけ参加している。色々な企画がもりだくさんで大人も子供も楽しめます。花火も椅子に座って真上に大きく見れますが食べ物の値段がもう少し安かったらいいなと思う。このような企画は吉野川に興味を持つ為にも(川上でのイベントもあるため)良いと思う。もっともっと続けて欲しい、もっと夜店も多く家族連れで皆が楽しめる場であることを沢山のの人に知らせるべきだと思います。
1748	吉野川をとりまく環境は次第に悪化している。①遊水地帯の減少②第十堰上流の河床の上昇③異常気象による集中豪雨の多発④過去の洪水による漏水で第十堰上流約2キロ以内の堤防下に漏水しやすい通気穴が出来ている可能性がある。徳島市の住民投票で白紙に戻したのは間違いと思う。第一に徳島市は利水地域であって洪水など治水について全く関係がない。現在の堤防で殆ど充分である。ただ国府町だけである。だから各地域によって恩恵も違うし影響も違う、したがって関係の深い問題を無関係の深い人達で構成した人達で検討の場を持つべきで、関係の無い人達がとやかく言っただけでその人達の声が大きいからその人達の言うことによって結論付ける事はおかしい。今は過去の総決起大会などで可動堰を推進した諸活動は何の役にもなっていない。建設省の人達に踊らされて踊っただけかといいたい無念。
1761	①所によっては水際公園的なものを見受けるが、ひとたび洪水が襲えば即ち土砂に押し流されるか、埋没するようなちやちなものは造らせないで欲しい。②元の遊水地帯へは増水した時に本流から逆流して滞水、留水してしまうような事のように工事をして欲しい。③本流へ流れ入る支流は数多いが、中には天井川的な小支流もあるので天井川の堤防も常に監視してほしい。
1764	雄大な吉野川の景色を見ていると、気が和み幸せな気持ちになる。この川はいつまでも子孫に財産として引き継がねばならない。しかしこの川も一度自然の猛威にあたれば大変な災害に見舞われることは充分誰も承知の事と存じます。普段からの備えをすることは今ここに声を大にしないでこれも誰もが思っていることである。第十堰は壊すのではなく、とりあえず改修をし、次に大局的にこの大河全体について現在出ている意見を集約して今後の方向を決めるべきと思う。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1765	吉野川は徳島県のみでなく四国の大事な財産と考えられます。この自然が贈ってくれた貴重な財産を大切に守り、活用し次の世代へ伝えていくことは大事な事と考えます。いろんなアイデアを皆が出し合えば対立して事が進まないことはないと思います。これまでの議論はあまりにも一つの事にこだわり過ぎた気がします。吉野川を全体として見た未来があると思います。まさに吉野川は私たちの生活の場ですから。
1766	吉野川は県民の宝にして大自然の象徴です。いつまでも美しく保っていく事が今を生きる人の努めでしょう。堤防を造るにしても、川の駅を計画しても安易に安全や観光を優先する事は充分心しなければいけないことだと思います。
1767	早明浦ダム以前は水がきれいで川底まで(透明)見る事が出来た。現在は絶えず濁りの状態である。
1771	小さい頃のような魚、ジミどり、泳いだりしたような綺麗な川で何時までもあってほしい。自然を大事にしないと人間もその恩恵を受けられなくなると思う。河川のゴミなど自然環境も悪くなっているマナーの向上も必要である。
1773	吉野川の下流の人は水に対して関心が高いと思う。しかし上流はあまり関心ない人が多いのでは。全国から注目がありました徳島のダム問題これが実例と思う。上流の人が下流の人の思いやりがあればダムの話は何とか良い方向にいったのでは。吉野川は日本でも長い川ですがそれだけ多くの支流があります。支流の細い水路から少しの汚水が流れます。これが吉野川へと流れるのです。私は洗剤の開発と徳島の県民全体の問題です。日本以外の国では小学校の生徒から科目の中に汚水、ゴミの科目があると聞きました。子供から教育の問題と思います。
1776	利便性の追求も大切であるが、人は自然の一員である事をわきまえていかなければならない。
1777	持っている情報を全て公開してください。それが正しい情報か否かは市民(一人一人)が決めます。今までの説明会では建設省の都合の良いデータだけ提示して、「こうです」と一方的な説明会だった。そんなことで市民は納得しない。信頼関係を築くために、まず「全ての情報公開」を。
1778	あまり人工的なものはいらない。いかに自然を守る為の工事は必要。自然に公園は入らない。自然が公園である。河川にもっと雑木地帯を増やして欲しい。
1781	子供の頃の川と今は随分変わっていて昔を懐かしく思います。これからの子供たちに昔の川を取り戻して欲しいと思います。そうする事を話し合いで出来れば良いなと思っています。
1782	阿南市でも那賀川水系、桑野川の引堤、しゅんせつ工事が活発にスタートしておりますが、災害の対策として必要な事は認識しておりますが、どのように美しく生まれ変わるのか不安は持ちつつ期待しております。といひますのも、自然豊かな地に流れる川としてはあまりにも水質が悪いように思えます。水の流れに問題があるのでしょうか。汚水処理の問題は大丈夫なのでしょうか。阿南市を流れる桑野川、熊谷川、ひる地川等は大阪淀川上流より水が汚れているように見えるのは錯覚でしょうか。吉野川、那賀川は日本に誇る立派な川です。日本一の川づくり期待しています。
1784	第十堰は先人の知恵で今があると思う。これ以上の知恵を出さなければと思う。麻名用水の取入口はこれも先人の知恵であろうが、今の技術を持ってすれば、取入口を山川町か穴吹町へ延ばしても問題は無いのではないか。
1787	香川県の住民からすれば、検討の場、準備会などありますが、先の堰の問題からしてもカヤの外。徳島県人のみ特に下流の住民の意見のみが聞き入れられるように伺えます。住民投票、市長選挙と香川県人としても注目しております。地域住民、周辺住民が一番大切なことは分かりますが、吉野川の自然環境との関わる人達にも今日のアンケートのように情報の提供と意見を求めるべきであろうと思います。
1788	吉野川は遠いところにあるという感じがします。県外に向けてアピールをしたらいかがでしょうか。吉野川の目玉となるものを見据えてみては。
1790	郵便局でしているボランティア貯金のような「吉野川づくり」貯金なるものを郵便局にも銀行にもつくって、その利子を寄付するようにすれば良いと思う。金利の少ない時代が県民全員が参加するくらいの勢いがあれば、整備の為の費用の一部にはなる。自分達の「川」は自分で守るそんな意識がこの貯金によって生まれてくるとは思えないから。
1794	美しい川にして魚も増えて子供たちも泳いで遊ぶような昔のような水が欲しいです。
1798	私は吉野川の上流域、銅山川沿いに住んでいます。現在は新宮ダム、柳瀬ダム、富郷ダムさらに別子ダムと美しい流れの川が今はありません。子供の頃銅山川で水泳をしたことなど懐かしい思い出です。そこで昔から川に住んでいた小魚と申しますか、自然魚ともうしますか、ハヤ、ウグイ、ヨシノボリ、ゴリ、アカバエ、その他が今やブラックバスの為全滅しています。これを何とか復活するの願いたいものです。またダムの為周辺の道路が整備されず不便な地域がまだにあります。(柳瀬ダム周辺道路北岸)吉野川もたらす効果は計り知れないものがありますが、経済優先の施策は人類を滅ぼします。行き止まりのないこの地球上で人類は次、次と世代の交替が続く人類の未来のためにもっと自然を優先し、住みよい吉野川づくりと共存できるような知恵を出し、川の側にはできるだけ住居を建てず水害などの起きない状態をつくる必要もあります。
1799	吉野川は全県民の宝であるとの自覚を持ち、団体業界の思惑を省みない会をつくり、川本来の自然を保つ事の出来る川にするための話し合いをもつようにする事が重要である。
1800	皆が集まる川辺の整備。土のジョギングコース。犬の散歩コース。子供が夏水遊びができる親水公園。自然観察ゾーンの設置。釣り公園(釣り堀的なもの)。絵画が描けるスポットと固定イーゼル。ミニ八十八箇所などで。朝露のきらりと光る芝紅葉。
1802	漁業組合がやかましく、年に1度や2度の魚釣りも出来ない。自由に釣りが出来るようにしてほしい。
1806	最初は友達とスタンプを集めたいから、と安易な気持ちでリバーキーパーズに入って掃除(アドプトプログラム)していたのですが、一回、二回、三回と参加するうちに吉野川をきれいに散歩に来た人が気持ちよく過ごしてくれれば良いなと思い始めました。地元の人が吉野川に関心を持ってゴミを捨てないとか、犬の糞は片付けるとか当たり前のことを守ってあげればもっと素敵な自然がいっぱいの吉野川であって欲しいと思います。私もそうであるように子供の頃から花火をしたり走り回ったり、日が暮れるまで遊んだ良い思い出が沢山あります。自分の子供や孫たちも同じように自然を感じて育って欲しいから、私も出来る限り努力は続けていくつもりです。アドプトプログラムぐらいしか出来ないけど毎回参加して吉野川を大切にしていきたいです。スタンプも沢山集めたいので頑張ります。これからも吉野川を守り続けてください。
1808	桑村川が大変汚い。何年かに一度川をさらえて魚が棲めるくらいにしてほしい。台風のときなどは、川が埋まっている為に用水の水がいっぱいになってはらはらしている。もう十年くらいはさらえてないようになっている。よろしく願いいたします。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1815	長期間かけてもまた少し金がかかっても将来において、環境的にまた安全面において納得できる川づくりを進めて欲しい。
1816	私は県外出身で縁あって川内に住むようになって吉野川の雄大さ自然の美しさがとても好きでした。県外から姉妹たちが来て大きい綺麗な川ねと言われるととてもうれしかった。でも車の中から見る吉野川の土堤にはゴミの袋や空き缶の捨てられているのを目にする、とても恥ずかしい思いがした。一人ではどうにもならないことでも川を愛する人達が心一つにしてきれいにしていいたら、県外の人々もまた一段と目を見張ることと思います。これにはボランティアの人達の力を借りて吉野川が生活を守り私たちの心に潤いを満たしてくれると思います。私も万分の一となりお手伝いしたいと思います。
1817	日夜吉野川を通じ私たちの生命財産を守っていただいていることに、心より感謝しています。①私は堰より1.5キロメートル下流に住む者でございます。昭和初期に生まれ、堰より落水する音が生活のリズムの一つでございます。音の高低によって水量など想像することができましたが、ダムにより調整でき音は聞こえないけれども一応安堵しています。②元気な方々が旗を振り、今日の結果になりましたが、不測の洪水の恐怖をご存知でしょうか。③事例：約40年前になりましたか、大洪水、濁流また濁流、土手から土手までおよそ堤の半分強まで増水しました。そのときの土手は丁度スポンジまたはゴムの上を歩くようでユラユラしていました。例えの通り蟻の一穴で決壊すると申しますが、水圧により土手は瞬時に決壊すると思います。④塩害問題もさることながら、この点は近代技術の粋を集結すれば解決できます。⑤上記の通り生命と財産を守る為、辛抱強くご指導とご協力のほどお願いします。
1818	吉野川の関わりは、農業、工業、交通、環境、防災など多方面に及んでいる事が分かってきました。どの分野もおろそかにすることなく、よりよい吉野川を目指して各方面からの意見が反映され、それぞれが充実したものになるよう願っています。
1821	吉野川の豊富な水の流れを見る毎に、上流にもう一つ早明浦ダムのようなダムを造って四国の水資源を確保すべきだと思う。
1823	吉野川は徳島県を代表する川であり、徳島県人と同じで美しい川にしなければいけません。そのためには安全である川に堤防を補強するとか、ゴミを捨てない川にするとか、上流の山々には植林するとかして、私達の生活になくはならない川です。これからは私達は生活上大切に守っていかなければならない川です。大切にしましょう。
1824	自然の脅威の力にご注意を計ってほしい。
1828	国土交通省の努力で吉野川の安全な管理が行われており感謝しております。昔の諺に平時にあつて乱を忘れず、兵を養うは1日の戦のためなりと言われます。何年に一度あるかどうかの大水に備える治水作業は、縁の下の力持ちですが誇りを持ってあたって欲しいと思われま。我々は水害が発生したときの責任について心配しております。
1830	アンケートの費用ももったいないです。この結果がどれだけ生かせるのか。
1831	土建屋の利益が族議員に行き、無駄な開発になっているのでは環境は守れない。
1833	検討の場と云いその準備会と云つても実際に川を相手に生活している人の参加しないものになる恐れがある。行政のトップにいる人や組織の中心にいる人でなく本当の意味の住民の意見が反映される組織でなくてはならない。吉野川の姿を本来のものに戻すことは至難の業である。早明浦ダム、池田ダムを撤去することは出来ない。早明浦ダムで洪水の調節をするから川岸も崩れコンクリートで固めなくてはならなくなる。池田ダムがあるから鮎が溯上しない、したがって放流に頼ることになりその放流魚に混入してニゴイがやって来て、本来吉野川に棲息していたハヤ、ウグイ、ゴリなどの魚がやられてしまった。国策に従って植林をしたら木材価格は外在の輸入などにより暴落して植林したまま放置されている。緑のダムでなく、緑の砂漠となつてしまった。広葉樹は国有林から先ず伐採され、水が枯渇し虫類が居なくなり、魚の餌を取り上げてしまった。折角放流した魚も餌無くしては育たない。現在騒がれている花粉症もこうした状況とは無関係ではない。吉野川を住民の手に戻すのは云々べくして困難であり、抜本的な施策を勇断を持って行う覚悟が無ければ語っても絵に描いた餅に終わるだろう。
1834	我が大豊町も過疎化、過疎化とブータレているが自ら山や川を汚し住みにくくしている。きれいな空気、美しい景色、おいしい水。こんなところに住みたいと人々は思うはず。私自身も60歳にしてUターンしたが今は半分後悔、半分諦めの真情である。何故自然を汚すのか、自然をイジリまわすのか、宮崎県は高知県と風土もよく似ているが、杉などの植林はほとんど見かけないし、山間部ではいたるところに名水があって取水できるようになっている。おいしい水はみんなで分かち合つて味わおうというわけで事実これらの名水でウスキーなどを割って飲むと一味も二味も違うし。どこへ行ってもキレイで人は親切、四国も宮崎県を御手本に自然とはどうあるべき、どう付き合うか意識改革すべきではないか。
1836	早明浦ダム周辺(湖面添いの道から下)に自生してるスギ、ヒノキを伐採し広葉樹のみにする構想があるとお聞きしたが(管轄外かも知れない)、ぜひ中止して欲しい。なぜなら現在スギ、ヒノキ等の木材価格が低落し二足三文の扱いをうけておりますが、将来木材を必要とする時代が必ず到来します。搬出にはこの上ない便利であり、良い木を選んで残すべきです。また、紅葉も広葉樹のみではきれいでありません。スギ、ヒノキのグリーンが混ざってこそすばらしく映えるのです。管轄部署にぜひお伝え下さい。
1840	干潟の埋め立て、川にダム、山をけずっての道路、もうやめてほしいです。安全、便利を言えばみんな納得すると考えているのではないのでしょうか。国土交通省と聞けば、自然を壊す機関のような気がします。
1842	私達の小さいころは良く貝ほりに行きました。その様なことがいつまでも出来るように。小さな虫、貝達がいつまでも吉野川で生きていけるように守っていきたい。コンクリート等の岸はいらないと思う。自然のまま、せめて吉野川だけでも生きてる虫や貝が楽しく安心して暮らしていけるような環境を守ってやりたいです。
1848	堤防上は出来るだけ上流まで車で通れるようにして欲しい。堤防上より適当な距離で河川敷へ降りれる道が欲しい。有る程度車で河川敷まで入り、水辺に親しむことができるようにしてほしい。
1852	基本的には河川工事はこれ以上必要無いと思います。工事すればするほど川は自然の姿を失っていくと思います。
1853	治水の重要性、河川整備計画、河川管理者による検討の場を持ち、一般地域住民に反映してもらいたい。
1860	行政、企業、住民、ランドワーク手法で地域住民に呼びかければ「吉野川づくり」には各種団体より集まると思います。吉野川とともに大きくなり、今後も自然環境を守り、昔の川に戻るよう努力したいです。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1861	よりよい吉野川づくりには流域住民として期待しています。将来のことも大事、治水も大事ですが、今現在吉野川の現況を見てください。堤防治い、橋のたもとには家庭用ゴミが沢山、不法に捨てられています。それから吉野川の水がかなり汚水されています。それは家庭の生活排水の垂れ流しによるものだと思います。全国から見て下水事業が本県はかなり遅れています。早急にこの問題に取り組んで欲しいと思います。
1863	私は吉野川が好きです。全国でもっとも良い所です。いつまでも永遠に維持したいです。水の活用を考えることが大事です。人間は水が命です。
1864	環状線の開通にあたり、高架橋案が沢山出ているようですが、その地域住民にとってそれがプラスなのでしょう。通り過ぎるだけの場所ではなく、その地域の活性化につながる方法を一番に考えていただけたらと思います。
1865	素晴らしい自然を政治家の利権のタネにしなさい。住民のものだと思おう。
1866	川というものを普段は意識しないで生活しています。いつも心の中を流れているからかもしれません。しかし、うれしいとき、悲しいとき、ふと想う。水によって全て生命あるものは生かされている、おろそかに出来ない。子供の頃浅瀬に身を置いていて、小魚が足に触れてふっと我に返った、遠い風景。内務省、建設省、国土交通省とうつり、省庁といえども住民意見なくしては何事も進まない時代です。しかし川に関しては汚さない、汚させないことが一番大切だと思います。
1868	吉野川の開発は、徳島県の発展のための第一歩であると考えます。ただ、すぐに結果が見えるようになることよりも10年サイクル、長ければ50年先まで考えた対策がとれているとはいえないと思います。治水、利水、環境と掲げられていますが、本当に将来性のある対策を取るのには、本当に困難だと思います。ダムを建設したり、その他、川を堰とめたりすることだけが治水や利水ではないと思います。現在の開発方法では、人と自然との共存どころか、距離があいてしまうだけだと思います。人の努力が河川の発展につながるような方法が絶対にあると思います。
1872	吉野川は車社会と共にゴミが散乱し、雑草が繁り水辺まで歩いていけなくなった。近くの住民は吉野川は大きなゴミ箱と言っている。夜になると多数の車がゴミを捨て焼いている。
1874	あまり関心が無いのでご承知ください。
1877	角ノ瀬樋門が出来るとき、毎月地下水検査をして公表すると言っていたが、一回の検査も無い。もっと地元民(吉野川流域に住んでいる人)の信頼を得るようにしてほしい。
1883	第十堰があることで流水が荒れくるって下流へ流れる。堰のため堤防決壊という事態にでもなれば鮎喰川堤防があるためそれより東へは水は行かない。すると不動、北井上、藍畑地区は水浸しに合う。昭和30年ごろ洪水には佐野塚の堤防が揺れていたのですよ。川、堤防、堰は山の方の人、鮎喰堤より東側の人は堰があるとなかろうと関係ないと思う。徳島市の住民投票は(建設省はどう思っていたのですか)必要なかったと思う。建設省はもっと地元(上板、藍住、石井、北井上、不動)堤防両岸の人で話し合うべきでなかったか。文章は苦手で思っていることが充分書けない。
1884	本当に雄大な美しい吉野川だから、後世にいつまでも伝えて欲しい。
1887	川辺川ダムの漁業権の強制収容でも見られたとおり、推進派が沢山おれば国土交通省としてもやり易いことだと存じます。吉野川も流域でそうあるべきです。小生の戦略では憲法上の基本的人権の条項を武器として反対派と渡り合うべきと考えます。現在の反対の連中やそれに乗っかかるマスメディアの論理は形としての構築はされていますが、まさに公序良俗に反するものです。これを反論してやれば良いと思います。憲法第三章国民の権利及び義務、第十一条から第十五条、第二十九条及び河川法第一章総則、目的第一章は反対論の根本を粉砕してしまえると私は思っています。御一読ください。また放送への反論は放送法第一条の二、放送の不偏不党、第三条の二、①公安及び善良な風俗を害しないこと。②政治的に公平である事③報道は真実を曲げないですること④意見が対立している問題についてはできるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。と明記されている。第十堰可動化問題ではすべてほごにして勝手な●●●●●●が発表するもののみ放送された。遠慮はいらないので、国土交通省としても抗議をすべきであると思う。しかし将来被害を受けるかもしれない住民こそ頑張らねばならない事は言うまでもない。小生は人間の尊厳が問われている反対派とマスメディアに踏みにじられようとしている。上記の事を掲げて闘うのが人間の筋だと確信している。今後とも国土交通省のご健闘をいのり我々も頑張らねばと思いを新たにしました。
1888	吉野川の河川敷にゲートボール場、パークゴルフ場、その他イベントが出来る場所をつくってくれて町民が楽しみながら話合いの場ももて喜んでます。しかし散歩道もつくられていますが、老人は歩道橋か国道を横切らなくては行けません。それがとても残念です。
1889	子供の頃から結婚するまでの間、吉野川へ行ったり眺めたりして過ごし沢山の良い思い出を頂きました。今上流になる祖谷に住み思うのですが、下流の人達が美しい自然に心を癒され、生活に必要な水を当たり前に使ってきていますが、この水は上流の人の努力で下流の皆様に届けられているのではないのでしょうか。上流になる人達は今、山の手入れが充分行われていないので、昔のような美味しい水を下流の人達に流せなくなってきたと思います。今一番大切な事は森林の保全(森林整備)だと思います。(山に住んでいて)下流の人達に山の人達の苦勞、努力も理解していただき、下流の人達もできるだけ自然を残した河川整備計画にあたってほしいと願っています。
1891	池田ダム建設後、吉野川の水位は大きく低下した。そのため川の流れも変化している。特に吉野川に架けられている土讃線鉄橋(箸蔵から畑駅間)の下流から旧辻浜渡り舟場跡の間。川の瀬「通称カマデの瀬」は北岸より南岸に移動した。南岸側河原は増水の都度抉り取られ昔から保安用に植えられていた樹木の多くが流失されこのまま放置すれば、保安林が消滅する懸念があります。地域住民から建設省の巡回時に要望しているのだが？美濃田の渚では災害工事として素晴らしい改修が完了し、観光船の発着に大きく貢献しています。地域住民は川の流れのほか吉野川の自然環境にいろいろの角度から見つめ、今回のような将来像が成功できるよう期待しています。
1892	安定した川の流れを保つ為に源流周辺の森林保護、植林の実行を国の力で強力に進めることが大事。穏やかに流れて美しい吉野川も源流は荒れてない。源流の現状を知らないからだ。美しい平野の川だけが見えてそれを自然といい大切にといわれるが、源を自然に戻してこそ自然を大切にすることになる。河口で昔は鳥が今の何倍の数の小鳥が飛び立てば空を真っ黒にしたほどだ。もうそんな川は戻らない。餌が無いからだ。機械で根こそぎ捕るえさとりは止めなければならない。
1898	回答が河川整備のあり方に反映されることを願います。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1899	吉野川なんだから川の周囲にいっぱい●●●●が出来たら良いですね。美味しくて安い牛丼いっぱい食べたいです。すみません。ちょっとふざけて。でもこんな意見を取上げてくれる自由な話し合いの場ができればいいと思います。
1903	香川県にもものもうす。大川村だけが水資源の村ではない。上流の本川村、石鎚山他の山々はどうでもいいのか。良く考えろ。雑木を育てゴミを拾っている一村人より。
1904	私たちの大切な吉野川をもっと身近に感じたい。できれば車がどンドン走っている堤防とは別にゆっくりと風景を見ながら散歩できる道をつけてほしい。眉山に沈む夕日がどんなにすばらしいか是非皆様も吉野川から見て欲しい。車を駐車できる場所も必要ですね。県外からのお客様にも是非見せたい風景です。
1911	今回のようなアンケートもいいと思うが、シンポジウムなどを開催するなどして、生の意見を集めてた方が良いのでは。
1912	河川整備計画の中に計画の実施を行政のみが行うのでなく一般住民(河川による受益地域)の参加(ボランティア等による)も加え、参加することによる川とのふれあい、親しみ、或いは問題点の発見等が出来ると思うので考えてみてほしい。
1913	吉野川水系には戦後50年間において杉、檜の植栽による山林化となっていると思われる。山林を有用林化することにより、雨水の保水力は失われ、早明浦ダムの貯水率を見る限りそれは顕著になっている。今後水源の涵養、自然保護などを考えた広葉樹の植林などの検討に移ればどうか。
1914	自然を守ることは、大切であり、将来の徳島にとっても貴重な資源である「吉野川」を大事にしていくことに異論はないが、現在の環境保護団体やマスコミにおける「なんでもかんでも反対一現状のまま手を入れない」という事は極端すぎる意見であると思う。本当に中立的な人の(サイレント・マジョリティーの)意見がどこにあるのかをふまえて、今後の吉野川のあるべき姿を考えていって欲しい。
1915	定期的に話し合う場を設けていけば良いと思う。雨が降った時の浸水を防ぐ方法などがあれば教えて欲しい。
1916	吉野で生まれ、71歳になります。窓を開けたら吉野川が見える暮らしの中で生活をしています。第十堰の件につき一言申し上げます。第十堰は現在のままで補強すれば良いと思います。新しいダムはいらない。
1919	往く川の流れば絶えずして、然も元の水にあらず。よどみに浮かぶうたかたは且つ消え且つ結びて久しく止どまりたるためてなし。
1920	上流の河川砂利採集は即禁止してください。第十堰、柿原堰の上流の川底が低下し、地下水も子供の時から見ると2メートルは低下し井戸水は枯れました。また堰の上流には沼がたまる状況となりました。第十堰と柿原堰は自然にやさしい堰であるゆえ、現在のままで改修補強を希望すると共に農業、工業、地下水(井戸水)等の取り入れ口、水門で重要な働きをされています。私にとっては思い出深い堰、愛する堰です。私は石井町藍畑高畑中須で生まれ、幼い時の思い出の第十堰です。
1926	第十堰を作っても現在と同じく下に流れる水は同じですか。行政の決断力が必要と思います。
1930	今、四万十川の会員になっています。吉野川も良い方向へ向かってください。
1937	吉野川を何時までもきれいな川にしてください、
1938	枯れた吉野川が好きです。堤防沿いの景観も良いが無造作に生えている木々、竹林が何とも良い。そこにゴミがなければ何もいらない。
1941	吉野川の恵みを受けている住民から上流の植林など必要資金のため税金的なもので徴収してはどうか？
1942	私は思うのですが、吉野川に行く道がゴミが沢山捨てる人がいる。一人が綺麗にしても、夜に捨てる人がいるのでそれをなくす方法がないかと思う。
1969	①森林の管理、住民参加、ボランティアなど。②環境、家庭排水、工場、企業などの川に流さない。③私たちの命の川を住民の全ての人が守っていく参加する。④魚、貝等がより多くの種類の魚とれる川に⑤カヌー、水泳、舟下り、スポーツ、場所の決定。⑥悠々たる花園をつくるまたは大きな花園。
1971	一部利権者のための吉野川補強、建設、保全、その他対策を進めてはならないと思います。真に必要なものを正しく創造していく、人として本来もつ自然を愛する心で吉野川は守っていくよう一人一人の良識が問われる昨今ですね。
1973	○昔吉野川の上流、下流の交流のような活動をした事がある。その時上流者から下流者は上流者の苦心を浪費して水を無駄に使っていると批判を受けた。これはこたえた。○那賀川で木頭村はダムをつくらせないと言った。下流は渇水で工場は操業短縮。これだけ小さな川の上流、下流でも意見の一致は困難。とすれば下流にダムまがいの貯水池を造ることより他の方法はないのだろうか。○第十堰はそんなことの一つのヒントになるかと思ったが、これも反対で止まってしまった。このとき国土交通省は一方の当事者となってしまい攻撃によりダメージを受けてしまった。行政は調停者であり結論の執行者、責任者であるべきでさもないと将来に禍根を残すのではあるまいか。○最近、行政(各省)は政治家の人気取りの要求に押されてつまらぬ事、些細な事に気を使い金を使っている。もっと大局的立場から日本の行く末に責任をもってほしい。政治屋は目先の事ばかり。行政は50年100年のスパンで考えて欲しいと思う。○川行政で今すぐに欲しいテーマは思いつかないが、「してはならないこと」は誰でも思いつくはず。環境問題、公害問題、安全性問題などなど。これから逆説的にしたいことが出てくるのではあるまいか。○具体例の1、2を。①川の近くに水問題の根元からを説明する科学館の設置・・・茨城県霞ヶ浦の○○科学館。②海岸近くの相当広い土地に水鳥の飛来する空間を含む自然公園を・・・東京都浜松町芝公園(旧芝離宮庭園)。③子供の水遊び空間・・・香川県高松空港、子供広場。
1977	自然に恵まれた吉野川が大好きです。土手から見た吉野川を見てスーッと、小さな事にくよくよせずに、前向きに行こうとよく思います。出来る限り自然を残していただきたいし、守りたい。
1980	生活排水を浄化して流すように。
1984	どちらにしても現状のままで良い。
1986	早く堤防を整備して欲しい。
1990	川づくり、川を守る、清く、水量が絶えず大小の差のない。これらの為には多くの事が考えられる。もつごがいなくなった。蛍がいなくなった。野鳥もいなくなった。害獣が山から下りてくる。酸性雨が降る。杉の木は水分の吸収が他の樹種に比べ多いと聞いた。色々考えると自然を守る事が川を守ることに繋がると思う。防災工事にセメントを使わず、自然的にし、生物を守ることも大切と思う。私の家の横に小さな谷川がある。昭和50年頃まで大水の被害はなかった。もつごがいた。その後砂防工事で駄目になった。大水の要因はなにか。工事のあり方など難しいが考えてほしく思う。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
1999	私は徳島県を考えますと現在の第十堰では駄目だ、はやく可動堰を造って水の確保を行うべきです。地域によっては地下水が下がっているところもあるのです。可動堰に反対している人々がいるが、吉野川の水を求めている人です。徳島市の方々は堰に反対をしているので、水道水のありがたさがわかっていないのではないかと。今の第十堰では雨が降らないと魚道に一滴も水が流れていないのです。このようなことを考えると建設省も積極的に今からでも可動堰が出来ると活躍をお願いします。越知所長よろしく。
2007	自然大好き、吉野川大好き。
2014	季節や天候、時刻によって様々な色に変化し、美しい姿を見せてくれる吉野川に日々安らぎを覚えていきます。人工的なものではとてもあの美しさは演出できないと感動する事がよくあります。いつまでも今の状態が続くように住民皆が知恵を出し合い、力を合わせていきたいと思ひます。そのために皆がもっと吉野川に親しめる機会を設けてほしいし、行政の積極的な住民への働きかけを希望します。
2021	私は鮎喰川、鮎魚をしています。美味しい鮎を頂くには、鮎喰川を美しくする気持ちと吉野川を美しくする気持ちは同じであります。皆さんも釣り場のゴミは持って帰ってください。
2043	実行する方向に向かっていただきたい(森林、杉、檜の間伐)。国土交通省関係者が率先し地域住民行政を巻き込んで実行が優先されると思う。早明浦ダムへ流入の小河川に砂防えん堤を数箇所造っているけれど、森林間伐が進めば一時的洪水も少なくなり保水され徐々に流出するので、砂防えん堤をつくる金で間伐を推進するのも一考と思う。吉野川上流の森林(杉、檜)は国の策により、大人も子供もこぞで植林したが単価が下がり、高齢化と相まって尾根周辺は目も当てられない状況であります(現在では間伐すれば赤字となる)。行政の高齢の方々も、主道沿いを見るまでで、歩いて山に登り実際に今の現状を見た人は殆どないと言っても過言でないと思う。間伐が急がれます。始点を180度変えてみる。
2050	かわいそうな吉野川でなくて、やさしく強い吉野川であってほしいと願う。(意見というよりも希望。)
2064	①水の少ないとき、ポンプで上流に海水を送り下流に流す。②大雨の時は堰を開放して全ての貯まっていた水を流す。そのためには可動堰のようなものが絶対必要。現状では魚も昇れない。徳島市の上水道も表流水を利用しなくても良い方法も考えないといけな。もう少し市民に知らせるべきです。吉野川の地下水及び伏流水を利用できるようにする。
2074	これからもお仕事ががんばってください。
2075	こらからも吉野川をきれいにしてください。
2078	徳島県民の生活に密接に関わっている吉野川。吉野川といえば徳島県といわれる徳島県の代表。徳島を全国にアピールするためにも吉野川を使ったイベントができればいいなと思ひます。そのためにも自然豊かな環境を保つよう心掛けたいと思ひます。支流を守るため山々に植樹する事も大切と思ひます。
2087	主人が生前、いつも云っていた事。(63才で平成13年12月31日死亡)昔は吉野川の水に勢いがあった。川幅もずっと広く大小の石ころがゴロゴロとし、水辺にはいろんな小魚がウヨウヨしていた。大きな石の下をのぞくと、小魚がひそんでいたり。...今は、池田ダム造成の後遺症で川が死んでしまった。柳や雑木の林が河原に出来てしまい、川幅が狭まってしまっている。水量が少なくなり、川藻が茂らず、当然鮎が激減し、小さくなった。それでも、一年中川と関わっていた主人。鮎の活き作り、塩焼き、アメダギ、干物。...いろいろ楽しんでいた。徳島、吉野川の食文化だと云い、知人、近所へ配り、よこばれると自身よるこんでいた。今、私が吉野川について思うこと。釣はもちろん、家族で楽しむ事のできる施設が吉野川の流域にあればと思う。新町川親水公園のような、女の人や子どもでも遊ぶ事が出来、水に親しむことの出来る施設があらこちらに出来たらと思う。主人は生前、自分が死んだら遺骨の一部でよいから、日頃巡っていた吉野川に沈めて欲しい...と云っていました。今、それを思うと少し遺灰でもらって流してあげたかったと後悔しています。
2088	今は現在のままで良い。
2099	川沿いを車を走らせるととても気持ちがいいです。でこぼこ道もなくなったので安心して運転できるようになりました。冬は凍ってあやうくスリップしてこわかったのですが冬道も今度チャレンジしたいと思います。毎日ごちゃごちゃとした視界の中を生活していますが、山中はとても心が安らぎます。のんびりするのも今の人達には必要だと思います。川べりの小石を拾って川魚を眺めるような自然は、子供たちにもずっと残してやりたいと思ひます。自然の中でしか遊べないレジャーを工夫して楽しめたいと思ひます。魚肉ソーセージと竹ざおのつり道具だけでも魚は釣れたんです。手ぬぐいでメダカをすくうことだって楽しかったんです。それがいつのまにかモーターボートでブンブン走って立派なつり道具でバス釣りをし、食べたものはとりちらかして帰る。ひどい時には粗大ゴミを放って帰られます。観光に来る人達のモラルの低下に驚きます。しかし、こちらからの水のやかたは、大きなイベントの時は多少ゴミも出ますが、ふだんは本当にゴミを捨てる人がいません。トイレもきれいです。人間は汚いと自分が汚しても平気と思ひのかゴミを捨てますが、きれいにしていると自分もきれいにしようと思ひます。パトロールの人も毎日タバコのすいがら1本でもひろい、気付いたところはよい方向に改善しようと思ひしています。ゴミ箱は設置してないし、ゴミはもって帰って下さいというプレート、トイレはきれいに!!なども書いていません。こちらに仕事をしている人達で、この自然を愛し守ろうと心がけている努力のたまものだと思います。これから、いろんな人が来てらくがきをされることのあるような時がくるかもしれないけれど、できるだけ美しい自然を存続できるよう努力したいと思ひます。
2102	吉野川は下流の徳島県、香川分水の香川だけのものではない。私が子供のころ(S30~40年)、吉野川に入ると川からもりあがるくらい魚がいた。大きなアユ・ウナギ・ゴリ(ヨシノボリ?)・川エビ等々いくらでも取ることができた。ダム建設や河口堰をとにかく言うつもりはないが、上流の高知県事も考えた吉野川づくりにしてほしい。
2115	私は現在の吉野川の第十の堰は、昔の人はよく考えたものだと感心しています。あの堰の下流に可動堰などは反対であります。1.何故ならば、洪水の時に水の流れを阻害する。1.旧吉野川の水位が下がる可能性大である。1.過去に洪水の時に、流木が沢山流れてきた。1.第十の堰も修理など必要でない堰は水止めでない水漏しなればいけない。1.洪水に備えて堤防の補強が大切である。水の流れが強くなる箇所を強固な安全な補強を望む者であります。1.旧吉野川の水の保全を、そして水制限を強く主張する者であります。
2165	1.現在の状況で(大正元年)の洪水から現時点で約90年附近住民に何の被害も無い。 自然のままで治水、利水が確保できたらと思う。50年先100年先と長期スパンでの検討をお願いします。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2167	昔は吉野川には、竹やぶがありました。コンクリートで川を守るより自然で守ると植物で空気も良いし、竹で物を作るとプラスチックの害もなくなるし作る人(仕事ができる人)失業対策。テレビ等で古い物を大切にすることを良く見る。文化・社会の進歩もうれしいですが、恐ろしいこと(MRSA)あるので、私はゆっくりと進んで欲しいです。
2168	吉野川の下流域においては、球技場や散歩道などの人工的な整備がもっと必要だと思う。上流は自然の良さが充分に残っているので、そのまま大切にしたい。下流域はこれからの長寿社会に向けて、高齢者が無料で身体、精神共により一層健全でいられるように、もっと充実した公園としての機能を備えた物にしてほしい。
2171	吉野川は水質も綺麗な川であるのに、そのことが全国的にはあまり知られていない。お隣の高知県はとても宣伝上手で吉野川よりも水質が劣る四万十川を「最後の清流四万十川」というキャッチフレーズで売り出し全国的に観光客を集めている。せっかく綺麗な吉野川をもっと全国にアピールする努力が必要であり、その事が観光客の増加につながると思う。
2173	最近河川敷の公園化が多く行われていて、春の菜の花の季節の美しさが減少している。河畔の柳林や中洲の自然を保つなど、吉野川全体の自然環境保護にも充分に留意した施策を実施していただきたい。
2174	治水という面からいえば、水量は昔の3分の1くらいのように思いますが、近頃の温暖化という面から言えば余りコンクリートばかりで何かをするというのは少し考えてみるべきではないだろうか。我が家も足の悪い人間がいたので、庭をコンクリートで固めてしまいましたが、少々後悔しております。
2176	川は流れる為にあるもので、一時的にでも流れを止めることは間違いである。止めることによる利害(利水)は山と海をつなぐ川の流れによってもたらされる恩恵の方が遙かに大きい。
2177	吉野川の水質や水質の保全を保ちたい。そのためには上流の山林の保護も大切だと思う。第十堰問題にしても徳島市の人々の住民投票だけで賛成、反対とにぎわしくやっていたけど、吉野川及び水は徳島の人だけのものではないと思う。保護も大事だけど開発だって必要と思う。このバランスをどう取るか。難しい事だらけではあるが、美しい吉野川を次世代に残す為は今しなくてははいけないと思うのは、まずゴミの撤去だし水質の保全であると思う。
2178	●●●●●●●●、拝啓お世話になります。川を大事にしてきたのは名もなく貧しい心豊かな人々だったのではないだろうか。アンケートに接する事が出来てよかった。大変でしょうねありがとうございます。徳島県環境局自然共生室の方々とも接する機会が以前ありました。鴨島の●●●●●で月一回掃除があります。なかなか参加できませんが、ためになりたい気持ちがあります。直接参加しているのはそれだけです。郷土文化会館の集まりに行きたいのですが、なかなかいきません。経済重視の日本、もう一度考え直す(自然)必要を感じる。私は幸せだけれど仕事だけでなく社会のためになりたい。そして、行動に移したい。自然を壊す人の心を癒したい。
2186	吉野川の治水については古くより努力と苦勞があると思われます。第十堰問題に限らず、各種工作物の安全対策として、洪水対策と地震対策をしてください。
2187	吉野川の第十堰が全国でも注目されていますが、川は吉野川だけではありません。勿論自然を出来る限り残して後世に引き継ぎたいの思いは、万人の意見だと思いますが、自然のままの状態では渇水、洪水の被害が地域住民に直接影響を受ける事となります。すべて住民投票の結果だけで、最終判断し、整備されない(不安のある整備状況)ことでは生命に関わる事なので許されません。極論すれば、すべての公共事業に住民投票が実施する必要があり、その結果で判断し整備されにくい状況になっていくとすれば、私はその住民投票に反対です。影響を受ける事無い地域からの意見では税金の無駄使い的に思えますが、仮に自分が直接影響を受ける、または受ける可能性がある場所で居住しているなら、河川の整備およびほかの公共事業でももう少し必要性を感じるのではないかと思います。人工的に補強されていない河川は、日本の都市及び近郊では皆無です。現在の社会的な生活を営んで、自然との共存は勿論誰にでも欲する事ですが、多数決的な判断は考えものです。公共工事、公共事業ばかりが、税金の無駄使いで自然を守ろうと意見する人々が正義で、人工的に整備させようとする人々(国や個人)が悪であるかの様な風潮は少し考え直した方が良いと思います。反対、賛成意見などどうして取りまとめていくか、また実際にどう整備していくか私個人的にも結論はでにくい事ですが、それぞれの意見を検討し早期に実行してもらいたい。取り留めの無い意見ですが私個人的な感想です。
2188	吉野川近くに人だけのことでなく、山の方もしくはなかなかいけない人にも吉野川で素晴らしいところだと感じる場所であってほしいです。
2189	河川敷がスポーツなどに使用されることは良いことだと思います。更に沿線各町村にヘリポートを一箇所ぐらい造ってはどうか。
2190	綺麗な川にしてください。
2197	吉野川と住民をよりよくしていくためにも河川整備計画は必要だと思います。自然環境をよくして水質などを防いでいきたい。
2208	今、徳島は、川と人が再度近づいてきたような気がします。戦後、公共が積極的に河川改修をして、河床を下げ、三面張りの河を作り、人々は地域の川を見放したと思います。でも、吉野川での一連の活動で、地域の川に再び目が向けられたと思います。河川管理者は、予算的な面で、あまり河川内の環境美化を進めていないように思いますが、アドプト等の事業で地域が自主的な活動をし、公共がバックアップを充分にしていけることは、みんなの財産だという意識が育つものと思います。底地は、国だ、県の所有だと、うるさく言っていて、自主活動ができない場合があるように聞きますが、もっとみんなで守って使える川づくりを進めてください。みんな協力していくと思います。
2210	吉野川の自然を守るためには、地域の住民の生活の中で、川を汚さないようにするのが良いと思います。心無い住民のゴミ捨てなどを、河川管理者がもっとパトロールを強化して欲しい。
2212	吉野川は徳島ばかりでなく、四国の宝である。目先の利害にこだわることなく、長期的展望に立って整備しなければならぬと思う。岸辺は自然公園のように、設計に基づいた植林をし、人々の憩いの場とすれば、それが観光資源となって多くの人を惹きつけ、経済効果もやがて生むのではないかと思います。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2214	上流域と下流域の住民間で、意識の相違があるのではないかと。例えば、下流域の住民はきれいで豊富な水を求め、上流域ではアユやウナギが自然遡上する、昔のような吉野川を求めています。少なくとも早明浦、池田両ダムができてから吉野川は死んだも同然だと思います。これ以上荒廃を進めない為にも、河川管理者は自然を大切にすることを最優先に事業を進めていくべきだと思います。また、流域住民も水質保全等にも配慮した生活をするともに、上、下流域住民の相互交流も深めながら、永遠に流域が発達して欲しいと思います。特にお願いしたいこと。池田ダムの魚道は、アユやウナギが確実に遡上できるものに改良してください。
2215	四国で一番大きな川です。四国一きれいな川にしてみたいと思います。みんなの心がけひとつでできると思います。昔のようにならぬアユ、アユ等がたくさん棲めるように。
2221	自然な状態で保存したいことは皆さん同じであるが、山での保水力が十分でない現在、植林をし、十分な保水ができるようにすることが大切なのではなからうか。また、現在の住民の思想が先人とは異なり、統一しにくいのが、十分検討し、改善すべき所は改善しなくては行けない。第十堰についても一部の住民の考えのように思うが、十分説明し、改修した方が良くと思います。一部自然破壊になるかもしれないが、
2224	第十堰は補強しつつ、残して欲しい。あの風景は徳島の誇りだと思う。大切にしたい。最近やたらと水際公園が多くなっている。いけないとは言わないが、度が過ぎると自然の良さが失われる。野生への魅力こそ、この大河を生かす方法ではないか。野鳥ほか他の生き物のために。なお、水際公園は程々にしておかないと管理も大変。無駄な経費も増えるのでは。
2226	正しい知識をもって考えて欲しい。人から聞いたこと、美しい言葉、こうあって欲しいということを頭から信じないで欲しい。国のやっていることは全て正しいことではない。しかし、環境保護を訴える人が全て正しいかというと、そうではない。自然を開発することは自然にひずみを生む。しかし、環境を保護することは人にひずみを生む。吉野川の水をきれいに、という全ての人が、本当に自分にできる精一杯のことをしている人はどれだけいるのでしょうか？国に何とかしろというのは簡単かつ勝手なことです。まず、自らが変わらないことには全くもって駄目です。
2229	山を守り、自然にやさしい護岸や竹林を守る。きれいな川を残していきたい。
2230	もっと吉野川流域の自然環境をグリーンにできるはずであるから、これを重点思目として、行動してもらいたい。
2233	母なる川吉野川は、かつては大変な暴れ河で、流域住民の人たちは度重なる洪水被害に辛惨をなめ、決して母なる河ではなかったと聞いています。河を静め、母なる川に甦らせた河川整備に感謝しなければならないことは言うまでもありません。しかし、「河川制御」という言葉に象徴されるようなおごりがあってはならないと思います。
2238	鮎の遡上する川となって欲しい。
2240	吉野川に日本一の川の駅を作ってください。(宮崎県都城市の川の駅公園以上のものを。)
2242	もともと吉野川は四国三郎とも言われた昔からの川です。最近には特に防災工事や護岸工事で川の汚染や、にごり水で自然を汚すのが多いようですが、今のままの自然を大切にしていなくても「吉野川は水がきれいやね」と、県外から来た人が喜ぶような川であって欲しいと思います。今は村おこしや町おこしで大変ですが、時には各県が一緒になって、年に一回位でもいいから吉野川について、ごく普通の人の意見も聞く必要があるのではないのでしょうか。
2245	徳島市は、下水道の浄化ができていところ(地域)が少ないと聞いています。市がもっと補助金を出して、地域別か個別に、下水道の浄化を強化しないと、吉野川はいつになってもきれいにならないのではないですか。他県では、その補助金がかかり出ているということも聞いたのですが。
2246	第十堰の傷んでいるところをどんどん直して行って、第十堰が私達と一緒に共存できるようにして欲しい。
2252	下流ばかりでなく、中・上流にも目を向けて欲しい。
2253	中国北京南西、永定河に架かる蘆溝橋。1192年完成全長260m余り巾7.5m去る2月17日孫と旅行中に行きました。1337年7月7日の事件など昔のこと、現在抗日戦争記念館が出来ており、私は女性ガイドに連れて行かれたと思う感じで入館しました。中国、日本、軍隊の衝突事件から日華事変にその時の生々しいパネルです。蘆溝橋の欄干の柱頭は400余りの石の獅子が彫られていて、見事な橋でした。現在人だけが通る観光の橋です。橋の下の永定河には水の流れはなく、枯草だけです。30才前後の女性ガイドさんに聞くと、「上の方でダムが出来て最近川に水が無い」と云う。「その方が良いのですか。」と聞く。「分かりません。」「夏になると少しは流れが出来ますか。」私聞く。「知らない。」とガイドさん。とにかく私と孫、ガイドさんの三人で橋を往復、大小の獅子の表情をながめ乍らふらふら歩きました。橋の袂に乾隆帝の「蘆溝曉月」の大きな大理石の碑が立っていました。そのころには水は豊かによどみなく流れていたのでしょう。見たいものです。歴史に残る橋でした。行って良かったです。
2259	水源税を取って、川や山を守って欲しいと思います。
2267	私は鮎喰川で農業用水のための井堰、神山森林公園の入口の下井堰を管理している者です。第十堰のミニ版で、表面はコンクリートで覆われ、頑丈そうに見えますが、漏水がひどく、渇水時には水不足が生じ、水路の末端では、徹夜で水の確保に懸命の状態です。堰の表面に小さな穴が開くと、生コン20立米でやっと埋まる状態。米の価格の下落で資金不足も生じ、水路と井堰の補修に四苦八苦の状態。第十堰が羨ましい国事であるのだから。可動堰の建設は非常に良い案と思いましたが、現在ではどうしようもない。現位置での可動堰はいいかなものなのでしょうか。又は中央部を可動化も一案ではと思います。雨水を上手に利用するより方法はない漏水を防ぎ、堤防を補強するより以外にいい案はないように思う。
2272	吉野川は自然の状態が一番良いと思うが、災害を最小限に防げる治水工事だけで、昔のようなきれいな川に戻ってくれる事を望んでいます。
2275	吉野川は四国の代表川です。下流は人間の生活のための川になっていると思いますが、せめて上流域は、人間性の修復される場であって欲しい。他の生物と共存できるよう願っています。自然は、個の要求や権利は追求せず、なすがままに生きています。人間もせめて、利己主義だけは捨てて、心の安らぐ幸せを求めるようになればいいと思うんです。その個人個人の心を繋ぐ役目を吉野川に託したいと思います。
2277	吉野川は、四国の川として、特に香川県人も参加できるような場があっても良いと思います。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2281	吉野川は、徳島の風土を育て、太古の昔より存在するものだから。これを美しい形で子孫に残す努力をしていかなくてはならないし、一方、私達が安全に生活する為には利用もさせてもらわなくてはならない。私達人間生活と川との調和を図りながら、共存していく道を将来にわたって長期的展望を持って、治山治水に取り組んで欲しいと思います。
2283	今の吉野川が昔のように進めば、こういうアンケートはないと思います。徳島県民一人一人の、川に対してのきれいにしようという自覚があれば、ダムなどと言うのはいらないと思います。川底にある砂利整備など。
2286	森林の保全や植林により、早明浦ダムや吉野川周辺の地下水が川に流れて、水の清らかな水質の良い水であって欲しいと思います。
2288	吉野川の氾濫の歴史を思うとき、自然と人との調和の難しさを考えさせられる。
2289	私は、徳島に親類がいて、年に何回かは吉野川に下り立ち、緑豊かな景観の美しさの中で、子供達(孫)と水に触れ合う機会を持っている。吉野川は雄大で、四季によってその景観は異なり、心が洗われる思いがする。だが、最近ゴミの投棄が目につく、昔を知っている私には残念である。自然と向き合う快適さが損なわれない環境づくりを各人が心がけて欲しいと思う。
2291	いつまでも安全できれいな川(吉野川)を残すよう、一人一人意識を持って欲しい。
2292	現在の吉野川の水質等を維持して、四国四県での生活用水・農業用水等に末永く使用できるように維持管理してもらいたい。夏などには、安全にキャンプ・カヌー・釣り等が子供たちも楽しくできる設備・場所の充実。準備会(第三者機関)及び検討の場を作っても、一部の人しか興味を示さない場合が多いため、流域住民の範囲を広げるようにして、多くの住民の意見を聞くようにしたらどうか。
2296	「藍より青き吉野川」の語源のごとく、いつまでも美しい河川を維持してください。
2298	「みんなで川づくりを話し合う場」については、ここで提案された意見を整理し、これを活用するためさらに、地域住民参加による実行委員会を設け、これを行政がバックアップするものであって欲しい。
2300	自然界のあらゆるものが「水」なくして生存はあり得ない。したがって、本件で言うところの恵まれた吉野川流域をより有効的に活用し、次世代に引き継いでいくことが大切である。その意味で、今回の第1回調査を足掛かりに建設的な意見の取りまとめに努めようとする関係者の取り組み姿勢は良いことだ。
2322	大水の際の堰南岸の異常洗堀は地形による、いわゆる水衝部であり、堰の形を少し変えることによって中央に流れを移動させることが考えられます。また、堰の松杭は最近では水が流れなくなり、腐食が進んでおりこのまま放置するわけには参りません。第十堰問題は、明治17年デ・レーケにより吉野川検査復命書を明治政府に提出されて以来、第一期改修、第二期改修工事が施工され、堤防補強がなされその度ごとに第十堰問題の論議が繰り返されたが、計画は進まなかった。そして昭和40年には吉野川総合開発が計画されたが、歴史に古く、地域社会に深く根付いた第十堰は、利水、治水の要となっているもので、改築にはなかなか話がすすまないのかもしれない、かといって放置しておくわけにもいかないのもそれに対してV字型切り下げ案のとおり、青石を敷き詰めて改築し、堰周辺の水辺に親しみやすい環境を整えて第十堰を、優美な姿に整備し、両岸には遊歩道を設け広く市民に親んでもらえるような一大公園を企画して頂いたらと考えております。5月になれば一面のお花畑になります。緑萌える中に黄色の花が咲き、その向こう側には水清らかな清流がコバルトブルー色に鮮やかなカラーコントラストを醸成して、風景が広がっていきます。
2323	学校などでは「危ないから」川へ入ってははいけませんと教えています。又、工事をするたびにセメントで固めてしまい、川への入口がありません。階段もありません。けど子供たちは泳ぎ魚釣りをするので。綺麗な川が少なくなった水無川になってしまったりしている、川や谷が多くあります。けど吉野川に流れ込んでいるのです。吉野川は、たくさんの川からの水が流れ込んでいるのですから生活排水や工場排水を考えるべきです。水防竹林や中洲がありますが、ゴミ捨て場です。地区のゴミ収集で行ったり、近くを通りますが、大きなゴミから生ゴミとすごいです。このゴミが台風で流れていっているのです。川は汚れ海も汚れています。いくら護岸や子供の教育の場を作っても片方は綺麗で片方はゴミだらけではイメージもどうなるのでしょうか。長期計画みたいですが、みんなの意識を高めていかないといけないと思います。
2329	もっと魚や自然、ゴミとかを増やしたり捨てたりして綺麗な川にしたい。
2330	吉野川右岸国土交通省距離標21km附近の河川敷占用地には占用目的外に使用している違反(牛糞など蓄積)占有者がいるが、速やかに是正指導を徹底して欲しい。西条大橋の完成後は橋附近の河川敷は運動広場公園などに整備して地域住民の憩いの場に開放して欲しい。
2336	私は反対したものではありません。残り投票しない方も多かったことを忘れてはいけません。北環と南環状線つなぐため橋があるなら堰も良かったかもしれません。自然体が失われるとのこと未知数です。近代的な観光にもなるかもしれません。知事の汚職に使用されるのであればいけません。(これは国の工事ですね)。近代さと自然との合体した調和のある吉野川が美しいですね。
2343	綺麗な川でいてほしいです。皆楽しめる場所であって欲しい。
2344	綺麗な川で他の川も綺麗にして欲しい・・・。
2345	吉野川ばんざい。
2347	川も綺麗、生き物や植物(自然)が元気でありますように。
2348	ダム建設などの大工事にお金を使うのではなく、先ず第一にすべきは「森林の保全」である。今徳島県の森林は荒廃している。なぜそこに金を入れないのか。工事は汚職の基にもつながらっていると疑わざるをえない。可動堰ダムも白紙ではあるが撤回や中止(完全)ではない。そんなものは必要全くない。それを強調したい。またアンケートはきちんと公表して欲しい(都合の良いものだけ採用するアンケートでは困る)。アンケートの取りっぱなしにしないよう、結果を知らせて欲しい。
2350	地域住民が協力し、下水道施設の整備を行政に働きかけこれ以上排水汚染などをしないこと。吉野川にダムは要らない。池田ダムは香川県に利便を与えただけで四国圏としては良かったかも知れないが、ダム周辺、特にダムの周囲、上、下流とも何のメリットもなかった。水量調整は早明浦ダムで十分に機能している。
2353	特になし
2355	上流のほうより下流は(堰)のことも大変ですね。自然を壊さないように生活に利用できるか。あまり吉野川のことについて考えたこともなかったし、大雨が降るとどの位水位が上がっているかと思ひ川を見る程度でしたので、大したことも書けなくて申し訳ありません。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2356	早明浦ダム建設以来、下流域の吉野川は死の川となった。川底はへドロ、水は冷たく魚は棲まず、昔の面影は全くない。今アメリカ辺りではダムは減少している。ダムの許可期限は30年であるが撤去してもらいたい。昭和50年頃の洪水の時放流操作のミス(或いは故意)により穴内川河口付近の農地等の多くは流失した。昔からなかったことであり、私も被害を受けた。ダムの崩壊、アメリカティンダムの例の如く、ダムの崩壊がもっとも恐ろしい。昭和50年当初の洪水時にはダム職員が逃げたという。洪水以上に恐ろしいのが地震である。堰堤上流はいいが、下流の被害の悲惨さを思う時身の毛もよだつ。※注...この問題も含め森林のもつ公益性、空気の生成浄化、二酸化炭素の吸収と光合成による酸素の放出など土佐町改善センターでまた故里創生資金の時大豊町農工センターでも発表した、全く反応はなかった。
2357	素朴な疑問。他県の国土交通省も川を好きになってもらうためにリバーキーパス等の事をしているのでしょうか？このアンケート用紙もお金をかけているようですし・・・。吉野川について関心を持ってもらうならシールや新聞広告より毎月でも吉野川ウォーキングを開催したり、洪水被害を受けた地域のウォーキングなど健康と自然、安全について勉強できるのではと思います。信金ウォークで沖洲を歩いています、吉野川を見ながら色々皆さんしゃべっています。この様な広告費を使うなら不法投棄の見回り、清掃の補助(団体以外の個人でも受付)など色々使い方はあると思います。上流にダムが造られて可動堰がつくらなければ駄目だと言っているのを聞いた事がありますが、ダムが中止になっているのに同じ案はおかしいのでは。可動堰とダムは関係ない？可動堰ができていない現在、水害になったら被害にあった人達の人命、家などの損害補償は国が支払うのですか？以前流域住民(洪水被害者)の人が可動堰反対している人達に「あんたらが補償してくれるんか！」と怒っていました。あのテレビシーンがずっと気になってます。国が私たち個人の財産(家)まで守って(補償のこと)くれるのか知りたい。
2358	吉野川流域はあまり活気がないと思います。季節を問わずもっと皆が楽しく遊べる集える場所をつくって欲しいと思います。吉野川をもっとアピールしてもいいんじゃないかな。
2359	吉野川の利用は地元と外部の人達(休日に利用など)とでは川とのつきあい方に相違がある。地元にとってはゴミ、大小便を撒き散らす外部の者に不快感を持っており、現実にカヌー、ラフティングを楽しむ若者と釣りを楽しむ(これは外部の者もいます)とのトラブルが多発している。国は地元の住民たちのこうした現状を把握しているのでしょうか。地についての行政を行って欲しいと思います。これらの問題を地元役場や住民に任せきりにせず、積極的な対応をお願いしたいと思います。川は国民のもので、誰でもが利用できるものですが、レジャーのために住民の生活に害があってはならないと思います。よろしく対応をお願いします。
2361	私は標高700mの山あい細々と農業をして暮らしています。昔は畑で野菜を沢山作って出荷していました。またどの田んぼにも稲が植えられていました。春にはぜんまいやわらびが沢山採れてとても豊かでした。でも今は山の上から下まで杉が大きくなり、山の上に木の実が無くなり、いのししなども里の方に下りてきます。又畑や田んぼに日光が良く当たらなくなりました。又道路に冬が来ると雪が積もるのですが、道路の周りに杉が大きくなって雪がなかなか溶けないのです。今人口も減り少人数の人達が肩寄せ合って生活しています。せめて田、畑、道路には散々と日光があたるようにはならないでしょうか。
2363	南小川西峰地すべりで工事をしてもらいたい。
2365	昔の吉野川は大きくて清いまた怖い川でありましたが、現在では寂しい、くさい、汚い川になっています。幼い頃は川の水を飲んだり川の中に入ると石に鮎の餌になる(コケ)がはえていて、滑って歩く事が出来なかったが、現在では川の中に入ってみると、にごり水が出来る川の底には沼がたまっているのです。また鮎を取るときには昔は無かった、田にはえるアオシヤ(コケ)が針についてくるのです。ということは今の吉野川は死に川です。香川分水を考えて量を少なくして昔の吉野川に戻してほしいです。また吉野川の水の量が無い為に、川島から水を取っている麻名用水も田植えの時に水が少なくて田植えも出来ない現在です。
2366	行政が一方向的に計画し住民に協力を求めるような計画を発表しないでください。極秘の計画(住民は利害関係あると推測)は現在では無理であろう。住民が「お願いします」という計画をつくるのが大切なことです。そのためには今何が必要から住民の意見を聞くことである。
2367	ゴミの投げ捨てをしないように協力したいです。
2369	関係ないことも知れないが昔、川原には林があまり道が広がり子供の通学路になりました。木がうっそうとしチカンや夜危険として切りました。見通しがよく反対側からも良く見え明るく通りやすくなりました。だけど近年緑を増やそうというのでまた木をいっぱいぐちゃぐちゃに植えています。背の低いさつきとかなら良いけど、カシの木や昔のように又うっそうとした通りになるのではと心配です。もっとよく考えて欲しいです。川原には草が生えたりはします。それを公園のような人の手を加えた自然はなくても良いように思います。お金をかけては草をユンボがほったり移動したり無駄なような気がします。また木は山に植えて欲しいです。もっと簡単なアンケートにして欲しい。
2372	吉野川は徳島県人にとって命の水であると同時に心の故郷である。全国に誇る雄大な大河を永遠に守ってゆきたい。以下、思ったままに私見を述べてみたい。1.遊水地帯の早期解消。地域住民の生命財産を守ることは政治の原点である。当地区は古来より下流域保護の為洪水の都度遊水地帯として農作物の冠水、家屋の浸水等を強いられその犠牲に泣かされてきたが何の保護補償もなく極めて不当である。2.築堤の早期完成。年次計画のもとに実施されているがその進捗度は遅々として進まず、第二第三地区にはおおよそ100億の予算が必要というが、現行の年間5億円では単順計算で向こう20年を要する事となる。思い切った予算の大巾増額を行い早期完成を望む。亦風聞によると、築堤用地のみ買収を行い築堤地は買収しないとか聞かすが、その様な計画は絶対反対で、堤外地域も同時一括買収を要望する。前例を参考までに述べれば高瀬谷川下流の民有地が洪水埋没を長期間放置し、最近ペーパー処理して一件落着の令もある故、堤外地は同時買収が条件である。3. 中島川の整備。県西唯一の親水公園の候補地である。吉野川より取水する事による水質は一変する。改修に当たっては柵に目コンクリートの三面張りではなく、自然工法を重視する。集中豪雨、洪水時に於ける内水排除施設を確立すること。4. 支流河川の水質改善。課程排水は吉野川の源流であるとの見地より、EM菌等による水質浄化等、地域住民のアドプト精神の啓蒙を計る事。5. 堤内外用地の有効利用。県西部運動公園の候補を再検討して欲しい。①用地価格が格段に安価であり施工が容易である。②周辺施設との連繫利用が大変有利である。四国三郎の郷、吉野川ハイウェイ、紅葉温泉郷、森林公園等。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2374	私は吉野川が怖いと思った事があります。それは昭和29年度から前後3回ぐらい洪水のために家が浸水したことです。家の座敷の上まで水が入りました。庭先まで浸水したのは1年のうちに2回から3回くらいはありました。この気持ちは経験した者でないと分かりません。今の第十堰のように何も知らない関係のないものが第十堰について意見を言うのは不愉快です。ただし家の浸水も今は池田ダムや早明浦ダムの調節によってそれもなく安心した生活が出来て居りますが、自然の大雨による災害は将来とも予測は出来ません。その為にも吉野川の維持管理等については専門の方々によりしく願います。
2386	昨年度もアンケートの提出をしたと思うが、それに対する結果が見ない。もしくは私自信の見落としか。色々のアンケートに協力しているが、殆ど上記のようなことであり、役所の自己満足のみではないかと思う。できれば、きちっとした一本の線を通した施策を立てるべきではないか。(返事は今後の施策のためアンケートですと答えると思います)。
2387	21世紀のテーマでもある環境問題や河川、ダムなど自然を相手とした問題に住民の関心は高まっていると思います。人間誰でもきれいな自然や環境の中で日々を生活する事を望まない人はいないと思います。私も井川町の山の中で生まれ育ち今も生活しております。吉野川の支流、井内谷川をせき止めた自然のプールで水泳を練習し今も唯一の得意のスポーツとなっております。あの昔の清水と冷たさは今も忘れる事は出来ません。出来ることであれば昔のような流れを取り戻すことが出来ればと思っております。下流域では第十堰問題など色々と多くの問題が起こっているが、吉野川フォーラム等の話を聞いておりますと池田ダムや分水などでてこないのですが、下流域の人は吉野川の水が香川へまた愛媛へも行っていることを理解していないのではないですか。四国は一つですので、助け合い分け合って使う事を広報してはどうでしょうか。また河川の工事は必要に応じて自然の工法を利用しても良いのではないのでしょうか？日常この様な事を言うとな変人扱われるので言えません。吉野川はやはり県民にとって神様がつくった自然の宝物であると思います。何時までも大切にしたいものです。自由に出来るのは国土交通省のみです。ご苦労様です。よろしく願います。NHKのプロジェクトに出してもらえよう良い仕事を期待しておりますのでどうぞよろしく願います。
2388	雄大な吉野川の存在を県民自身が理解していない。これには教育の乏しさの現われと感じるほどで、県民が身近に「吉野川の豊かさ」、「吉野川の偉大さ」を知ることが大切だと思う。
2390	実際この様な活動(アンケート)があることに感激しました。立派なもの、大きなもの、大切なもの、これらをよくすること、改善することは本当に立派で大仕事で大切なことです。この活動をずっと続けて欲しいし、微力ながら手助けさせて欲しいと思いました。
2397	私たちは小さい頃には隣の爺さんが魚釣りしていたのは、水量の多い鮎喰川であった。川を歩いて渡るような時は本当に横切るのが大変だった。終戦後木炭づくりで雑木林を切ってしまい、植林に杉などを植えたのが保水力が無くなり大量の雨が降ればそのまま川を下る、降り止めばすぐに川が干上がってしまう。今新聞等で水源税議論があるが賛成と思う。ただし水道料金と一緒に集金するのは間違い。水源税係分として集金できれば非常に良いと思う。私達鮎喰川流域ですが、昔は上鮎喰辺りでも水がどンドン流れていたのに現在は伏流水となっている。砂利等が集積したままで堤防より河川のほうが名東町の方より高い様子。砂利採集して売り、売上代金で上流で保水力のある雑木林につくってはどうか。現に芝小屋原始林のある川また谷川は水量が多い谷である。取り急ぎ頼まれたので思いのままですが、ありがとうございました。
2398	吉野川の安全保持と周辺住民との良好な関わりが一番大事なことである。川の安全保持の為堤防の補強とか、第十堰の可動堰化などは行政中心の発動事業として行うべきであり、やたら無知な住民の意見を聴取しても無駄な事であるということを、国土交通省の行政官は認識すべきである。周辺住民の生活の関わりでは水を綺麗にするため、汚水や畜産廃水、農薬、工業廃水の排水規制をさらに厳しくすべきである。吉野川及びその支流で畜産廃水が目に見える。河床に密生するアシ、ヨシなどはこれらによる水の富栄養化によることを住民に知らすべきである。吉野川流域住民の大多数はこの川から生活水を得ている現実が十分認識されてない。
2401	私は徳島の第十堰を建設省の計画案を一部流域の住民が反対して中止に追い込んだというニュースを見聞いた時、一部流域の住民のための第十堰であるのか、これが果たして正しいといえるのか、将来間違いなかったと歴史が立証できるのかと思いました。第十堰が慣れ親しんできたより自然に近い人工施設となって溶け込んでいるとは考えられるが、新しい計画や建設省や国や権力に反抗する事がいかに正義のように映る今日の風潮が私は間違っていると思う。是非第十堰問題ばかりでなく、住民もお互いに知恵を出し合っ合意の上での計画推進をしていただきたい。反対のための反対又それを大扇動する団体はもうたくさんである。
2404	水が汚れている。
2405	夏は子供達が水泳釣りなどして遊べる清らかな川にして県外からも訪れる人がにぎわう川にする様皆で努力する。治水、利水については自然を守りながら当事者中心に議論して最小限の施工にする。上流支流ではコンクリートのダムが出来て昔(昭和30年ごろ)生息していたカニ、ウナギ、じんぞくが全然いなくなったこと残念に思う。人間にも影響が及ぶのではないかと心配だ。
2406	河川整備の基本が治水のみの時代と昭和に入ってから利水が加えられ、そして平成になってから環境問題が新しく加えられ、現在に至っている。問題は治水のみの時代なら関係者もそんなに多くなかったが、利水、環境が加わってから色々な団体関係者の増加がこの問題を複雑にしたと考えられる。併し基本的な整備の方針には何も変わることは無く同じだと考えられる。従って根本的な方針、計画についてお互いに対等に話しあえば理解されると考えられる。勿論中には絶対反対の一部の説得は不可能であり、最終的には無視せざるをえないと考えられる。民全主義の時代であれば、一部の少数意見は無視される場合もあると考えられる。
2408	あまり地元にかまかせきらず国土交通省も積極的に入り込み、十分な説明を行い理解を得る場として活用し、ある程度のリーダー性も必要と思う。
2410	第十堰問題の結果本当にあれで良かったのか。せつかく国が予算をつけてくれ、あれだけ計画が進んでいたのにもったいない事をしたと思うのですけれど。
2411	吉野川は心が和みます。散歩したり、風景を見る。マラソン、ジョギング、ウォーク、サッカー、ラグビー皆頑張っている吉野川運動場。川の近くに家がありここから離れたくない。第十堰(改築、修理)、堤防の改修是非早くして欲しい。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2412	幼いころ美馬郡貞光町に住んでいた。夏になると貞光川で毎日水浴びをしていた。鉄橋から下は竹やぶが貞光川の両岸が覆いかぶさり、水面は暗かった。なんとはなしに鉄橋から下へは行ってはいけないことがわかっていて。でも一度だけ行った事がある。浅瀬が続くが光が竹やぶで遮られているので不気味だった。そつと吉野川の方を眺めると青かった。今思えば暗い方から明るい方を見るとまぶしく感じる。その感じが幼な心に神々しく近づいてはいけないと思ったのだろう。二度とその浅瀬には近づけなかった。神々しい吉野川だと今も思っている。だから余分な人の手を入れて欲しくない。
2414	このアンケートは吉野川についてお尋ねですがダムになっても吉野川でしょうか。土佐町から下は色々整備されカヌー、水泳、魚とりが出来るそうですが大川村は濃紺一色の湖、見ていて恐ろしい。夏も水泳も出来ず親の勤務後、南川の川に泳ぎにつれてゆく不便不利。学校のプールは色々条件がある。ダム湖の両岸の整備をして景観を楽しめるようドライブ、散歩の出来る美観を望みます。
2416	私は鮎喰川のほとりで住んでいるので最近いろんな工場とか施設が出来て水が悪くて水を買って飲むのが多いので困ります。これから先はどうなるのか心配です。
2417	水辺を整備し、安全で安心な潤いのある川や河川敷を子供たちの環境学習や住民のレクリエーションの場として整備して欲しい。
2419	吉野川は徳島県に神が与えてくれた財産です。清流を守りいつまでも心がいやされる川であってほしい。又ダム等人工的な改修は止め、自然の中で多くの県民が触れ親しまれる四国一の川を残して欲しいと思います。
2420	河川管理者の立場からの基本計画をはっきりと出して地域住民と話し合いの場をつくり、意見を反映してほしい。しかし、防災上譲れない河川整備の基本は強く出して欲しい。
2421	またいろいろな新しいイベントなどひらいてもらいたいです。それと子供の遊べる公園などもどんどん増やしてもらいたい。
2422	吉野川の上流から下流まで素晴らしい自然、雄大な川の流れ、本当にこの川の流域に住む私たちはもとより徳島の四国の人々にいろんな形で恩恵を受けています。この川をいつまでも守る為に私では流域をきれいにする事に気をつけることくらいしか出来ませんが、有識者の方々や皆さんの話し合いでより良い吉野川となりますように、アンケートを送っていただきましたがこれと言った良い案もありません。
2425	①私の一番関心のあるのは銅山川です。吉野川にとって有数の支流であったものかつ上流ダム(5)によって下流への流量が激減し汚濁(特に夏場)がひどくなった(自浄作用がなくなった)。②新宮ダム建設で銅山川は吉野川の支流でなくなったのだろうか。大雨の時はダム以前と同じ濁流が遠慮なく流れてくる。多分数個のダム底の清掃をその機会にしているのだろうか。③池田ダムから下流の本流ばかりの「アドプト」をやってもこの銅山川のようないいかげんな河川管理(特に大小支流)では吉野川の本流はきれいにならない。早明浦の奥の源流ばかりでなく、銅山川の源流にも目を向けるべきであろう。④ダムを挟んで県と国との管理を別にしてどうか。吉野川総合開発の一環として銅山川は愛媛県に売ってしまったからどうにもならないとか。⑤利水ばかりを重点にした昔の河川管理を思いきった見直しで美しい故郷の川づくりはもはや取り返しのつかなくなった様に思われる。「銅山川」国や県はどう考えているのかじっくりお聞きしたい。
2426	昨年からはるか上流の池田町に勤務するようになったのですが、下流との河川整備の差を強く感じます。ラフティングなどの上流ならではの楽しみも多くあるのですが、町民の散歩コース、小さな子供さんを連れて出かけられるような公園があればと思います。第十堰が白紙撤回になって本当にうれしいです。現堰の補修、改築を行い、自然がいっぱいの吉野川を取り戻してください。
2429	水が汚れている。
2430	治山、治水の両面と水質源の活用から吉野川の水をより有効に活かせる様、そして安全で安心して水の不安を感じさせないような水質源対策と防水に対する防災を国の力で民意をまとめあげて善処して下さるようお願いいたします。
2431	最近潤いや安らぎを求めて川に行くと安全で安心する川になっているようだ。いつまでも美しい吉野川であるよう頼みます。
2432	①池田ダムの洪水調節について、台風時における善入寺島への冠水で大きな被害である。最小限度にいくとめるためには、気象庁の台風情報により早急に洪水調節を実施すべきであると思います。②吉野川の下流堰の件ですが、日本の中部地区、九州地区等で被害の報道があるように水質汚染が発生している。兵庫県、阪神地区の水道の供給等については良い方法を研究していくべきである。
2438	大きい金のかかる事業はやめ、金のかからない事業をやる。鮎のとれる川。この度の失政策は上に立つものが大きい事は良いことだと。地方の議員さんが皆国より多い金を引き出す事ばかり考えたから失敗したのだと思う。
2442	水は命の源です。香川用水にとっては香川県民では何ものにも変えられぬ宝物として喜んでます。
2444	川の中の木や草を除去する事。
2450	住民参加型の河川の保護、整備であって欲しい。徳島工事事務所は吉野川の保護整備を全国に注目されるべきリーダーシップを発揮して実行して行ってもらいたい。勿論学識経験者、河川保護の専門家の意見も尊重してもらいたい。
2452	吉野川に可動堰もこれ以上の開発も必要ないです。
2453	川は大自然の恵み、水は不可欠の資源。四国三郎は四国の宝物である。文化(文明)の発展と共に目先だけをみつめた配慮なき「開発」の美名に隠れた自然破壊に取り返しのつかない現状を悲しむ。少年の頃の吉野川(特に支流の各川)の素晴らしさ、偉大さ、親しみを現在の子供達にはもう味あわず事はできない…。あの谷川のせせらぎは、小魚は、虫たちはどこへ消えたのだろうか・・・「ジンゾク」と戯れたあの自然が恋しい。
2454	子供の頃は夏場は毎日のように吉野川に行って川遊びをしたものです。台風の後などは、川が増水して大変でした。現在は少なくなりましたが、濁りがずいぶん長く続く様に思われます。ダムのせいだと思います。特に中流～上流が特に強く出ていると見受けられます。生活排水、事業所排水、特に飲食店等は垂れ流し状態に近いと思います。もっと取締りを強化してもらいたいです。吉野川本流に流れ込む川、谷等、昔よりずいぶん水量が少なくなったと思います。何故か考えて、早く行動を起こすべきだと思います。河川域をゴミ捨て場にしないよう、ゴミの出ない社会も考えるべきだと思います。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2456	水と緑の町作りをしてほしい。水があるので人々が長生きしているように思う。まず飲み水が綺麗で川が綺麗で山が綺麗である。いつまでも皆が綺麗にしてほしい。川を綺麗に保って、未来に残して欲しい。ゴミ取りも実施しているので、魚も多く住んでいるように思います。県外の人々が癒しの川として遠くから見に来られている。車をとめて見るほど綺麗になりました。いい川ですね。
2457	私は吉野川の源流域で80年の生活をすごしています。私の幼い頃の河川は水量も豊富で清流に生息する魚も多く地域の人は雨魚を釣るのが楽しみにして生活をしていました。しかし時代の流れとともに、河川は変化し、雨降れば濁流となり、晴天続けば水量は極度に渇水状態になり、かつての昔の豊かな清流は昔語りとなっています。なぜこのように変化したのか、その大きな原因は国有林の皆伐事業の実施にある事は申すまでもありません。森林の伐採は勿論、天然の雑木林まで伐採し、本川村の緑の山々はハゲ山と変化し、吉野川の水源地の清流は昔語りとなっています。本川村は約85%が森林で天然林は主として雑木林で樹齢百年以上の豊かな森林でありました。この雑木林は保水力があり年中豊かな水量が流れて本川には三大ダムが建設され、電力の村となり又早明浦ダムより香川県に水が流され利用されています。国有林は伐採されても、植林の手入れもせず放置されている関係でかつての美林は夢物語となっています。吉野川の源流の大きな変化は国有林事業に有ることは申すまでもありません。豊かな森林を作ることが、豊かな水源を育む事になります。しかし、水源地域の村は現在過疎と高齢化、少子化が進行し森林を育成することは不可能の状態にあります。現在水源税が課題となっています。私の住む地域(本川村中野川)は愛媛県の県境にあり吉野川の水源地にあります。かつては約30戸近く有った集落は現在10戸位になりました。高齢者ばかりの集落で10年もすれば消滅集落の可能性もあります。よりよい吉野川づくりのアンケートを目指しての文書を頂きました。私もこの議論には心から感動し協力は惜しまないつもりです。河川整備計画は水源地の整備と保護にあると思います。国の事業の見直しが第一条件と私は思っています。大変アンケートの提出が遅れ申し訳ありませんでした。現在病気がちのため私の意見のみ提出いたします。
2461	長崎県の諫早湾干拓、岐阜県の長良川堰等環境を破壊してしまっただけでは遅いので、計画の段階に入る前に第三者との協同で環境アセスメント、その他の下準備を十分に行ってなおかつ討論を行う必要がある。もし計画が中止になるような結果になってもそれでよいのでは。
2462	開発反対。環境第一。せつかくの河川だから地域と共に成長を。
2465	私は藍住町矢上で生まれ吉野川には特別な愛着を持っております。現在は徳島市西須賀町に住んでいますが小さい子供の頃から高校生位迄は毎年夏休みになると今の名田橋あたりへハゼ釣り水泳にと待ち遠しい気持ちでよく行ったも者です。今吉野川の新しい河川整備を考える時治水、利水は勿論ですが豊かな観光資源として多数の周辺住民の意見を聞いて活用を広げていけたらなあとおもいます。上流では祖谷地方が舟下りなどで大いに開けておりますが、まだまだ発展開発できると思います。
2466	第十堰改善、新設は吉野川総合計画、早明浦、池田ダムなどの計画段階で決まっていたことと思う。
2467	やすらぐ川でいてください。
2468	川は汚いより、綺麗な方がいいので川の近くでゴミを捨てたりはしないようにしたい。
2471	一部の利害で貴重な河川の生命を損なうことのないよう。広範囲の有識者も含め充分検討し、大方の納得が行く方針を探り将来とも豊かな自然が守られるよう切望します。
2472	井川町で生まれて、香川三木に嫁ぎました。ふとしたきっかけで「どんぐり銀行」を知り山や森は、川や海につながっているという事に深く感銘を受けました。早明浦ダムの上流に、木を植えに行ったり、近くの森作りのイベントにも参加しています。里の方に行くと、多分にもれず竹がはびこっています。池田の山々のてっぺんまで竹が生え、これでは山の保水力が落ちてしまうのがとても恐いです。川の水が少ないのはダムのせいではなく、流域の山々の力がなくなっているせいではありませんか？川原に背の高い草が生えているのは、ここの水がこないせいでしょう。地域の人たちは、吉野川に元気がなくなっているのに気づいているのでしょうか。灯ろう流しの時、舟が下流に流れずダムの方に逆走してしまうとも聞いています。池田付近は、ダムだけでなく、高速道路の開通で、大きく自然が変わり、生態系も変わってきています。その上過疎の町ですから。美しい自然は美しいまま残していきたいです。知事の件はとても残念ですが、これに負けず徳島県民はもっと考え、立ち上がらなくてはいいけません。私にお手伝いできることはありませんか。
2473	吉野川最高。
2474	人がいっぱいいて木に囲まれた川であってほしい。
2475	人工的にせず、自然と美しさを保って欲しい。魚を入れて欲しい。
2480	魚が泳いでいてほしい。綺麗なままできて欲しい。
2487	自然に逆らわず、自然のままで作っていく。
2489	学識経験者や流域住民の意見をまとめるためには、やはり行政側のリーダーシップが必要であると思います。期待しています。
2493	わからない
2494	吉野川講座もできれば日曜日の昼から開催して欲しい。
2495	第十堰問題であるが、歴史的な第十堰でそのまま吉野川の洪水が防げるのであれば自然的なものが保持され、それにこしたことはない。なにも好き好んで莫大な経費を使って可動堰をつくる必要の無いことは自明の理である。四国三郎と呼ばれる全国的な暴れ川と知られるこの川の氾濫時に防御できるのであれば何もいうことはない。老朽化した第十堰では甚だ危険でないのか。今日の時代的な傾向として住民団体の意見をきかなければならないことは充分理解できる。しかし偏ったイデオロギーを持った指導者によって市民の意見とは申せあくまで公平、透明性でなければならぬことは論をまたない。とにかく、県も徳島工事事務所もその後どうなっているのか。吉野川治水に方向が出直し、白紙もわからないわけではないが、吉野川中流域に住む我々の生活を考えて欲しい。環境論と生活権をどう調和、調整するか今後の充分な見直し、計画性を考えることが必要だろう。
2502	自転車でぶらぶらするのが好きです。吉野川、新町川の川岸のコースも整備されてきてうれしく思っています。ただ一般道と交差する部分で、車道を渡らねばならないので(また迂回しないといけない所が多い)改善できないかなと思います。
2503	色々な動、植物が生きながらえる環境に関心を持って行動に移せる雰囲気育てたい。
2504	川づくりに対する住民意識が高まりつつあるので、行政→住民から住民→行政への政策転換を具体化するべき時期に来ていると考えられるので、このアンケートの意義は大きいと思う。吉野川の情報や問題点を出来る限り流域住民にPRして正当な判断材料を提供することが重要と考える。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2505	アドプト制は非常に良いと思う。高令者は体調によって参加できない場合もあるが、せつかくの徳島の誇りとして吉野川を県民みんなの力で守り、手入れもしていかなければならないと強く思う。
2509	山、川、海の水の流れは一つなのに人間の考えは別々である。支流、本流の源流部にいつまでも建設される「砂防ダム」、いつになったら最後の砂防ダム？これは本当に永久的な効果があるのでしょうか？山の土が殆ど流れてしまったらなくなるのかなあ。源流、本流担当が違うので工事方法も違う。土石は淵を埋める。河床を上げる。ダム湖にたまる。山、川、海の県の担当者が手を取り合い支え合って吉野川全体を考えないと川だけを考える学識経験者集団では未来はない。竹林堤を削ってコンクリート護岸にするなど、とんでもない事。竹林を整備(間伐、草刈など)することを怠ってきたから管理が困難になってきたのではなかろうか。竹林は堤のみの目的ではない。竹の生活への利用(魚具、家具、屋根、竿、筍、道具)や防風林、魚や動物の寝床だったはず。支流にあったあの竹林はどこに行ったのかなあ。
2510	最近の吉野川は利水のほうが優先しているせいか、水量が少なくなっていることを肌で感じる事が多い。例えば、以前の吉野川では上流部の三加茂町周辺に冬場はハエ釣り、夏には鮎の友釣りとよく出かけたが、同所ではゆったりと流れていても腰まで入ると水圧に押されて下流へ流されそうになった。しかし、この辺でも河原が広がり、殆どどのところが対岸に渡ることが出来るし、夏場の水温も高い。利水も必要なことだと思うが、やはり大河はどうとうと水をたたえてゆったりと流れて欲しいもの。森林の保全や植林で保水力を高めていくことも必要だと思います。
2513	香川県としても吉野川は生活になくてはならない大きな役割をもらっています。「よりより吉野川づくり」を目指した前進的なアンケートです。吉野川をこよなく愛する一人として大いに頑張ってください。心より応援いたします。
2514	護岸を充分にしていだきたい。道路、鉄道が敷かれて100年近くなり、水源から海に至る。災害防止とビニール、工事使用後の番線、鉄類が河川の汚れを増加しているように思える。昔は台風の大水で川は掃除をされていたが、吉野川への支流の護岸整備がされて、大水の心配は少なくなったが川床に土ともヘドロともわからない汚泥が川床の石を包み本来的に生育されていたコケ類がなくなり見た目は昔の吉野川であるが、岸部にゴリが昔の様に澤住みついた水質の吉野川の水を取り戻していだきたい。
2515	ダムの為何種類の魚がいなくなりダムがあるかぎり魚は戻ってこない。誠に残念。
2516	川つつじのツアー、舟下りなど(上流地域、大豊内)で。
2517	私たちの高齢者には思い出だけが強く、ダム湖に対しては冷ややかさがあり表現すれば昔の流れが欲しいということである。意見、提案をすれば昔に返せとなる。これも、どうしようもない。沈んだ故郷に生きてきた者には切実な流転なのである。アンケートの目的には、大きくずれてしまうけれども、本当の心情である。自然を埋めることなく発展方法をとれないものかと考えることしきりである。
2533	吉野川上流より吉野川河口まで美しい青い水でも汚染の無い清水である吉野川。第十堰の完成を祈ります。
2535	吉野川の支流南小川の上流で生活しています。今国土交通省の直轄砂防地区に指定され防災工事が行われています。私の集落にも毎年建設工事が進んでいます。防災と同時に建設業者の救済の事業となっていますが、治水工事と一緒に進めてもらいたいことは、山の治水能力の回復です。人工林の大半が手入れが出来ず、山は荒れ放題。昔は年中水が流れていた谷川が全然水が無く大雨の時だけ洪水となっています。過疎と高齢化で山は荒れています。地元の間ではもはやどうにもなりません。川の安全は山の保水力からだと思います。国土交通省が川と山と一緒に防災工事を政策の重点にして予算を組んで欲しいと思っています。日頃山で暮らして老人の感想を書いてみました。
2537	吉野川流域では色々なイベントがあると思いますが、土佐町の早明浦ダムでも夏は湖畔祭りにて出店がたくさん出て花火が上がってとても賑やかな夜です。秋には早明浦マラソンもあり、大変好評にて最近では遠くからの参加もあるようです。9-1でも書きましたが広い公園が欲しいと思います。そして色々なイベントを考えたら良いと思います。
2541	「治水」という言葉、考え方が間違っているのかも。私たちよりも大きく絶対的な存在なのだから、「治水」はおこがましいものかもしれない。治めようとし、手を加え都合の良いようにした結果、川も山も本来の力を失ったり、バランスを崩している。保水能力が落ちて増水や渇水になる。私はカヤックを吉野川でしているけど、時々思うのは吉野川が人格もっていたら怒りたくもなるし、仕返しもしたくなるだろうってこと。「川を綺麗に」といって川だけきれいにしても駄目だ。雨が降ればそこらじゅうのゴミが吉野川に流れ込む。吉野川は水の流れてる部分だけじゃなく流域の全てのエリアで吉野川なのだから。香川の東讃も立派に吉野川の流域といえるのかもしれない。影響を大きく受けているのだから。
2551	新たに河川整備基本方針が出来たことは素晴らしい事だ。今までの河川の管理、利用改善等については上の一部の意向で押し進められた事が多かった(利権にまつわる事が多かった)。反対といえば一部の人に扇動されてという非難さえあった。しかし今回のように広く意見を聞くという手法は良いことだと思う。この意見やアンケートの結果が歪曲されないよう集計の結果を素直に受け止め、行政に活かして頂きたい。
2554	前例が無いからという考えをせず、新しい考えで皆が(譲れるところは譲るという)思いやりを持って川との生活を送れるようにしてほしい。もちろん、人間以外の生物にも目を向けて。世界からも良い意味で注目される川づくりが出来ればいいなと思います。
2556	皆で孫や子にいつまでも美しい川を保っていきたいと思います。そのためには川にゴミを捨てないように小さいことから気をつけていこうと思います。
2557	現状ではあまり理解できないので、説明会などをしてほしい。
2560	第十堰の問題で討論となり、親しかった友人と意見がわかれ数十年続いた友情にひびが入り、出入りが止まった。何事もせき止めると死んでしまう。川は建設省、お国の物というが川について専門に勉強しておられる方たちが治めているのだからしっかりしていただきたい。途中で県知事逮捕というショックな出来事が起こり、やはりなという思いもある。こちらはボランティアをしようとしているのに、上は一体何をやっておられるのかと恥ずかしい。情けない。
2561	自然のまままでいてほしいが吉野川橋下のアウトバーンの所、工事も途中のままで見受けられる。少しの雨でも大汐の時も通行止めになるのは困る。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2562	徳島を離れて他県に行く時他の地には本当に河のないことを考えさせられます。また他の県の方や外国の方が吉野川を見た時その大きさ、美しさに驚かれます。吉野川のような大きくとうとうとした流れの川は徳島の宝であると思います。川を観光に来られる人もいます。どうか世界に誇れる吉野川であってほしいと思います。
2563	第十堰可動化計画が持ち上がった時、知事が異常なまで可動堰計画を推進し、これ以外には方法がないという言い方をしていたのをなぜそんなに強弁するのか不審に思っていたが、今回の事件でその背景がはっきりした。吉野川だけでなく自然現象は生物全体の貴重な財産であることを重く受けとめて、長期の見通しにたって住民全体の利益のための最大公約数を満たすような計画のもとに整備計画をつくってほしい。
2564	吉野川の第十堰を移動し歩道橋にすると以前あったが今のままの「堰」を補修すればよい。歩道橋にすれば高さが対岸の風物詩が損はれる。上板町からは眉山の山容が一変し不可。吉野川にかかる各橋の兩岸のブロック並べが雑然と又これ等の間に雑草が生えて増水時には支障をきたすのではないかと。
2567	「吉野川」をよりよくするあるいは、河川整備を行うということは地域だけの問題では(現在の社会では)ないような気がします。自然を守るという観点から多くの人の意見を聞く必要があるのではないのでしょうか？(そこに住んでいる人はもちろんですが、全国各地の人の意見を取り入れられればいい。)
2570	第十堰については危険地域に住んでいる人々の悲痛な叫び(声)を安全地域に住んでいる多勢の声で圧殺してしまったように感じました。それでは正義に反すると私は思います。(私は池田町に住む部外者(第三者)です。)
2574	多くの人々に愛され自然の美しさを求めて四季を通じて多くの人が見に来てくれる、各地から集まって来られる川であってほしい。
2575	まず第十堰についてだが、知識のない者が少々の勉強をし声を大にして反対と言い張る。まして、堰の周辺に住んでない県民に第十の危険がどれほどわかるのか。県の進もうとしている方向に逆らうだけが悩みのか!徳島のこの問題だけでなく日本人の特有のものなのだろうか。よい事や正しい事のはずなのに何かにつけて意見する。素直に事をすすめるという心構えが見られない。話を戻し、第十堰の工事は一刻も早く行わなければならぬ。ここでどうこうもめている間に、その何年やらに一度の大洪水がきたときには何万人もが犠牲になることだろう。今のばかげた争いをしている、この先誰もが困る事になるだろう。私はそんな事態に巻き込まれたくはないのだ。堰をつくりかえることで大惨事を少しでも防ぐことができるという理論があるのならそうすべきだ。ただ反対側の無理やりに引っ張り出した意見がに川が汚れてしまうとあるが何もせずに生活するだけで心無い人達の手によって川は汚されている。それでも時は流れるのだから堰をつくりかえて川が汚れても、先で県民の暮らしが守られているのなら、反対する必要はないだろう。また吉野川フェスティバルだの吉野川周辺で行われるイベントだが、あれは必要ない。行うのはよいが後日どれだけのゴミの量か。ボランティアを含めてもイベント前のゴミの状態には戻せていない。川の周辺を活性化させるイベントか何か知らないがそのせいで吉野川をよごしているのも事実である。いつの時代も自然に逆らわず暮らすのが一番である。
2577	私が子供の頃の吉野川はとても清流で美しい川でありましたが最近では水量が少ないので流れが悪くへどろさえあるような状態であり昔の吉野川とはイメージが全く悪いように思います。昔の姿になる様にならないかとさえ思います。魚介類もたくさん居りましたよ。
2579	吉野川は全国の中でもよく知られていますが潜水橋付近ではカン、ゴミなどが多く捨てられています。市場町にある八幡潜水橋は遍路道になっており、多くの県外の人が通りますが、あの状態では見苦しいのではないのでしょうか。
2583	河に公園を整備すると、普段来ないような人が来るようになってゴミとか落としていくからやめた方がいいのではないかと、ふと思いました。昔、丈の高い草の中飼う犬をつれて散歩するのは緊張感があって楽しいものだったと思います。自然のままの汚らしい川原はそのままでもいいのではないかと思います。それでも来たい人は川に来ます。とにかく公園は要らないと思います。せつかくの静かな場所が台無しになります。
2588	吉野川の名称は鎌倉時代初期より呼ばれているようでありまた四国三郎とも呼ばれ親しまれ全国でも有名な河川である。瓶ヶ森付近を源流として四国山地を東流して結晶片岩を穿孔して北流、大歩危、小歩危を横谷をこしらえ多くの観光客を楽しませている。池田町で中央構造線にそって再び東流して、途中多くの支流河川と合流して紀伊水道に注いでいる。河流は流域を肥沃にしかんがい用水も確保し農業は振興したが、一方大洪水も多く田畑を浸蝕し痛手をこうむっている。吉野川は重要な水運の幹線で渡場は92箇所にとんだ。人、物資の輸送はもちろん、流木、木の筏として山間部の木材の運送に役立て、川湊には店も建ち並び繁盛し経済的な動脈として重要な役割を果たした。また文化をつくってきた。しかし洪水の際には流木が川水と共に氾濫し堤防を壊したり、田、畑を荒らし被害は甚大となり、徳島藩は天明8年(1788年)流木を禁止した。明治になるまで流木の禁止措置は解けなかった。その後、昭和上期まで洪水時流木は続き、田畑の流木除去に苦労した。上流にダムができてよりは流木はなくなったが、流木に代わって最近ではゴミの漂流が増加してきた。吉野川側岸の竹木は文化年間(1804年～1817年)に阿波藩がつくったと言われていた。竹林は洪水による災害防水のため堤防代わりにつくられた。竹材は毎年間伐し販売収益をあげ、竹の子の食用、農家用具に幅広く活用されたが、科学の進歩により代替品が登場し販路は全くなり、竹林の間伐等管理不行届となり、古竹は倒伏し、密林化し荒廃してしまった。遊水地帯での竹林は洪水時ゴミ流木のため一面ゴミの溜まり場となってしまい汚く、密林で暗く汚い印象が強く人も寄り付かない川となり残念である。早く行政のご配慮と住民の理解協力により吉野川の清く美しい水と沿岸整備により、吉野川を始め周辺自然の息遣いを感じながら豊かな生活ができる美しく整備して水際公園など設置し観光資源とし吉野川のイメージアップしたい。
2589	単なる自然保護の掛け声だけではだめと思う。地域に住むわれわれも川を汚さない。(家庭排水、農地排水、畜産農家排水などを住民が自主的におこなう様な雰囲気づくり等)運動を盛り上げるべきです。貴重な自然、景観を残しつつ、水資源の有効な活用を図るべきで、それには気の長い活動が必要と考えます。住民の責任と義務も問いつつよりよい吉野川づくりを進めてほしい。吉野川本流だけでなく支流も含めた活動をぜひ進めていただきたい。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2590	1. 役人は頭がかたいからハード面を考えると。 (保身のためか?) 2. 国(役人)は安全と安心をどこまで言うのかよくわかりません。 3. 地域の住民のための経済効果はキャパシティーがないと思う。 4. 土佐の一本釣りの実態はよくわかりませんが自然を相手に命をかけて魚を採っている。山も川も同じではないですか。(自然を相手に生きていると言う事デ) 5. どの土地のお年寄りでも昔はよかったと言う。(たとえば自然発生の災害で死人が出た事も含め)なぜ? 6. ダムをつくっても地元の人口は増えない。 7. ソフト(含む補修)面の充実をしてみたら?
2593	孫が徳島に住んでいる際に、小さい時は帰るとおじいちゃんも川へと必ず川へ連れて行った。大きくなると川に入り時間を忘れて遊んでいた。吉野川は孫の成長につれての思い出の場である。夕方帰る時に父母が呼びにくると名残惜しそうに帰っていった。私と孫の思い出の場である。最近川にほこりがあり、少し入るとばーと汚れが出る。ダムの関係か残念である。また、鮎漁の網漁の時に不用な魚を捨ててあり腐って近づけない。
2595	吉野川は昔は魚の種類も多かったし、数量も豊でありました。鮎戸瀬(山城町)では夏の鮎の時分には急流のしぶきのかかる岩をハゼ科の小魚がその岩に無数にへばりついて川を上っている事がありました。また小さいウナギも川ごけを利用して巧に遡上している姿を良く見かけました。池田から上流少なくとも高知県境までは岸辺も昔のままだし、ダムが一箇所ある以外は手を加えていません。昔のことを思えば小魚が川を上がるのにはそれぞれ知恵があって鮎戸瀬の急流を上がるのであればダムはあまり問題にならないのではないかと思います。魚類がその種類も数量も極端に少なくなったのは水質が一番大きな原因でないかと思えます。この辺りを専門家の意見を充分取り入れて施策をたててほしいと思います。魚影の濃い吉野川を取り戻してください。
2597	25年前に徳島県にきて、現在まで徳島に暮らしています。当時、吉野川大橋もなく非常に道路の整備が遅れている県と感じました。しかし、現在は道路整備もされ、吉野川にも身近に散歩に行き、河川敷からの景色を楽しんでいます。当初、吉野川(河口付近)を見た時、その大きさ、美しさで大変感動しました。25年前と異なり、河川敷等も整備され、県民の方々は吉野川の水だけでなく、河川関連の整備の恩恵を受けています。私は河川の開発には反対ではありませんが、開発するに当たっては、一部の人の利害にとらわれず、10年、20年先のことを考えての開発、自然との調和を考えた開発をお願いします。
2601	吉野川は日本にあって第3の河川。川が人を養い文化を創り出してきた。この美しい川を後孫に残さねばならない。その為①清く美しい川を維持するための管理。②洪水の時の安全対策。③川を愛するためのイベントをする。
2604	美しい吉野川に生まれ変われますように。
2605	いまさら無いや。四国三郎まぼろしや。
2606	吉野川のこと大切にしてくださいいつでも。
2619	池田から脇町まで水上バス、カンドリ船がボートで走らせれば吉野川の宣伝になると思う。
2620	吉野川講座の案内を見て「テーマ」が難しいように思いました。主婦でも理解できる内容でしょうか。とても関心を持っております。
2621	第十堰関連の住民と行政との間で、単なる吉野川可動堰反対の住民の会の行動がクローズアップされ、全国的な動きの中で第十堰問題が静止されたが、吉野川流域の住民としては、国が一級河川「吉野川」を管理していることから吉野川の河川の安全について計画的に施行できるよう努力されるようお願い一人であります。ようやく「よりよい吉野川づくり」として動き始めたので先ずは安心。今後の活躍を期待している。
2625	圓藤知事が逮捕された今、河川整備も方向性が変わるのではないかと思います。なぜ、可動堰をあれほど性急に進めようとしたのか、その理由を明らかにしてほしいと思います。大手ゼネコンへ仕事を請け負わせ、見返りを期待していたのではないかと疑ってしまう。本人は、口が裂けても本音をはかないだろうが、県民は不信感を持っている。今こうして、一般住民の意見を聞いて、整備計画を立てていることは、とても良いことだと思うが、なぜもともとこのようなスタイルを取れなかったのだろうか。知事は、「県民の命と財産を守る」が口癖だったが、徳島でほとんど住んでいなかった人だから、吉野川を愛していなかったのではないかと思います。職員の皆さん、そう思いませんか? 「吉野川をこよなく愛する者からのコメントです。」
2634	吉野川に流れ込む大小の谷川の砂防工事を早急に行ってもらいたい。地辻のため、安心して生活ができない。
2636	自然を壊さないで。
2639	吉野川をはさんで南と北では、文化の違いがある様に思われますので、交流を図るために大きい橋がほしいです。吉野川橋の下には、運動場がありますが、上流にも作ってほしいです。夢のようなお願いですが、第十堰は心配ありませんでしょうか。65年位前は、大洪水があり、木造の橋は流出しますので、舟で渡してくれました。なつかしい思い出です。吉野川のことについて、私はほんの一部しか存じませんのでお答えは不十分だと思います、申し訳ありません。
2640	自然科学>人文科学>土木工学。
2650	吉野川も田舎の小さな川も町中のどぶ川も一つになって海に流れ込みます。近所の川から清掃に心がけたいと思います。川に対する思いやりを皆の方が今再認識すべきではないでしょうか? 生命の源の水を運んでくれる河川を。
2651	特にありません
2652	特にない
2655	私が幼い頃はめだかがいるのをよく見ました。しかし最近、その数が減ってしまったように思います。生物が多く住めるような川に戻ってほしいと思います。
2657	今のままでも十分美しい川だとは思いますが、自然に残っている風景を大事にして安全に。
2660	①吉野川の存在を他人ごととして無関心な者が多すぎる。広く吉野川の将来像について意見を聞く事は大切。特定の人間、特定の地域にこだわらないようにしてほしい。②堤防の清掃に年間三回参加している感想。大人のマナーの悪さに驚くばかり。無神経というか利己的というか、あれでは良い子供は育たない。
2662	広大な自然としての「吉野川」を守る必要があるのは、いうまでもない。しかし行政や建設業者のために不要な工事があってはならない。出来る限り自然の形で残してゆかなければならない。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2664	先の第十堰の賛否を第三者的に傍観していたが、「賛成の為の賛成」、「反対の為の反対」論者が多く、(政治的で)どちらも素直に聞きにくい面がありました。今後は先入観を持たずに素直に吉野川についての自分の意見が言え、また他人の意見も聞き、とにかく吉野川を少しでもよくしていきたいと思っている人々がよく話し合うことが大事だと思います。
2676	流域町村かつ自分の町村の吉野川流域の改善について各層の意見を聞き、独自の改善策をたて、これを国土交通省でまとめて吉野川全般の改善案を調整し、援助または独自に改善していくのはどうでしょうか？災害のない自然の姿を残して豊かな、平和な清流にし、観光資源に活用できるものに出来ればと思います。
2677	自然が失われていく現代に、吉野川の存在は大変貴重であると感じています。吉野川の有効利用も必要であるとは思いますが、あまり手を加えてその素晴らしさが損なわれる事のないように希望いたします。
2679	今農村においても混住化の社会となり、先祖から田畑を譲り受け、山林を守り自然を守り子孫に良い環境を残していこうと思っている私たちの上に仲良くしていかなければならないが、新興住宅の人達が今までの慣例や慣行を打ち砕くような意見をいわれます。全く全体とは言わないのですが、ボランティア精神から遠のきつつあると、河川の清掃はというと県の管理のものだとか、そこまでする必要はないかという意見が出てくる。なるほど河川は国、県のもので、そこで毎日生活をしているのは自分達で朝な夕なに川の中を橋上からみても、この前集落皆で草刈や草焼きをして汗を流して半日は体が疲れたけれども後の爽快さ、集落全体の団結、ボランティア精神、環境は自分達で守るという意欲を私たち大人が次の代に残していく必要があると思います。
2682	期待しております。
2683	応神町古川に住んでいます。毎日朝、夕散歩していますが、車がよく通るので危ないです。吉野川北岸堤防南側にスポーツ野球場所、公園、散歩できる場所をつくってほしいと思います。私たちの住んでいる場所が一番選んでると思います。弱い立場の人の意見も聞いていただきたいと思います。よろしくお願ひ致します。
2684	不謹慎な話だが、子供の頃川沿いの道が少し浸水してまだ通行止めになる前に通って水の中をいく。というスリルの中、ドキドキして楽しかったことを覚えています。ただ今そうなると(昔もそうだったが)大変困ると思うので、やっぱり何かしらの整備は必要だと思うのだが、動植物を絶滅させるだけの整備は、子供たちとかみんなの遊ぶ場を限定するだけになってしまうと思う。あと上流の方の自然豊かな吉野川はなるべく残した方が良いと私は思います。
2690	早明浦ダムにブラックバスを放流しているが、生態系が変わるので絶対止めてほしい。下流域(特に徳島県)の方々は上流域に視線が向いていない。今後ダム建設はNG。
2725	都会にいたせいか徳島の水はおいしいと思っています。人工の手をあまり入れずに自然に近いような河川整備を行い何時までも徳島の水道水がうまいと他県の人にいつまでも自慢できるように。そのためには安易な土木工事はしないようにしてください。
2727	いつまでも美しい吉野川であってほしい。
2731	河川の改修の際も、むやみに可動堰などの機械類を入れるのではなく、少ない経費で大きな効果が上がるような工法を採用してもらいたい。そのほうが地元業者でも請け負える仕事となり、経済効果もあがるだろうし、万一故障、破損の際でも補修が簡単に行えるだろうから。
2732	木頭村の問題、第十堰の問題など、一般にはわからない利権が底にあるようです。一部の人の利権で動くものであってはならないと思います。いつまでも美しい四国三郎であって欲しいものです。
2733	先ず今回のような県民の意見を申し上げる機会を儲けていただき感謝申し上げます。私どもは国土交通省の開かれた行政運営を町民にPRを致して居ります。吉野川の水害も身をもって体験を致しており、取り組みにも感謝いたしております。日本一広い善入寺島、生かす道も考慮いたして居り、現状を見ましても多くの魚類、野鳥の宝庫であります。人命には変えがたく共生のできる管理についてと心より願うところであります。一度機会が御座居ましたら、善入寺島現地視察心待ちとしております。
2742	吉野川は他県にはない素晴らしい川です。恐怖・脅威にもなりますが私達にとって安らぎでもある。行政機関として、人命を守る事は言うまでもないことですが、もっともっと「安らぎを与え、人々と共に共生する川」をつくりだすという考えで取組んで欲しい。
2743	私は以前計画されていた可動式に賛成していましたが、住民投票で白紙になり残念に思っています。地域住民として最大限自然を残してもらい、長年国土交通省の調査、統計により可動式に計画されたと思いますから。回答用紙の11番に書いてあるように堤防の近所ですのでよくわかります。
2745	アンケート調査の実施大変ご苦労様です。私もアンケートにまじめに答えようとするが意外に難しく時間を要しました。設問が漠然としているのかもしれませんが。又なぜ名前を記入しないといけないのかという問い合わせもあり、「無記名でもかまわない」という配慮が必要かとも思いました。いずれにしても集計結果を期待しています。よりより吉野川づくりを目指し、今後とも頑張ってください。
2748	先ず上流、山あいには広葉樹林をつくり洪水を止めること。善入寺島などの處の雑木、柳などを抜き取り大水の妨げにならないように美しい河原にして、憩いの場をつくってほしい。また堤防側に花、木など植えて根強く堤防を固め、堤防を拡張して交通の便を図り、美しい吉野川であってほしい。
2750	吉野川は誰のものか。我々県民は代々ここに住みほとんどすべてが昔は農民であり、もちろん所有権もありませんが、この川で生まれたもの全ては我々のものであります。これは法律より強い文化によって県民は連帯感をもっております。又最近では市民も高学歴となり知識人といわれる人達の学歴と殆ど変わりなく、説得とは大学生が小学生に対して行うほどの差がなければ行けません。私は管理型の河川に出来るなら行って欲しいと思っております。こんなに恐ろしい川はありません。しかし大好きです。下流域においてはきちんと人間がコントロールすべきです。石井から松茂の人は多くはそう思っていると信じております。何をどう決めるかは県民一人一人に決めさすべきです。そしてそのほうが一番の近道です。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2751	私は徳島が好きです。子供の頃は松茂町に住み高校は吉野川をわたり通学しました。大学も徳島です。この地から外にでた事はありませんが他に行く気もしませんでした。でも今は、自然が売りなのに汚し、経済は小さい。国道192号線も10年も20年も前に広がるので建築は前に出すなど印をもらいに来ても広げることすら出来ない。調査に時間をかけすぎると、吉野川の模型を作っても説得力は無い。準備会などと予算はたくさん使われ、何かから回りしている気がします。今まで使った費用でゴミ掃除くらいは出来たと思います。また水の取水場が石井町にあるのに徳島市から水を買って、水道代は市内の3倍です。こんな事などをきちんと示せば、徳島市内以外にダムを造ることはすぐに可決できるはずで、私がリーダーなら次の選挙なんかどうでも良いから徳島のために一期だけでやってしまいたいです。
2752	自然の恵みは尊いもの。その自然環境をいかに取り入れるかたたくさんの素材がふんだんにある。その自然と共存して初めてその効果が生まれる。自然との対話、例えば河川また治山工事修復する上には自然型工法により施行すれば昔の河川がよみがえる。吉野川河川流域の地域活性化を図っていく上には自然に取組む姿勢が第一の条件と思う。アンケート提出する中、私は提言したいことは河川工事するうえ、工法は自然工法方式を活用してみたいと思う(木材の使用)。場所によってそれが自然との調和、特にメリットとして動植物が繁殖し、自然の河川が取り戻せる、種々のメリットが生まれる。観光にも結ばれる。今の河川工事がセメントが主で害が大きく動植物破壊につながっている。きれいな水で住みよい環境づくりに最重点目標として取組んでいただきたい。是非今後の河川、治山工事については充分な地域住民の声を充分把握してもらいたい。地域おこしの原点は住民の意をくみ河川工事に施工していただきたい、昔のままの河川の姿に戻りたいものです。これから河川、治山工事するときには必ず住民の声に耳を傾けていただきたい。
2754	早明浦ダムが出来た前、川はとて綺麗で毎日見ていました。工事中その後、茶色とも緑ともいえないような水が流れました。それから川を見なくなりました。今、吉野川は少しづつ綺麗になってきましたが川を見ている人をあまり見かけなくなりました。人間にとって一番大切な水をいつくむ心がなくなったように思います。小さい時川で遊んだ思い出は、今も輝いています。でも今の自分や子供には思い出がないように思います。もっと川に出て行く機会を増やしたいと思います。遠足や水泳など(吉野川では泳がれないとなっています)安心していけるようにして欲しいです。
2756	行政側は情報を提供し、それによって吉野川をどうするかを決めるのは流域住民である。大切なことは住民投票によって決めたい。水は貴重な資源である。流域以外に分水しないほうが良い。
2757	災害は忘れた頃にやってくると昔の人はよくいっております。もういつおきても不思議ではない時期に来ております。どうして徳島市だけの投票だけで決めた(最初の頃)。私共北島町のものとしては一日も早くどんな方法(工事)であれ「堰」を一日も早く完成して欲しいお願いでございます。
2758	第十堰は先人の偉大な事業であり、これを遺跡として永久に保存する為、付近の堤防と河川敷を記念公園として整備してはどうでしょうか。
2759	学識経験者の意見や地域住民の意見を反映させた川づくりに賛成ですが、全ての項目について特に川づくりの重要なポイントは一般住民達は必ずしも分かっているわけではありませんので、住民投票による決め方には反対します。良い提案を思い浮かべませんが、この点に関して教えていただいたら幸いです。
2764	治水、利水、環境の調和を。
2769	川を守ることで、山を守ることが同時に行われないと難しい。50年、100年先の状態を考慮して目先の利益に走らぬ視点が肝要だと思う。
2771	堤防上の道路を広げると堤防を強く出来、交通の便もよくなるのではないのでしょうか。
2776	私たちの子供の頃は水は透き通り、多くの魚種が目についた。また土の堆積もなかった川原にはあまり草木はなく、いつも洗ったように綺麗なごろ石の川原が広がっていた。所々にしゃしゃぶとってグミの仲間の木が実をつけ、いたどりや甘根といったものが生えていて、よくとって食べたものだ。砂地にはありじごくもいた。今の子供には夢以上の世界であったと思う。綺麗だった頃に戻す事は無理にしてもこれ以上の環境破壊は好ましくない。
2777	私たちの地方では直接川に頼って生活をしている人達は少ないと思う。でも考えてみれば吉野川に流れ込む支流から飲料水が来ていることを考えると放って置けない話です。良い水をつくるには森を育てなければと思うが、50年来の杉や檜を植える森づくりではいけないのでは。もっと落葉樹の森を作る必要があると思う。雨が降るとすぐに川の水が濁ってしまうような森ではなく、もっと保水力のある森をつくることにより河川の災害も減少してくるものと思う。私たちの代ではなく次の代へ送る物としてより根気よく活動を続けなくては。
2778	吉野川ではないのですが、今、園瀬川の河川工事をしている近くに住んでいるのですが、堤防の必要あるのでしょうか。河川工事をもうすでに進んでいるのでどうしようもないのですが、園瀬川は大雨が降っても川の水が少し増える位です。でも小さい橋は水が橋の上まで来ますがたいしたことではありません。幸いな事に一度も床下浸水も床上浸水も経験ありません。でも安心は出来ません。だって雨が少しづつでも降れば当然水がたまりますよね。今の時期は雨が少ないので川なんか殆ど水がないところがあるし、水が流れないので汚れています。6月から7月にかけて雨が多く、台風が来ると四国で100ミリから150ミリ、多い時で200ミリから250ミリの大雨が降ります。水が少なくても多くても困りますね。石井町の方で大雨洪水の被害が多く、竹林が洪水を食い止めたと聞いていますが、今では竹林が殆ど無いのでしょうか少ないですね。意見なのか感想なのか分からなくなりました。言いたいことは吉野川がきれいでコンクリートのない今の状態を維持してもらいたいです。
2779	第十堰直上流は砂利が堆積し、浅くなっている。何か対策はないのでしょうか。第十堰に対する徳島市の住民投票は、堰を知らない多くの住民が一部報道に左右されているように思われる。
2781	高知の四万十川に川のイメージで負けているように思います。もっと吉野川のイメージをマスコミを使って全国にアピールしてください。(例えば、NHKの大河ドラマに使うとかです。)
2783	吉野川のような大河川で下流域に人口が密集しているケースにおいては治水対策をおろそかにはできない。(もちろん自然との共生も重要ではあるが)。災害対策は近年災害が発生していないければ、それ自体が無駄なものとしてとらえられかねない。第十堰をめぐるマスコミの報道はまさしくそのものずばりであり、民衆を扇動しているとか思えない。(特にテレビ朝日のニュースステーション。) 良し悪しは別にしても建設を推進する側ももう少しアピールする方法があったのではないかと思います。
2787	特になし

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2789	小さい頃からの吉野川との接触はないが、私たちが子供の頃に見た吉野川はまだ美しく雄大な川だった。誰かの利権の対象と吉野川がされているのであれば、それは吉野川に対して失礼。これまで吉野川のおかげで命をつないできた阿波人なのだからやせ細ってきた吉野川をもう少し大切にあげよう。
2792	吉野川関係施設の各所に、吉野川全域(またはできれば四国全域)の空中写真(10000分の1から25000分の1)を展示すればより流域のイメージが理解しやすくなると思います。(例:琵琶湖博物館。)
2793	このアンケートが形式的な計画に終わらないようご成功を希望します。
2796	吉野川の危険箇所の早期補修。実行できるところより施策の遂行推進。
2802	吉野川学び愛し、未来に伝えよう。
2804	昔若かりし頃ボートで水遊び、魚とり、水あびを楽しんだ。現在は水がきれいでないので昔のように水質をよくするように考えて欲しい。
2805	私が住んでいる香川県善通寺島は吉野川の流域とは言えないかもしれないが、香川用水の恩恵を受けており、その意味では流域といえるかもしれない。香川から吉野川へは車で一時間程度であり、吉野川流域で鮎釣りをする香川県民は、私の周りにもたくさんいる。皆一様に、昔に比べ川が悪くなった、釣れなくなったと言っている。台風が来るとなかなか濁りが取れず、森林破壊が原因とも思われる。子供たちともよく川遊びに行くが、次世代のためにも今以上の美しい豊かな吉野川になるよう、知恵を結集すべきと思う。意見を言いたいと思っている釣師は私の周りにもたくさんいる。今回、このようなアンケートが行われたことをうれしく思う。
2809	25年徳島で暮らし、吉野川とは密接な生活をしてきましたが、吉野川の水質に関しては残念ながら「美しい水」とは思ったことがないように思います。私達利用者の大切にする心のなさが、そうさせているのかもしれない。実際私もあまりそういう意識はありませんでした。というのも吉野川という「川」があまり「身近なものである」という考えが今まで無かったからです(特に学生時)。なのでもっと小学生、中学生・・・学校の行事などに吉野川付近を利用したような事を起していけば良いと思います。
2813	吉野川万歳。
2814	徳島の自然を利用した、世界に誇れるアウトドアスポットをつくって欲しい。子供、孫まで引き継がれる様な施設をつくってほしい。
2815	特にありません。
2819	吉野川は徳島県にとって他県に誇れる遺産の一つであり、今の大きさ、豊かさを残し、川づくりを考えて欲しい。決して、個人の利益の為の川づくりはしてほしくない。
2838	池田ダムが出来てより冠水ありません。よくなりました。
2843	国土交通省と農林水産省との連携がもっと密にならないのでしょうか？
2846	歴史広場や俳句広場が出来たら良いな。
2850	高松市や兵庫県淡路島などに水を送るのは人間が生きる為に必要と思いますが、水を送れば吉野川の河口に水が少なくなっているいろいろな被害が出ます。もっと上流のほうに植林してほしい。(高松や兵庫の人達にも協力してほしい)
2853	生まれた時から身近にいる吉野川、朝起きれば外には必ず見ることが出来、吉野川を見ない日々など考えられないほどです。子供たちにもこの姿を見守ってもらいたいし、色々な人達にも知って欲しいと思います。その一部にでもなければとアンケートに答えることにしました。郵便局で見かけて吉野川という言葉にひかれて手に取りました。美しい吉野川がいつまでもそこにあるようにお願いします。大変な仕事ですが、頑張ってください。
2856	香川県高松市の者ですので早明浦ダム以外はあまり関心がありませんのであしからずお許しください。
2857	防災の観点から「ダム建設」、「堤防補強」は絶対必要。
2860	治水を考えるとダムも必要と思う。しかし、昨今の経済情勢等が厳しいこと等により大型公共事業の実施可能性とその優先順位に不安を感じる。
2861	吉野川の源流や川というより、山の谷間の沢山のゴミの中に色々の物が捨てられています。中には危険なものもあると思います。安心な川にする事から考えたいものです。一人一人の心構えで、河は水質も良くなると思います。又、川岸のツツジに木を根から取り一本もなくなり自然は破壊されている。昔のように水は無くなり、川のせせらぎも聞こえませんが、少ない水でも澄んだ水がほしいものです。昔のように、夜がくればカジカが鳴き心安らぎたいものです。メダカ、ゴリもいて子供たちに夢を与えたいものです。かまわない所はコンクリートより木材を利用したいものです。
2864	素晴らしい川を汚染されたような川にしてほしくない。河川敷では子供達が集い、水辺には植物がある。あくまでも自然体の川であって欲しい。上流にいる私達も日頃努めて思っている事です。護岸等は自然を残した状態の中、工夫してもらえたらと思います。日本でも有名な川を殺すも生かすも人間次第です。大事にして欲しいです。
2866	詳しくは知りませんが、香川県民は香川用水の水量に対し、いくらかの負担をしているはずですが、ならば2年に一度の取水制限にならないような努力をし、取水制限のひどい年ぐらいはお金を返還するような仕組みをつくれませんか。いくら弱い立場とはいえ、税金や個人のお金なんですから。国土交通省は水の権利に顔をっこみすぎがちがいます。決定した事を白紙に戻す勇気も必要やと思えますが。税金で生活してんじょ。
2869	ダムのない本当に美しい元の吉野川にかえせ。私の生まれた大豊町上東の美しさはダムの出来る前の美しい流れの吉野川故だ。お役人が勝手に上の方で話し合いでダムを作り、今頃下々の者に御意見をとは片腹いたい。
2871	大豊町の豊永地区は吉野川本流と南小川の合流点であり、北岸は地すべりが広範囲で次第に侵食され将来災害発生を考えておく必要がある。南岸はこの地方では唯一の比較的広い川原になっているので、ここを開発し住宅地や公共の施設を作ってはどうか。現在河川法では住宅の建設はできないとのことである。平地の少ない豊永地区であるので増水時の対策はないものか。ふれあい広場も毎年のように台風被害を受けているのが現状です。日本の土木工事の技術を駆使すればさほど困難とは考えられません。
2873	公開討論のルールづくりをしておく事が第一歩である。例えば、1. 出席者全員が意見を出す。2. 相手の意見は(絶対)否定しない。3. 互いにベクトルを合わせる努力をする。4. 常にテーマを共有し理解を深める。5. 情報公開を行い、検討会(含準備会)は委員だけの組織とならぬよう心掛ける。6. 専門性の高い部分については専門家によるレクチャー等によりレベルアップを図る。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2874	第十堰問題、徳島県知事の逮捕と吉野川(徳島)にとって暗くなるような話ばかりなので、住民にとって誇れるような吉野川にして、全世界に発信していきたい。私個人としては日頃の生活に疲れても吉野川に行けばパワーもらえる不思議な場所。これからも大切にしたい。
2877	森林保全と植林対策を考える事が一番大切だと思います。自然にやさしい護岸、これは浸水対策になると思います。
2878	私の家は吉野川と祖谷川の合流点から祖谷川を約1キロ上ったところで、吉野川の洪水の影響は少なく、利用していない。吉野川は国内では有名な河川であり、流域住民に被害を与えない美しい清流として国、徳島県民は守っていく義務があると思う。最近問題となっている第十堰は相当老朽化しており、近年の異常気象により予期せぬ大洪水の発生も考えられ、流失のおそれがある。そこで現在の堰を改築または大修理の必要があると思う。一方、流域住民のうち徳島市を中心に堰の改築には多数の人が反対であるが、吉野川は徳島市のものではない。板野、石井、藍住などを中心に流域住民の公平な意見を聞き、早く整備計画を樹立して、事業の実施を要望するものである。そのほか堤防のない地区は被害の多い地区から早急に整備する。
2879	吉野川資料館(仮称)を設置し、その恵みや付き合い方を学び、潤いのある暮らしに役立てたい。
2886	アンケートに住所、氏名を書く事は記入者の考えそのものを書く事の制約となる。以後は住所、氏名は削除のこと。
2894	吉野川の様なきい川の一部分の話し合いをしても川のためにならない。第十堰は新しい堰にしてください。まだまだ災害が受ければ危険な箇所があるので、安心して生活の出来るようにしてほしい。またきちんとした治水が出来るようにまた、工業用水として利用が安心して利用できるようにもう一度堰の事も考えてもらいたい。
2899	い。
2903	上からの決め付け、ゴリ押しなどで河川の整備もおかしくなっている。中立、公正で考えること。
2904	河川沿いに粗大ゴミを捨てる量が多くて、吉野川的美観を損ねている。取り締まれないものか。
2913	吉野川の川辺に行けば、楽しい時が過ごせる。そんな環境をつくって大人も子供も遊べる施設をより多く造ってください。
2915	子供は吉野川にふれる、教職者は吉野川にふれる、県民は吉野川にふれるそれぞれが自主学習(メディア、書籍、歴史など)し、学識経験者は専門知識の面からの意見→検討の場→皆の為の吉野川づくりとなる。
2916	日本一の分水をしている吉野川からして、池田から河口までを国営の公園として整備するべきである。
2922	美しい吉野川大好きです。守っていかなくては。
2923	昔の川を思い出しながら行政側、学識経験、地域住民の代表者等で話をしながら進めて是非川でゴリやメダカをすくって遊んだり、アヒルが泳いだり鴨たちの泣き声も聞こえ、岸では花が咲き人達に優しい自然策をと考えております。
2924	人間も含めて生きものすべての源は水であると思います。きれいな水であって欲しいと思います。人間が手を加えたところから自然形が変わっていきます。子供の頃の吉野川へといっても無理ですが、少しでも戻れるとうれしいです。
2927	吉野川大好きです。
2936	どうとう流れる大河。吉野川。今は心の安らぎを求めて集まる人達、小さな源流から太平洋まで続く川。どうか今現在の吉野川を残してください。私も高知県人として小さな積み重ねで川を汚さない清き流れを大切にしたいと思います。協力していきたいと思います。
2938	吉野川を一つの河川であると位置づけずに、地区それぞれの特性をアピールすれば良いと思う。また川を二つに区切り、泳げる川、魚の捕れる川など用途別に川をつくるのもおもしろいのではないかと考える。
2941	治水において最低限の工法をいつ行っても自然であってほしい。水防林(竹林)を残して欲しい。祖先の人々の知恵である、間伐等もしてもらいたい。入会にして、竹の子取りなど行事も必要。
2942	私はかつて、県の河川課で県が管理する勝浦川や瀬川や飯尾川等の治水対策として、河川改修を行う業務に従事したものです。川にはいろんなものがつまっています。流水、魚、岩、石、砂、水生生物、植物、全体を構成する水と緑のオープンスペース、これらは日常的にも洪水時にも必要なものです。どうか皆んなの人達に川を好きになってもらって、川を汚さず、攻撃せず、綺麗に大切に保全しながら、まだ、浸水被害のあるところはエコロジー(ビオトープ)に気を配り、川巾を広げていって、安全で安心な流域作りをしてほしいと思います。
2944	川と人とはたがいに助け合わなければならぬ。人が川を大切にすれば川も人を助ける。川を富ませば自然人も富む。川を傷つけたら人も傷つく。水は人間の命である。其の水を大切にしなければ人は生きて行けぬ。其の水を生かし運んで人に与える川を人々が大切にすることを忘れては人は必ず其の報復を受ける。人々は水の恩を思い川を大切にしなければならぬ。私達は吉野川を守り吉野川の恩恵をいつまでも受けねばならぬ。
2946	現在吉野川の支流銅山川や祖谷川はダムのため川としての機能はなく死滅の状態です。終戦後小歩危ダム計画も地元の反対で中止になり、現在の大歩危小歩危の自然の景観が残されたこと。私達地元の者にとってかけがえのない財産です。穴吹川のような清流を眺める時、心の洗われる思いが致します。第十堰は現在のまま改修し自然のままを後世に残してくれることを望みます。
2948	川魚が少なくなった原因。学識経験者から発表していただきたい。1. 原因(品名)2. 対策。特に吉野川支流については(例井川町井内谷川)現在生息している種類より、全滅している魚ははるかに多い
2956	台風の後、河口近くにすくごゴミが溜まります。もっと速やかに片付けができないものでしょうか。
2957	意見よりも質問を。①上流地域での堤防充実。吉野川に流れ込む河川の改修により「遊水地」の減少により本線に一時的に流れ込む水量を下流でカバーするために堤防かさ上げになれば堤防周辺の土地収用は必要でしょうか。例えば、50cmかさ上げの時底面はいくらくらいになりますか。②上流地域に広葉樹の植林を行う場合、地権者との話し合い、場所、手間賃、費用の出所はどうなりますか。③旧吉野川の分水、汐止めには、固定堰、可動堰等は必要なのでしょうか。④下流土壌の塩分増加は防げるのでしょうか。
2958	学校では総合学習の中に吉野川を取り入れるところも出てくるでしょう。考えさせて自分達に出来ることを実践させていく。未来には若い力と発想が必要です。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
2959	吉野川の河川敷で野菜を作っている場所があるが間に道路を作って誰でも「散歩」ができる道を作る。野菜、果物の即売をする、品評会をするとか、まだまだ色んなことが出来ると思います。そうすれば、多くの人が見に来ると思いますので是非お願い致します。やりたい人はたくさんいらっしゃると思います。
2960	吉野川の事も大切だけれで、徳島県内の道路整備状況は非常に遅れていると思います。観光客に余り来るなどと言わんばかりの貞光から剣山への道路等は観光バスが立往生する場所が多い。
2961	今回のこのアンケートの取り組みはこれからの吉野川をめぐる地域のつながりを強くすると思います。新しい大切な試みとして進めていって欲しい。
2963	可動堰はいりません。(第十堰)元堰を昔の工法で改修する。
2966	こんな答えにくいアンケートは初めてでした
2968	徳島の吉野川、いや四国の吉野川として魅力ある自然から考え学び将来につなげていくようにする事。豊かな自然を確保してほしい。
2973	川の中の柳を切ってください。水の出たときに水をせき止めます。柳にビニールなどがひっかかって景観が悪いです。四国三郎が泣いています。
2976	第十堰の改修は必要。吉野川の河口を川内の方から見る眉山を背景はいつまでも残してほしい
2980	国土交通省には外務省のような体質を持ってほしくない。しかし従来の『仕事をしてやってる』とか『仕事させてやってる。』とかを職員が少しでも心の隅にあるなら、しょせん外務省と同じ穴のムジナである。
2981	私は転勤族であり27年間全国各地域で生活し、今は徳島に帰り老後ではあるが地域でボランティア的に種々役員等お世話役として元気に生活しています。二人の息子は歯科医開業を徳島でそれぞれ活躍しています。そのような中常々徳島に帰ってきてよかったと考えている日々です。全国的に広がる友人、知人に対しても若い頃から徳島には立派な吉野川があると自慢していました。今鴨島町に住んでいますが、帰省の時空港から11号線これより西へ吉野川沿いに土手に出、堤防より下に立体交差し(古川橋)水面に沿って車で走る時はなんともいえないすばらしい気持ちで徳島に帰ったという充実感を覚えています。それから西へ六条水門までも同様に感じ走ります。第十堰改修につきましても私は安全、美観、野鳥もくる自然と調和した道路含めた橋は必要と考えています。大都会とは異なって上流からの汚水などは県民が注意すれば必ず守ることは可能です。自然との調和は可能です。建設後数年もすれば問題が一時的に発生しても解消すると思います。
2983	いつまでも今の吉野川の姿を残していただきたいです。
2990	会社がアドプトに参加しているので川の清掃をしているがまだたくさん不法投棄をしているのでないように注意をよびかけてほしい。
2992	吉野川を治水、利水の職責についている皆様方に感謝の念でいっぱいです。今後はこのアンケートの説明している組織系体で一層のご努力を願う。
2996	原則として木を伐採しないこと。紙をつくるために木を伐採している。再生紙をどんどん作っていく。
2997	住民の声を聞くと言いつら、自分に都合のよい意見だけを取り上げてやってきたのが今までのやり方である。そんなふうはこのアンケートが利用されるならば残念だ。住民でなく政治家やゼネコンの為に吉野川を利用してはいけない。
2999	大衆は大きなマスコミや一部の政治家発言に惑わされて流動的な意見にまどわされその本論の核心に達していないことがある。過般の第十堰の話も当初一部の学識者と公的な公共機関の人等で結論を出して進めると無知とも言えるわからない大衆は認めるだろうとした行政中心の従来方式でやりきろうとしたところに問題は蜂起し大問題となった。学問としての河川学を大衆は知らない。わからない人たちにでも表面だけでも参加せしめることによって行政の思考している方向に進めることはできると思考します。
3002	吉野川は、徳島県に於いて重要な水量を与えてくれる川であり、生活における重要性は非常に大きい。その為河川における水質が工事や工場排水などにより、水質悪化が起こらないよう、今後の河川管理、工事を行っていただきたい。人々の憩いの場(散歩、スポーツなど)としての河川利用に期待したいと思います。
3003	①吉野川について文化への影響の大きさを(生まれ、育ち、生活した人)文学(ペンクラブ選集から)面から、いかに心に深いものがあるかについて。A. 1988年の20周年記念誌ではグラビア「橋通路」として取上げた。B. 望郷・四国三郎-県外での活躍人(弁護士東京徳島県人会、当時会長榎大林組副社長、日本放送専務理事、東大工学部建築学科助教授、映画音楽評論家、書家他)C. 紀要・吉野川-きれいな水、うまい水、吉野川とか吉野川と民謡とか吉野川とミンシッピー河、人生の流れ、吉野川のこと随想を含め34名予定90頁ある。D. 1999年-特集・文学に描かれた吉野流域-20点の紹介。E. 流域市町村14の長のメッセージは1988年に掲載され、私の住んでいる徳島市制100周年記念事業の一つとして、徳島市長は市のシンボルである吉野川を舞台とした「光と水と音のスペクトルショー」を展開して市民が協働して新しい時代の祭りを創造していくこととなった。「水の都」として水辺環境をいかし、ゆとりや潤いを共有する都市づくりの推進からスタートした(昭和64年)。②流域町村は洪水他、水の汚れを憂慮し歴史的には藍による経済効果農産物と、景観について誇りも見られる。③世界的にも珍しい土柱も吉野川流域から舟遊びの中での名所に入れば、貴重な天然自然の名所と出来るのではないかしらと思ったりします。④この見事な吉野川の舟による観光を考え、所々要所(流域観光地、美濃田の淵、土柱、川中島ほか)への「水の駅」をつくって、トイレ休憩、救急必要客対応とかすればパリのセーヌ河の川下り、昼、夜の部とわけても新しい魅力となってパドゥムッシュならぬ「吉野川-憩いの旅、大河から見た徳島」も変わった視点に立つ紹介が出来るのではないだろうか。⑤航空写真で見ると吉野川と流域を旅する土手から見る吉野川の景観の素晴らしさは他県にない変化の多い美しさと思えますが、⑥三橋時代で観光の時間距離は能率的で経済距離もプラスアルファされていることを視野に入れ吉野川の未来への発展を創造していく必要性を感じています。
3004	先の第十堰の可動堰化改築議論では受益者でない住民(被害を被らない住民)の意見が住民投票に大きな影響を与えたと感じるのは、私だけでしょうか。マスコミや部外者の意志より、受益者の意見を尊重するような国土交通省となれるよう、私ども市民も出来るだけバックアップしたいと考えております。
3005	戦後、両親と蚕のエビラ、網を洗いに吉野川へ毎年そら豆をいった袋を持って、豆のやわらかい泳いで楽しく食べた思い出。その風景、水の青さ、石、砂の熱忘れていません。吉野川は日本一の川にしたいです。河川にはゴミは絶対捨てない(ハワイ島のようにバトロールして罰する)油は川に捨てない。洗濯の洗剤は自然にやさしいものを選び森林の保全や植林で保水力を高める。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
3007	川は誰のものか？という文章を国土交通省に提出した思いがあります。一部の組合や一部の政党の人の考えで百年の計画が間違った方向に進んでしまっは困る。反対の意見は少数でも声は大きい。私たちは今後あらゆる方面から研究し、異常気象の続く今から県民全員で意見を出し合いくりかえしくりかえし、会議を重ねていく必要があると思います。県民一人一人が水の大切さを思い限りある財産を大事にしたいと思います。
3010	私は大学の時大阪に住んでいました。大阪の水道の水はカルキくさくてほとんど参りました。今まで何も思わず飲んでた水(阿南)のなんと美味しい事か。その頃出始めていた「～の水」と同じ味でした。水道水がこんなに美味しいのに何で大阪の人達は(大学の友達が遊びに来たとき、「何の味もしなくて・・・の水って感じ」っていう感想を言っていました)水を買うのだろうと思っていました。大学を卒業して帰ってきてからも徳島の人達は今、自分たちが飲んでる水がどんなに美味しいか解っていないと考えていました。現在蒸留水の器械が出回っていますが、もともと徳島の人達にはそんなもの必要ないと思います。私の周りの人達のことを考えると、ほとんどずっと徳島にいて、県外に出たことのない人が多いです。その人達は当たり前のように徳島の水道水を飲み、吉野川のことを語ります。本当に水道の水の美味しさがわかっているのかな？と疑問に思うこともあります。でもその人達も私も、吉野川については徳島の誇りである、自然にとっても生き物にとっても、又人々にとっても憩いの場であるという考えは同じです。みんな命ある者が幸せにいられるよう、私たちは考えていかなければならないと思います。人間の便利さだけが先行しないよう、また一部の政治家だけが物事を決めないよう。(お願いします。いつまでも美しい吉野川を子供達に残してやってください。「自分が小さかった頃はな」と昔語りが出来よう、自然を残してやってください。)今まで考えていた事を書いてしまいました。このアンケートが皆様の一考にされる事を希望しています。
3011	徳島県民にとって大切な川であり、県民が守っていかなくてはいけないと思います。
3012	吉野川が好きです。大いに楽しい空間を創出。かつての清流今いずこ。私は草のない河原で魚をとりたいたです。
3013	吉野川をよりよい吉野川を自然の形で残して欲しい一念で書かして頂きました。現在は自然がだんだんと失われて行っています。当局の方も感じていられると思います。自然の林、森、水、竹林も失われつつあります。セメント工事は実に素晴らしく美しいです。しかし公害が出てくるのではなからうか。自然の鳥、生物がいなくなり、こなくなります。「私のおろかな考えかも」知識と知恵とは違うと思うのです。250年も前のお堰の丈夫さは昔の人の知恵でないでしょうか。どんな知恵があつて今まで立派に残っているかを調査して報告して欲しいです。古老(70歳以上)の声はアンケートには出ないと思います。関係者の人は足で聞いてほしいです。声なき声を聞きだして、先祖が残した、自然が残した清き吉野川の改善をお願いします。先祖に対しても子孫に対しても取り返しのきかない改善はして欲しい事を祈っています。
3021	地域で会合もついていたかかないと・・・。例えば、本山町付近の吉野川のことなど大水の等はわからないし、特に徳島の吉野川付近は全然わからないので・・・私は大豊町の川辺しかわかりませんので大豊町大田口校下(地区)で、豊永地区でと小さな会合でやって欲しいと思いますがどうでしょうか。豊永はなんといつても川下りが人気があり(ラフティング、カヤック等)夏は若者でいっぱい。トイレなどに困っているので何とかしたい。魚釣り(鮎)も多く見られ、にぎわっているので河川整備の人達にも協力してもらいたい。私個人としては吉野川沿いで田んぼを耕作しているので河川の工事を頼みたい。
3022	①吉野川の水の美味しさを四国中が知るべきだ。②上流域の人達が森林の保全等、特に雨が少なければ節水に心がけている事実も知るべきだ。③「濁水」になったら旧大川村役場を見に来る香川県人(や報道関係者、前回のみ)には嫌気がさす。④人口減の上流域の人達のためにもここで住む香川、徳島県人や全国から来てくれる人達がいても良いと思う。
3023	下流域の方々の永遠に続く繁栄のために必要なのは、上流域の”緑のダム”である。しかし今は、森林で作業の出来る人は極めて少なくなっております。山に住む人の数も減少していますが、山奥は消滅集落もできはじめております。山奥の現場で住む人がいなくなり、吉野川支流の谷川流域は無人化しております。川上、川下が一体となった“100年の計”を実施してください。
3027	吉野川の流域では桜の木や柳の木など花の咲く木が少ないのではないのでしょうか。長い堤があるので少しづつでも、植樹が出来て「隅田川」の桜までにはなれなくても、春の花、秋の紅葉が楽しめたら吉野川の姿ももっと素晴らしいものになるのでは、と思う。でも根が成長して護岸に悪影響が生じるのでしょうか？ずっと大木にしないような方法も出来るのでは。何とか花木が少しでも見られたら良いなと思いつつ。
3029	いつもご苦勞様です。最善の策をお願いします。四万十川に負けないように。川といえど吉野川の清流を期待しています。
3032	◎吉野川欠壊の過程-吉野川は元々第十樋門を經由して藍住から下板地方へと流れていた。明治中期頃に大洪水があり、第十樋門を通らず徳島市方面へ直進し多大の長屋、田畑を消失してしまった。以後吉野川本流として言われている。第十樋門下流は旧吉野川または今切川と呼ばれている。ちょうど上板町高志地区の堤防も洪水により欠壊し、その被害は大きく復原は昭和時代まで続いたと聞いている。その後、昭和中期までは毎年台風シーズンになると川が増水し、その都度消防団や一般の人が詰めかけ、欠壊に備えて付近に植生していた樹木の太枝を切り、堤防の腹に置き堤防の危険調整をする等四苦八苦しているのを感じた。昭和30年代に早明浦ダムから香川用水分水が行われ、以後ほぼ安定しており、今日に至っている。平成12年度、賛成、反対相反する意見で、第十堰架設計画が白紙になった。直接吉野川洪水に係る地域住民として不安この上ない問題である。災害補償は誰がするのか明白である。机上論でなく現実のある対策が急がれる。◎川づくりを話し合う場について一人選については洪水経験者である事、また洪水危険地域(堤防周辺)の人でないことと実感がわかない。内容については、原堰は自然環境に適応しているが、老朽化しているとのこと。まずは人命優先を考えて論議して欲しい。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
3041	<p>早明浦ダム、池田ダムでの取水、古くは銅山川の分水など、水量の減少は驚くばかりである。砂利の採取も関係してか、川底は掘れて水位は下がるばかり。昔の渡舟場跡を見ればよくわかる。それにしても昔のような河原の遊び場は殆どなく、猫柳の木と葦と雑木で覆われている。昭和29年9月の大洪水以降は、流域に大きな被害を与えた出水は少ない。最近上流域での森林保水が問題になっている。しかし殆ど森林を保有しない人々の机上の空論と思う点が多い。根本は農林業、一次産品の多くが自由化による、外国産品による安値攻勢の打撃である。戦後の人工林(檜、杉)の奨励。薪炭林(広葉樹林)の減少。貯水力のある山間部の棚田の完全荒廃。松の完全枯死、続いて檜の虫害によると思われる立枯、温暖化と大気汚染か。木材価格が少しでも採算あれば、せつかく苦勞して育てた人工林だから枝打、間伐はするはず。水源の保水問題は政治的な解決に待つ以外に無い。老人の戯言思いつくままに。</p>
3043	<p>先ずは安全で安心して生活の出来る河川整備をして、吉野川の豊富な水量を利用して、流域の活性化や環境を進めて下さい。</p>
3045	<p>「よりよい吉野川づくり」こんな提案があることに大変うれしく思います。日本一の美しい川を県人は誰も振り向かないのかと思っていた私は川を眺めて毎日暮らしております。北岸を上まで月四回は必ず行っています。一日も早く良い会が出来るように祈っております。参加させてください。やっと吉野川に気がついたのでしょうか。私は何時も川や山に美しいよとほめておりました。</p>
3047	<p>アンケートに書きましたより私には思い当たりません。各人材を優れた方を選んでください。そして私たち県人も徳島のシンボル吉野川を大切に見守り、汚物等は取り除く協力をしたいと思います。今までのように時折県発行のパンフレットに記載され忘れかけた治水をよみがえしてください。お粗末な意見でゴメンナサイ!!</p>
3055	<p>ピオトープの推進と自然環境の植林振興。第十堰などは必要ないと思います。</p>
3057	<p>自然の恵をもっと利用できる工夫をしてほしい。</p>
3061	<p>昔、洪水で苦勞したことは忘れられません。今後、あんな目にあわぬよう油断しないで川を渡りたいと思います。学識ある専門の方々をお願いして力を注ぎ、美しい川を渡り、安全で平和な徳島にしていきたいと願っています。</p>
3074	<p>まずタイトルである、「よりよい吉野川づくり」とあるが、この「づくり」という言葉が何か気にかかる思いがする。よりよい吉野川として生かすためにはどう考え、そしてどのような手の加え方があるのか、あらゆる面から考え直してみる時に来ているのではないかと思われる。大自然を相手にし、あまり安易につくるとかという言葉を使って欲しくないと思う。治水とか利水とかの名目で目先の利害にとらわれ過ぎてきた。そのための弊害も少なからず出てきて問題にもなっている。ここで一度河川というものが本来どうあるべきもので、それにどう手を差し延べるべきかを謙虚に考え直して見る時に来ているのではないだろうか。その意味で第十堰問題は我々に「川とは何か」という事について警鐘を鳴らしたといえる。我々の生命にも係る河川の問題が行政任せでありすぎ、無関心すぎたのではないかと反省せざるをえない。人体に置き換えれば動脈ともいえる吉野川が子々孫々までも脈々と健全な血液である水を流し続けることが出来るよう、行政も住民も力を合わせて知恵を出し合い、過去の経緯にとらわれることなく真摯な気持ちで吉野川の水を守り人々の生活を守るといった観点から世界に誇れる清流吉野川を育て後世へ送りたいものだと願っている。</p>
3076	<p>川の中の草木が多くなったので、除去した方が良くと思う。地域は善入寺島北側を流れる善入寺川である。防災の面からもその方が良くと思われる。そうすれば、阿波麻植大橋上流から阿波中央橋上流の間の水量がもっと多くなると思う。</p>
3077	<p>①河川管理の一番基本的なことは住民の生命財産を守ることを第一主義と考えるべきである。自然は恵みをもたらす一面、脅威の要素も多い。150年に一度級の大洪水にも耐えうるような吉野川にしておくことは現代人の責務である。この線に沿って河川の保護、増強、活用にあらゆる面から検討を加え、実施に移すことは当然の事である。然しながら現代社会の生活スピード感や複雑性、抑圧性のなかにおいては人々の心の癒しや活動力の疲労回復、さらなる向上発展の涵養や根源を自然の風景の中に求め、それは河川にも目が向けられている事は否定すべきでない。あえて言うならば、苦い経過、経験ではあるが河川工事の反対運動の中には自然への心的面からの貴重感をもたらす要素も大きかったのではないかと思われる。これが多くの人々の共感と呼んだのではあるまいか。心的面を重視する人々の中には吉野川は今や重要なメンタリティーのシンボルとさえなりつつある。これは更に現代人にとって自立性や安心立命感への欲求から広まっていくであろう。今後はこの面からの吉野川の多様性に目覚めての開発・施設面の充実も重要視すべきではなからうか。</p> <p>②多くの県民にとって吉野川は本県の宝、故郷のよりどころとして親しまれている。だがこれは長年にわたる純粋な愛郷心・県民感情としての発露がもたらした要素も大きく、県南地域においては漠然とした感もあるのではなからうか。一般的にその歴史をも含めて吉野川の全容についてはあまりにも知られなさすぎる。この点の解決については徳島工事事務所は近年様々な企画を実施してきた。「吉野川講座」を頂点とする学術的傾向が強くて且つ普遍性もある各種講座の開設、分けてもこれらの充実したテキストの作成は貴重な文献として後世に残しえる。時には座談会やシンポジウムへの参加も試みられた。庶民の吉野川への親しみを増す企画としては、折に触れてのサイクリングやバスツアーがある。これにより吉野川やその近辺流域での工事施設の成果や歴史探訪による先人の洪水被害も察知できた。更に吉野川の清掃や植生調査、子供も楽しめる釣り大会などのイベントもある。一般向けの出版物としては毎月発行の機関誌「ふる一ぶ」があり、その他物語的なものや川への理解を深める物など冊子からパンフレットの的なものまで数多く、枚挙にいとまがない。これらどれを取上げても工事事務所の苦勞がにじみ出ており、一般受益者にとっては極めてありがたく感謝の念でいっぱいである。ただこれらの企画への参加者は吉野川への理解を大きく深めたが、これゆえにこそ更に多くの県民に喜びを味わせたいとの感がするのである。県民の周知を図るための一方策として「リバーキーパーズ」全員への勧誘運動は大切である。以上の企画の派生的効用として、かつて工事自体やその関係者のみに主力を注いできた工事事務所が、県民ひいては国民へのふれあいや啓発を尊重するという方向転換が参加者に次第にわかり始めてきた。工事事務所は事業を上から押し進める役所でなく、住民の声や立場を大切にしつつ事業を進める機関であるという認識が参加者に芽生え、親しみが急速に高まっている。これらの感情はスムーズに工事を始める前の精神的な面での基盤作りの一つとも考えるべき時代になっている。</p>

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
	<p>③吉野川の将来については、人々の生命、財産を守り、あるいは県民への新たな活動の場をつくる為にも、上流では自然を守り、森林強化や住民の職域確保などの積極的対策、都市部では自然的要素を主体とした美しい護岸や、人々が河水と親しみ且つ楽しめる各種施設をつくる。その中心となるのは水の大切さを学び、吉野川の上流から河口までの水の道程を主体にし、各流域の自然をも紹介し、全国からこれらを見に来るような魅力あるものにした「河川博物館」である。知識人向けの学術コーナーでは「吉野川講座」で用いられたテキストの図示が大きく役立つ物と思われる。このような大規模な施設建設はすぐには無理としても、上流での保水力を高める森林増強、保護対策はダム建設より容易と思われ、かつ中下流での自然を重視した護岸建設とあいまち、①項で述べたメンタルヘルス面強化政策ともなる。これらはちょうど植物におけるアロマセラピーのような役割を河川に持たせることになり、新しい河川政策になるのである。④さて治水という第一義にたつて河川管理者としての権限の下に吉野川の各種工事に実績を上げてきた工事事務所も、今後はその権限は維持しつつも河川法にのっとり「みんなで川づくり」という観点をふまえて、その活動を全県民的な立場を基本として実施する必要に迫られている。この場合、河川整備計画検討会議において河川管理者は「決定権者」ではなく「調整者」であるという謙虚な基本的態度が「検討委員会」や「準備会」においても、参加代表庶民を勇気付けかつ責任感を充実させるものと思われる。ひいては事業がスムーズにいくのではなからうか。</p> <p>⑤公聴会その他の発言者とか会議委員の人は重要である。幅広く人材を求め、一論に片寄ることなく、相対する論者も必要である。しかしいたずらにイデオロギー的な立場からの論を重視されては建設的な議論が進まない場合があるし、一方あまりに利害関係を固執する人にも偏見が生じやすい。学識経験者の中には大学教授級の学術専門家が是非必要である。流域住民の代表の中には各界にわたる河川関係者が参加することは当然であろうが、1名程度は直接利害関係のない庶民感覚で全県的な立場での吉野川の将来を見据える洞察力を持ち中立・一般的な人をも加えるべきである。吉野川は県全体あるいは日本国全体のものだからである。一方で意見具申者は、工事そのものに直接関わる工事事務所の立場を理解しなければならない。卓越した企画力と技術を持つ所員が困難に遭遇しても、いっそうやる気を奮い立たせるような真情あふれる意見による力強いサポートも必要である。各種会議への参加者や委員の意見を基盤とし、ひいては住民の声援を背にすると共に、さらに新制度の下に調和・工夫して主体性を確立した工事事務所は今まで以上に力強くなると思われる。この活躍により吉野川の将来が飛躍的に伸張することを願ってやまない。</p>
3080	<p>流域の人にとっては誇りに思え、又他から来る人にはわざわざ来るだけの価値のある(例えば、山に登る人とか、奥地の温泉を旅する人などは、そこへわざわざ行くことに価値を見出しているのではないだろうか。高速交通でさっさと行って、どこでも同じハコモノが並んでいるのとは違うところへ・・・同様に好む人に好まれる自然豊かな特色を生かして)吉野川と流域にこれからもいっそうなると良いな。</p>
3082	<p>那賀川流域フォーラム運営会議を傍聴しました。(ただし平成14年2月28日開催の第四回だけですが)その感想-あまり討議が活発でないように感じた。国土交通省が旗を振っているわりには一般傍聴者も少なく流域の人々の関心は高くないのではないかと感じた。事務局の会議運営についてあまり手馴れていないように思いました。公募で選ばれたフォーラム委員会発足したらもっともっと活発な討議になるのかもしれませんが、那賀川は吉野川のパイロットケースだと思いますが、吉野川のときはこのようなことにならないようにしてください。</p>
3083	<p>私は上流付近にしか行った事はありませんが、そこは緑も多く、水もきれいで大変気持ちよく過ごす事が出来ました。最近癒しを求めて自然に触れ合う機会を望む人が増えていると思います。しかし、カヌーやキャンプができる場所、そこまでの手段、利用方法はあまり知られていないと思う。自然と触れ合う中で私たちが環境や自然を守っていくにはどうすれば良いかということがわかってくると思うのです。人々に自然と触れ合う機会を提供することも大切なのではないのでしょうか。</p>
3093	<p>人の輪をつくれる場として必要だし、水という生命の源なので人が生きるうえで大切である。バーベキューやキャンプ、釣りが出来て、今までどおりでこういう場があると余暇が楽しめると思う。</p>
3095	<p>美しい流れを守る為にもダム、河口堰は絶対つくるべきでない。</p>
3101	<p>河川の堤防工事により、自然が少なくなっています。私の近所の川でもそうですが、20年ぐらい前は両岸とも土と森林で自然に囲まれてたのですが、堤防工事でコンクリートで固めた為、それまでいたうなぎやドジョウ、フナや鯉など魚やトンボの幼虫、ゲンゴロウなどの昆虫も全くなりなくなりました。子供の頃はそういった自然にふれる機会があって色々な事を学びました。しかし、今ではもう無理になっています。川は恵みをもたらしてくれると同時に、災いをもたらします。河川近隣に住んでる方にしてみれば、水害などを防ぐ為の工事が必要だと思えますが、やりすぎはどうかと思います。吉野川はそうあって欲しくありません。</p>
3113	<p>早明浦、新宮、池田ダム及び高知分水と上流だけで水量調整するだけでは、限りある水量なので中・下流にもダムは必要と思われる。</p>
3122	<p>各家庭に木を植えよ。あとどうなっているか何年ごとに報告せよ。苗木無料でやりっぱなしではだめ。大きさは180cmくらいのを小さいのはだめ。果樹でもよい。苗木をどっさりつくれ。</p>
3124	<p>治水、利水、環境を反映する方向ではあるが、利水については①水道水など生存のためのもの②工業用水、発電用、農業用水など産業用の区分を反映する施策を展開すべきである。人工的なダムや分水用水などは流域住民の意見を十分反映し、時代とともに変化した権利を認めるべきである。例えば時限的な取水権。</p>
3125	<p>今回のアンケートは設問があまり良くなく意見をお書き下さいばかりでなく、○印を多くつける、又(-5~5)の中で点数方式にするとかはどうですか。文章を書くのが苦手な人もいます。インターネット調査も良いと思いますがどうですか。</p>
3134	<p>第十の堰、柿原の堰の漁道の整備を早期に行って欲しい。(遡上期の水量によってその年の天然鮎の漁獲量が左右される)</p>

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
3136	昨年よりアドプトをしてみて、悲しいぐらいの毎回毎回ゴミの多さでした。町づくりで川を考えたり、アドプトしていると川のことを大切に思う人々は遠くから来て掃除をし、近くに住む人は自分さえよければと瓶も缶も発泡スチロールも一緒に野焼きし、火をつけたら帰ってしまふ。悲しい繰り返してしまふ。役場の議会便り、住民の意見箱で岩津橋の堤防の野焼きが出され、それ以来無くなった。地域の人達も、川を意識し始めた。川は汚しても良いところではなくなってきた。それと昨夏岩津橋たもとでカヌーをして驚いた事がある。私は生まれて30年この川を見て育ったが、川岸のビニール袋のひっかかりの汚い事、川に流したのでなく風で飛んできたとしても、自然に返らない人工物は本当に考えものだ。カヌーは今までの私の川の見方を変えてくれた。目の前にあるのに、「遊ばれん、危ない」と教えられたが、川って本当に楽しかった。子供たちも本当に楽しんだ。この感動を、喜びを障害を持つ子らにも味わって欲しい。せせらぎをお年寄りにも触らせてあげたい。船頭さんに乗せたもらった渡し場。泳いだ川をもう一度。川までスロープがついたら川面までもっと楽に降りれたらもっともっと楽しいのに。怖い川からやさしい川へ今変わりつつある事、耳を傾けてくれる事が何よりうれしい。
3137	吉野川占用地で、畑を耕作しているのですが、毎日特に休日ともなれば早朝より夕方まで大勢の人が散歩などにきています。特に瀬部、高瀬、上六条の堤防下の散歩道が出来てからは遠方から自家用で来て家族づれで大変楽しく散歩しております。安全な場所と空気の綺麗な吉野川だと思います。今後も防災工事と一緒に散歩道を上流へと続けてください。よろしくお願ひします。
3139	日常私たちは吉野川の水などの恵みで生活しているので、川づくりについてはよろしくお願ひする。
3141	昭和50年ごろ吉野川河川敷を農地として占有したいと許可願ひに行ったとき、申請の書類の一部(「占用の理由」だったと思う)に「母なる吉野川」という文言を入れてあったら第一出張所の所長にしかられた。こんな言葉は要らないと。今では「親水」、「癒し」変われば変わるものだ。以前の建設省のようにもっと高飛車にやってほしい。もうそんな時代は来ないのかな？
3142	上流では川下りなどがありますが、中流には中流らしい何かが出来るとは。皆で意見を出し合って取組んでみては。
3143	吉野川は魚族がまた沢山いる河川であると思っています。愛媛県の重信川のような河川にはしてはいけません。
3159	下流(都市)から上流へ水源税をとり森林保護に使うようにするといひ。
3163	○吉野川のような大きな川を一つの場で議論するのでは適切でない。それをやれば身近な住民の意見が吸収できない。○身近な問題と全体の問題は全く違う面がある。○身近な問題で住民の意見を反映させることが重要(身近なことで丹念に意見を拾うことに欠けていたのではないか。)○かつて川がにぎわっていたのは川が広く利用されていたからに他ならない。川の利用をもっと開放すべき。そのためには利用者の便利なような施設を整備する必要がある。○川がどうあるべきかは基本的には川の沿川に住み、治水、利水、環境に最も影響を受ける人々が満足できる姿だと思う。○水系一貫主義はもとより重要である地元主義を復活しても良いのではないか。
3164	吉野川は徳島県の宝であると思っています。その保全や利用については県民も注目している事と思われまふ。広く意見を聞いて、今後どのように対策を講じるか公共団体などを通じて掲示していただき、検討する方法もあるのではないのでしょうか。自然と人が共生できるモデルのような存在に吉野川がなればと思います。
3172	①汽水域を吉野川大橋下流まで下げて欲しい。そのためには上流の分水について総合的に配分を考慮すべきと思う。香川県の分水は夏季以外は必要以上に徳島下流より潤沢のように見える。②柿原堰より旧吉野川へ分水し第十堰は撤去すべきだ。公園化すれば納得ができるのでは。洪水対策上安全側になるはず。③吉野川右岸、住吉島から上吉野で地下水に頼っている農業者にとって上流部頃は直接影響を受けている。
3173	河川関連の公共工事に反対する派手なパフォーマンスよりも吉野川のことを本当に大切に思うなら、日ごろからボランティア精神で地道な活動をする方が良いと考えている。河川へのゴミ捨てについては他に例を見ないような厳しい罰則を規定するなどして、本気で吉野川を守るようにしてはどうか。交通違反者などにゴミ拾いをさせるのも一案と思う。
3175	法律に基づいての事業だという事は良く分かります。しかし、将来今の子供たちに受け継いでもらう事を考えてください。法律は又いつか改正されます。でも今の吉野川を今より良くしていき、生かしていくことは今から100年、200年ずっと続けなければいけません。
3176	最下流域については治水面で人口護岸の整備は必要であり、堰の設置は必要。一部の自然を守るなどと寝言を言うのは無視して生命や財産を守るという前提で事業を推進すべきと思う。
3178	いつまでも美しい藍色の川を保つ為に生活から出る汚水を流さないように吉野川を大切にやってほしいものです。
3180	魚が住める豊かな川になるのが理想的。昔は鮎など沢山捕れたと聞きます。自然相手の川の管理は大変ご苦労があると思います。災害のない川であって欲しいです。そのためにも森林の保全、管理が大切だと思います。材価が安く、間伐などが遅れています。又まとまったお金を準備する為に皆伐する傾向があり、あちこちではげ山が目立ちます。間伐で山の人達が生きていけるような政策をとって欲しいです。山と川は切り離しては考えられません。

みなさまのご自由なご意見ご提案をお聞かせ下さい。

受付番号	ご意見・ご提案
3181	<p>この一ヶ月ほど前にこの吉野川支流、穴内川に水鳥の群れが来て(白色)水にもぐって魚を捕っていたそうです。魚というのは昔からいるイダとかハエは少なくなっているの、数年前からいるようになった草魚でしょう。高知市方面から来たのか徳島から餌を求めながら川づたいに上がってきたのか、とにかく昔からこの辺りには居ない平野の鳥と思われます。大型の白色の鳥がたまに川沿いに飛んでおりますが、いつも一羽だけです。やはり昔は見かけなかった事で餌も無いのかと哀れです。私がアンケートに記してきた事、実は環境庁への答えなのでしょう。吉野川の将来、それはまさにこの数十年の歴史にあると思います。治水の必要も当事者にとっては大変な事です。是非先からの住生命との共生をお願いいたします。このたび私の育った小字オオヤから尾生へかかっている橋がいよいよ通行止めになりました。この橋は明治の頃イギリスから輸入された物だそうで、それまで渡し舟でわたっていたものが、その必要がなくなり南、北が始めてつながった物として大変な話題だったそうで、瀬戸大橋がつながった時の騒ぎに負けなかったそうです。ま、そのために宿場村だったようなこのオオヤにあった私の家が商売、宿屋はその後寂れる一方となりましたが。私が感心するのはこの橋を支えているピーヤの強さです。表面はレンガで覆われていますが、このピーヤ、この吉野川の洪水に何度さらされてきたことでしょうか。私が覚えているだけでも橋げたまであと3から4メートルという様な事も何度かありました。イギリスの技術もなかなかのものと感じております。当時の橋を作っているよう大勢の夫の姿を写した大きな写真もありましたのに、残念ながら無くしています。橋を支えてくれたピーヤに感謝しています。昔のこのピーヤの下を筏に組まれた材木が二人ほどの夫の人の人にトビロで操作されながら徳島方面に下って行きました。戦後、私の子供の頃まで。</p>
3183	<p>先の可動堰問題の時のように、工事のための工事や予算消化のための工事を計画してはいけません。当時、知事など「工事したい側」は「堤防が切れる」「堰が切れたら大変」といい続け、「堤防のここが切れそう」「堰のここが切れそう」というばかりでその補強、修理を何もしませんでした。可動堰が白紙に戻されてからも第十堰のどこも修理されていないし、その付近の堤防も全く補強やかさ上げもされていません。何の補強工事もされない。今年本当に150年に一度の洪水がきたらどうするのでしょうか。今からすぐ「住民の生命、財産を守る為に」補強工事を洪水シーズンまでにやるべきなのです。それらの工事(可動堰よりはるかに安価なもの)を今もしていないのは知事ら「工事したい側」が嘘を言い続けてきたという証明です。河川の工事について、地方の首長や議員たちに相談する(審議会などの形で)のは無駄です。むしろ住民の意見とずれてしまう弊害だけが生まれます。なぜなら彼らはいつでも上の方(権力のある者、お上)にシッポを振るだけですから。ひたすらに知事や国の意見に迎合するだけです。 (何しろ、逮捕された知事に対してさえ、シッポを振り続け、自分達の方で何もしない県議たちがとても多いのですから)。</p>
参考意見	<p>吉野川沿いで生まれ育ち子供の頃から数え切れないほどの思い出があります。亡き祖父母から吉野川の今昔物語を良く耳にしたものです。清らかな流れの瀬につく鮎の味覚、ダムが出来て今は遠い思い出です。第十の堰も口でいえない存在です。阪神方面から来た客も一番に吉野川の堤防に行ったものです。たのしいことばかりではありません。もう40年～50年も前の事台風の洪水で増水して堤防の七分目位まで水があふれ堤防の南側に切れ目が出来消防の人が大勢集まっていた事があり生きた心地がしなかった。これは実際に体験した者でなければわからないと思います。色々構想もあろうかと思いますが、私たちの望む事は堤防の補強を充分にして頂き、子々孫々に安心して暮らせるよう切にお願いする次第です。</p>